YAMAHA

MusicCAST

デジタルオーディオサーバー

MCX-1000

取扱説明書

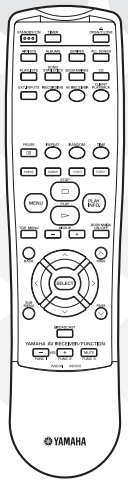
ヤマハデジタルオーディオサーバーMCX-1000をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

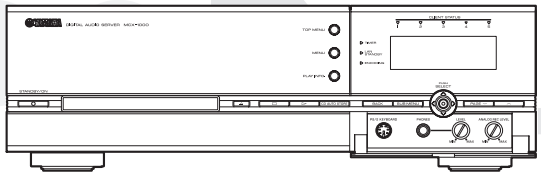
■本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。

■保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable ReWritable





安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例

気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば ⚠ は「感電注意」を示しています。

してはいけない行為を表しています。
たとえば 🛇 は「分解禁止」を示しています。

必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば ● は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

●異常なにおいや音がする。　●煙が出る。
●内部に水や異物が混入した。
そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

禁止

電源コードを傷つけない。

●重いものを上に載せない。　●ステープルで止めない。　●加工をしない。
●熱器具には近づけない。　●無理な力を加えない。
芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

水ぬれ禁止

MCX-1000 を下記の場所には設置しない。

●浴室・台所・海岸・水辺　●加湿器を過度にきかせた部屋
●雨や雪、水がかかるところ
水滴の混入により火災や感電の原因となります。

接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。

分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。

禁止

放熱のため MCX-1000 を設置する際には：

●布やテーブルクロスをかけない。　●じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
●あおむけや横倒しには設置しない。　●通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
（少なくとも MCX-1000 の左右 20cm、上 30cm、背面 10cm 以上離して設置してください。）
MCX-1000 の内部に熱がこもり火災の原因となります。

禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

必ず行う

MCX-1000 を落としたり、破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

必ず行う

必ず AC100V（50/60Hz）の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。

禁止

CD の挿入口や、背面にある放熱用の通風孔にものを入れたり、落としたりしない。

火災や感電の原因となります。

禁止

MCX-1000 の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。

●水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
●接触面が経年変化を起こし、MCX-1000 の外装を損傷する原因となります。

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。
MCX-1000 が落下や転倒してけがの原因となることがあります。

禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）には設置しない。
MCX-1000 の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。

必ず行う

再生を始める前には、アンプの音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。

プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災や感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。
コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

移動をするときには、MCX-1000（または接続機器）の電源スイッチを切り、すべての接続を外す。
●機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
●コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。
聴力障害の原因となることがあります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

必ず行う

電池は極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ ）に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。

感電の原因となることがあります。

注意

MCX-1000 はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。

手を挟まれないよう注意

CD の挿入口には手を入れない。

MCX-1000 のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因となることがあります。

必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。

差し込みが不充分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

⚠注意　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修した CD は、使用しない。

CD は機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

注意

環境温度が急激に変化したとき、MCX-1000 に結露が発生することがあります。

結露が発生した場合には、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

注意

無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避けてください。

遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。MCX-1000 は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、MCX-1000 の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。

■無線ネットワークの電波に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、下記連絡先へご連絡頂き、混信回避の為の処置等(例えば、パーティションの設置など)について相談してください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた場合には、下記“お客様ご相談センター”へお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

お客様ご相談センター

TEL（0570）01−1808（ナビダイヤル）

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL（053）460−3409

FAX　（053）460−3489

住所　〒430-8650

静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間　10:00〜12:00，13:00〜18:00

（日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。）

gracenote cddb

音楽認識技術と音楽関連データはGracenote® とGracenote CDDB® 音楽認識サービスによるものです。Gracenote は音楽認識技術と音楽付帯情報配信における業界標準です。詳細は www.gracenote.com. まで。

CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote. 米国特許番号 No.5,987,525、No.6,061,680、No.6,154,773、No.6,161,132、No.6,230,192、No.6,230,207、No.6,240,459、No.6,330,593、上記以外のものについては特許出願中。
Gracenote および CDDB は Gracenote の登録商標です。“Gracenote”、“CDDB”、“Powered by Gracenote”ロゴおよびロゴ表記は Gracenote の商標です。

IIS

Fraunhofer Institut Integrierte Schaltungen

MPEG Layer-3 音声圧縮技術については、Fraunhofer IIS および Thomson よりライセンスを受けております。

本製品は、商用放送（地上放送、衛星放送、ケーブル放送および全ての配信放送）、ストリーミング・アプリケーション（インターネット経由、企業ネットワーク経由および全てのネットワーク経由）、その他のコンテンツ配信システム（有料オーディオ、オンデマンドオーディオアプリケーションおよびその類）、物理媒体（コンパクトディスク、DVD、半導体チップ、ハードディスク、メモリーカードおよびその類）などに使用する権利を譲渡、許諾するものではありません。これらの目的に使用するにはライセンスの取得が必要となります。詳細については、http://mp3licensing.com をご覧ください。

・ 本製品は株式会社 ACCESS の AVE-TCP を搭載しています。
・ Copyright©1996-2002 ACCESS CO., LTD

目次

はじめに

サーバー機の特長 11
付属品の確認 11
マニュアルの種類 12
マニュアル内の操作説明について 12
MusicCAST 使用目的別早見表 13
マニュアル内の表記 14
各部の名称 15
　フロントパネル 15
　リアパネル 17
　リモコン 18
サーバー機の電源モード 20
本書での操作説明について 21
サーバー機のオンスクリーン画面 22

サーバー機に録音する

CD の全曲を録音する 25
CD から曲を選択し録音する 28
外部機器からサーバー機に録音する 31
　接続の確認 31
　録音する 32
　録音レベルを調節する 34

再生する

選曲する 36
ライブラリー曲情報を表示する 37
　基本的なリモコン操作 38
再生情報画面について 39
　再生情報画面のサブメニュー 41
アーティストから再生する 42
アルバムから再生する 44
ジャンルから再生する 45
すべての曲の中から再生する 46
お好みの曲のリスト（プレイリスト）から
再生する 46
曲統計画面から再生する 48
ブックマークリストから再生する 49
　ソングリンクを使う 49
CD を再生する 51
MP3 CD を再生する 52
サーバー機に接続した外部機器の音声を聴く 53
外部機器から録音した曲を聴く 54
いろいろな再生のしかた 55
　リピート再生を設定する 55
　ランダム再生を設定する 56
　グループの再生方法を設定する 58

編集する

ライブラリーを編集する 60
　アーティストの編集 60
　アルバムの編集 60
　ジャンルの編集 60
　曲の編集 60
　プレイリストの編集 61
　プレイリストリンクの編集 61
　ブックマークの編集 61
　外部録音した曲の編集 61
　表示されるアルバムの情報 62
アーティストを編集する 64
　アーティストをプレイリストに登録する 65
　アーティスト名を変更する 66
　アーティストを削除する 67
　新しくアーティストを登録する 67
　アルバムが属するアーティストを変更する 68
アルバムを編集する 70
　アルバムをプレイリストに登録する 71
　アルバム名を変更する 72
　アルバムを削除する 73
　アルバム全曲にブックマークをつける 73
　新しくアルバムを登録する 74
　曲が属するアルバムを変更する 75
ジャンルを編集する 77
　ジャンルをプレイリストに登録する 78
　ジャンル名を変更する 79
　ジャンルを削除する 80
　新しいジャンルを登録する 81
　アルバムが属するジャンルを変更する 82
曲を編集する 83
　曲をプレイリストに登録する 84
　曲名を変更する 86
　曲を削除する 87
プレイリストを編集する 88
　コレクション名を変更する 89
　プレイリストにリンクを追加する 91
　プレイリスト名を変更する 94
　プレイリストを削除する 95
　プレイリストを別のコレクションに
　移動する 96
　プレイリストを別のコレクションに
　コピーする 97
　プレイリストを作成する 98
　プレイリストリンクにリンクを追加する 100

プレイリストからリンクを削除する 104
リンクが属するプレイリストを変更する 105
リンクを別のプレイリストにコピーする 107
ブックマークを編集する 109
再生情報画面でブックマークをつける 109
ライブラリー画面でブックマークをつける 110
ブックマークを解除するには 110
すべてのブックマークを一度に解除する 111
すべてのブックマークをプレイリストに
登録する 113
外部機器から録音した曲を編集する 114
曲名を変更する 115
外部機器から録音した曲をライブラリーへ
登録する 116
曲を削除する 117
画面のキーボードで文字を入力する 118
日本語入力する 118
直接入力する（アルファベット入力）..... 120
サーバー機で PS/2 キーボードを使う 121
サーバー機に PS/2 キーボードを接続する 121
ファンクションキーについて 122

CD を作成する

サーバー機に録音した曲の中から選択して
録音する 123
曲順を変更する 127
録音曲リストから曲を消去する 128
CD を CD-R/CD-RW に録音する
（CD をコピーする）..... 129
録音の設定をする 132
CD-RW を消去する（イニシャライズ）..... 133

ヤマハ AV アンプと接続して使用する

ジャンルのエフェクトを自動設定する 136
DSP プログラムを自動設定するには 136

クライアント機を管理する

クライアント機の状態を確認する 138
クライアント機を再生する 140
クライアント機の再生を停止する 141
クライアント機をロックする 142
すべてのクライアント機を再生／停止する 143
クライアント機をスリープにする 144
クライアント名を編集する 145

タイマーを使って再生や録音をする

サーバー機のタイマー機能 147
設定した時刻に再生を開始する
（サーバー機）..... 147
設定した時刻に録音を開始する
（サーバー機）..... 150
タイマー機能を有効にする（サーバー機）..... 153
クライアント機のタイマー機能 154
設定した時刻に再生を開始する
（クライアント機）..... 154
タイマー機能を有効にする
（クライアント機）..... 156

ネットワーク (LAN) の設定をする

無線ネットワーク接続 159
有線ネットワーク接続 160
ネットワークの自動設定 161
ネットワーク設定をする 161
サーバー機とクライアント機を自動
で接続する 161
サーバー機ネットワークの上級者用設定 165
ネットワークの手動設定 165
ネットワーク設定をするまえに 165
サーバー機の IP アドレスを設定する 166
サーバー機の IP アドレスを自動で
取得する 168
サーバー機を DHCP サーバーとして
設定する 169
無線ネットワーク画面 170
サーバー機のネットワーク状態を表示する 175
IP アドレス画面を表示する 175
無線 LAN 画面を表示する 176
クライアント ID の手動設定 177

システム設定をする

システム設定メニュー 179
システム設定の初期値 180
日付と時刻を設定する 182
オンスクリーンディスプレイの表示を
設定する 184
Gracenote CDDB®接続の設定をする 185
自動再生の設定をする 186
録音時の保存フォーマットを設定する 187
ヤマハ AV アンプを設定する 188
自動音量調整機能のオン／オフを設定する 191
電源をオンにしたときに表示される画面の
設定をする 192

クライアント機で PCM フォーマットを
再生する 193
PS/2 キーボードの設定をする 194
スタンバイ状態の設定をする 195
フロントパネルディスプレイの明るさを
設定する 196
ハードディスクのデータ（曲）を消去する 197
サーバー機のシステム設定を工場出荷状態の
設定に戻す 198
MusicCAST システムのファームウェアを
アップデートする 199

インフォメーション（システム）情報を確認する

システム情報メニュー 201
ハードディスクの容量を確認する 201
録音された曲数を確認する 202
MP3 への変換状況を確認する 202
システムバージョンを確認する 203
操作可能なヤマハ AV アンプを確認する 203

付録

仕様 204
故障かな？と思ったら 205
CD/CD-R/CD-RW について 208
デジタル録音のルールとシステムについて 210
　デジタル録音のルール 210
　本機のシステム 211
用語解説 212
　再生編 212
　録音編 212
　ソフトウェア編 212
　ネットワーク編 213
記号の読み 214
区点コード 216
索引 220

はじめに

サーバー機の特長

最大1000時間の曲を保存できる大容量ハードディスク

サーバー機には約100時間（リニアPCM非圧縮モード時）から 最大約1000時間（MP3モード、圧縮レート160kbps時）までの音楽を保存できます。

最大8ヶ所の家庭内音楽ネットワークを構築

1台のサーバー機（MCX-1000）に対して最大5台のクライアント機（MCX-A10）を無線接続できます。さらに有線接続 (Ethernet) を含めればクライアント機を最大7台（サーバー機と合わせて合計8ケ所）まで接続でき、離れた場所に設置した クライアント機へ音楽データを配信します。

情報検索機能を装備

Gracenote CDDB®を搭載していますので、オーディオCDを入れるだけで曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名が自動表示されます。約35万アルバム分の情報を本体に内蔵したほか、内蔵データではカバーしていない最新タイトルなどもインターネット※から検索して表示できます。

※別途インターネットへの接続が必要です。

充実した再生機能を装備

音楽を聴きながらお好みの曲を選択できるブックマーク機能やお好みの曲のリストを作成し再生できるプレイリスト機能をはじめ、時間を指定して演奏するタイマー再生、曲順を無作為に入れ替え演奏するランダム再生、同じ曲を続けて演奏するリピート再生など、さまざまな再生機能を楽しむことができます。

内蔵ハードディスクへ高速録音

サーバー機に搭載されたCDドライブからCD一枚分の音楽データを約3分でハードディスクに録音します。

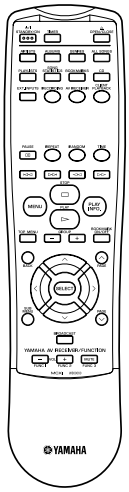
ヤマハAVアンプとの連携

RS-232C端子を装備したヤマハAVアンプと接続すれば、DSPプログラムやソース選択、音量調整、チューナー選曲などを曲と連動して行うことができます。

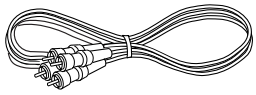
付属品の確認

サーバー機に同梱されている付属品が、すべてそろっているかご確認ください。

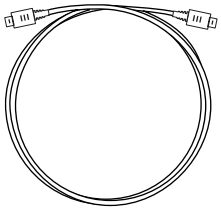
リモコン



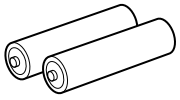
ステレオピンケーブル（1 本）



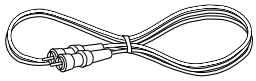
光ファイバーケーブル（1 本）



単3 乾電池（2 本）



ビデオピンケーブル（1 本）



マニュアルの種類

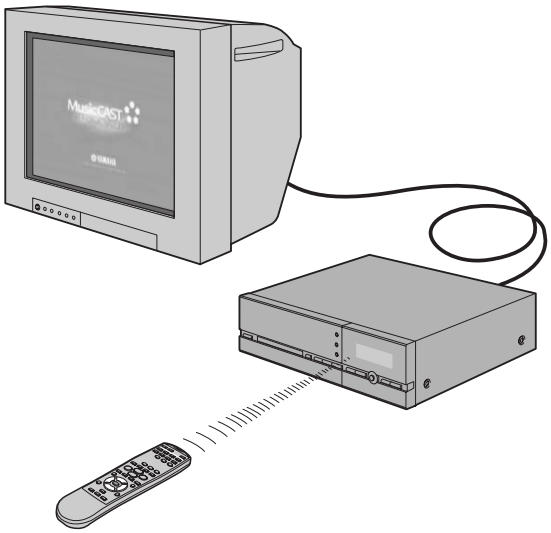
MusicCASTに付属するマニュアルには、下記のとおりです。
お使いになる機器の取扱説明書を必要に応じてお読みください。

製品名	マニュアル名	概　　要
MCX-1000	セットアップガイド	MusicCAST 購入後まずはじめにお読みください。サーバー機（MCX-1000）とクライアント機（MCX-A10）のネットワーク接続、周辺機器との接続について解説しています。
	MusicCAST クイックマニュアル	サーバー機（MCX-1000）およびクライアント機（MCX-A10）についての基本的な操作を解説しています。接続が終わりとりあえず使ってみたい場合にお読みください。
	MCX-1000 取扱説明書	サーバー機 (MCX-1000) が持つすべての機能について解説しています。いつもお手元においてご活用ください。
MCX-A10	セットアップガイド	MusicCAST 購入後まずはじめにお読みください。サーバー機（MCX-1000）とクライアント機（MCX-A10）のネットワーク接続、周辺機器との接続について解説しています。
	MCX-A10 取扱説明書	クライアント機 (MCX-A10) が持つすべての機能について解説しています。いつもお手元においてご活用ください。

マニュアル内の操作説明について

MCX-1000取扱説明書に書かれた操作は、サーバー機に接続したテレビ/モニターの画面を見ながら付属のリモコンでサーバー機を操作することを前提としています（サーバー機/クライアント機上にあるボタンからの操作もできます。またサーバー機にPS/2キーボードを接続するとキーボードからも操作できます）。

サーバー機にテレビ/モニターを接続すると、テレビ画面上で 曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などのデータが簡単に確認できます。また、MusicCAST システムの各種設定もテレビ/モニター画面を見ながら行うことができます。各手順を操作するキーまたはボタンについては、各操作の説明にあるイラストをご覧ください。



MusicCAST使用目的別早見表

	項　目	参 照 先	概　要
接続、準備	同梱品を確認する	☞ MCX-1000 取扱説明書 11 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 10 ページ	サーバー機およびクライアント機の同梱品を確認します。
	各部名称を確認する	☞ MCX-1000 取扱説明書 15 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 14 ページ	サーバー機およびクライアント機の各部の名称を説明します。
	テレビ / モニターを接続する	☞ セットアップガイド	サーバー機とテレビ / モニターとの接続方法を説明します。
	日付と時刻を設定する	☞ MCX-1000 取扱説明書 182 ページ	日時の設定（手動ならびに NTP サーバーを使った自動設定）を説明します。
	サーバー機とクライアント機を接続する	☞ セットアップガイド ☞ MusicCAST クイックマニュアル 13 ページ ☞ MCX-1000 取扱説明書 158 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 27 ページ	無線および有線でサーバー機とクライアント機を接続する方法を説明します。
MCX-1000 の使い方	外部機器と接続する	☞ セットアップガイド ☞ MCX-1000 取扱説明書 31 ページ	サーバー機にレコードプレーヤーや MD プレーヤーなどの外部機器を接続する方法を説明します。
	曲を録音する	☞ MCX-1000 取扱説明書 24 ページ	サーバー機に曲を録音する方法を説明します。
	曲を再生する	☞ MCX-1000 取扱説明書 36 ページ	サーバー機に録音した曲を再生する方法を説明します。
	曲を編集する	☞ MCX-1000 取扱説明書 60 ページ	サーバー機に録音した曲を編集する方法を説明します。
	オリジナル CD を作成する	☞ MCX-1000 取扱説明書 123 ページ	サーバー機に録音した曲でオリジナル CD を作る方法を説明します。
	タイマー機能を使う	☞ MCX-1000 取扱説明書 147 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 64 ページ	指定した時間に サーバー機、クライアント機が自動的に録音や再生をする方法を説明します。
	Gracenote CDDB サービスのインターネットサイトに接続する	☞ セットアップガイド ☞ MCX-1000 取扱説明書 185 ページ	Gracenote CDDB サービスのインターネットサイトへ接続する方法を説明します。
MCX-A10 の使い方	曲を再生する	☞ MCX-A10 取扱説明書 42 ページ	サーバー機に録音した曲をクライアント機から再生する方法を説明します。
	ブックマークを編集する	☞ MCX-A10 取扱説明書 51 ページ	サーバー機に録音した曲にクライアント機からブックマークを編集する方法を説明します。
	タイマー機能を使う	☞ MCX-1000 取扱説明書 147 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 64 ページ	指定した時間にクライアント機が自動的に再生する方法を説明します。
拡張機能、その他	ネットワークを手動で設定する	☞ MCX-1000 取扱説明書 165 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 34 ページ	MusicCAST システムネットワークを手動で設定します。
	サーバー機内のデータの情報を確認する	☞ MCX-1000 取扱説明書 203 ページ	サーバー機のファームウェアのバージョンを確認する方法を説明します。
	ヤマハ AV アンプの設定をする	☞ MCX-1000 取扱説明書 188 ページ	RS-232C （クロスタイプ）ケーブルを使って サーバー機とヤマハ AV アンプ を接続した場合にご利用になれる便利な機能について説明します。
	クライアント機でラジオを聴く	☞ MCX-1000 取扱説明書 190 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 62 ページ	サーバー機とヤマハ AV アンプを RS-232C（クロスタイプ）ケーブルで接続し、クライアント機からラジオを聴く方法を説明します。
	システム設定	☞ MCX-1000 取扱説明書 179 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 72 ページ	キーボード設定や画面表示など MusicCAST 各種設定やその他の機能を設定します。
	故障かな？と思ったら	☞ MCX-1000 取扱説明書 205 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 79 ページ	MusicCAST ご使用中のトラブル時にご覧ください。
	用語解説	☞ MCX-1000 取扱説明書 212 ページ ☞ MCX-A10 取扱説明書 82 ページ	マニュアル内で使われている用語について解説します。

マニュアル内の表記

マニュアル内でよく使われる表記について説明します。
それぞれの意味についてご理解いただき、本書をご活用ください。

用語

サーバー機	デジタルオーディオサーバー MCX-1000 のことです。
クライアント機	デジタルオーディオターミナル MCX-A10 のことです。
～キー	リモコン上のボタンを表します。
～ボタン	本体上のボタンを表します。

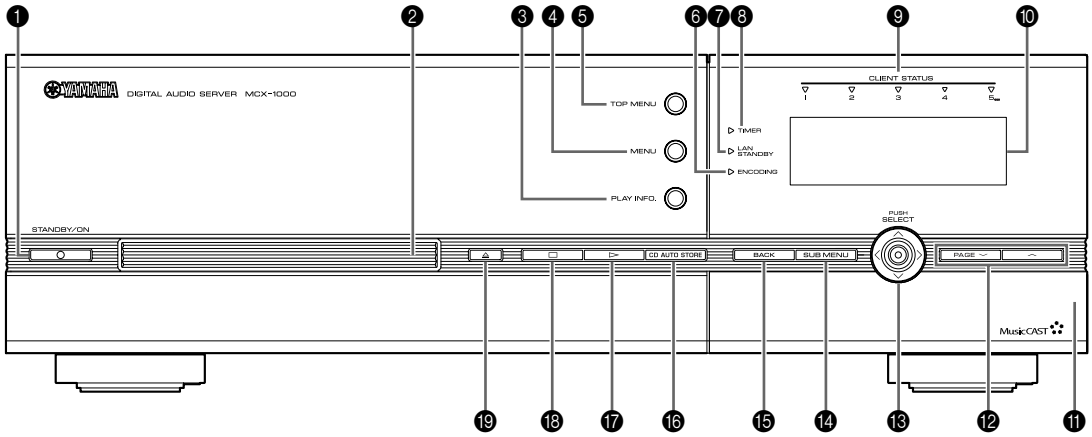
アイコン

☞	詳しい説明がある参照先を示しています。
	サーバー機のリモコンにあるキーを使って操作することを表します。
	クライアント機のリモコンにあるキーを使って操作することを表します。
	サーバー機のフロントパネルにあるボタンを使って操作することを表します。
	クライアント機のフロントパネルにあるボタンを使って操作することを表します。

MCX-A10取扱説明書、MCX-1000取扱説明書の巻末に用語解説を掲載しています。そちらもご覧ください。

各部の名称

▶ フロントパネル



❶ STANDBY / ON ボタン
サーバー機のスタンバイ／オンを切り替えます。
STANDBY/ON ボタンを約2秒間押すと、すべてのクライアント機はスリープモードになり、サーバー機はスタンバイモードになります。

❷ ディスクトレイ
CDを入れます。

❸ PLAY INFO.ボタン
再生情報画面を表示します。

❹ MENU ボタン
メニュー画面を表示します。

❺ TOP MENUボタン
トップメニュー画面を表示します。

❻ ENCODINGランプ
録音した曲がPCMフォーマットからMP3フォーマットに変換されているときに点灯します。

❼ LAN STANDBYランプ
サーバー機がLANスタンバイ時に点灯します(☞20ページ)。

❽ TIMERランプ
サーバー機のタイマー機能作動時に点灯します。

❾ CLIENT STATUS ランプ
クライアント機がサーバー機に接続され曲の再生ができるときに点灯します。
ランプ1、2、3、4はクライアント1、2、3、4がサーバー機と接続しているときに点灯します。
ランプ5はクライアント5、6、7がサーバー機と接続しているときに点灯します。
クライアント機の電源がオフまたはスタンバイに切り替わってしばらくすると消灯します。

❿ ディスプレイ
サーバー機のメニューを表示します。

⓫ フロントパネルカバー
カバー上部を手前に引いて開きます。

⓬ PAGE∨/∧ボタン
メニューページを上下にスクロールします。

⓭ コントローラー
コントローラーは、∧/</∨/>ボタンと中央のSELECTボタンで構成されています。
∧/</∨/>ボタンでメニューや項目を選択し、中央部のSELECTボタンを押し込んで操作を決定します。

⓮ SUB MENUボタン
サブメニュー画面を表示します。

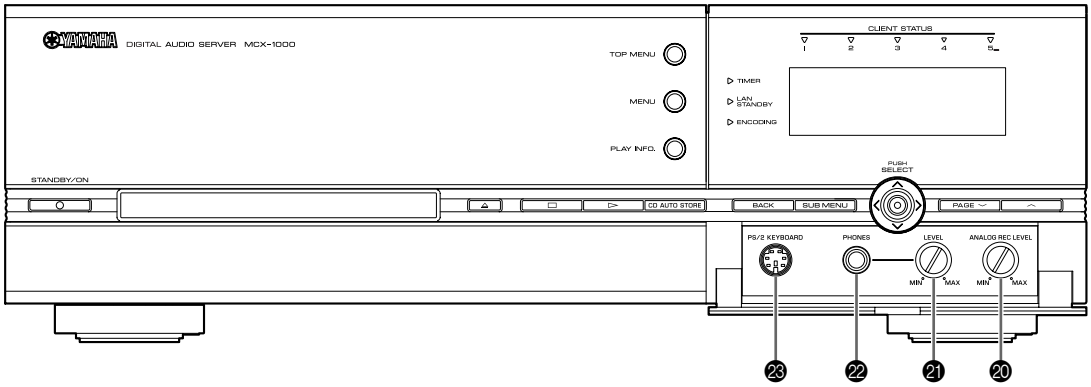
⓯ BACKボタン
メニューの1つ上のレベルに戻ります。

⓰ CD AUTO STORE ボタン
CDの自動録音をするときに使用します（☞ MusicCASTクイックマニュアル18ページ）。

⓱ ▷（再生）ボタン
選択された曲を再生します。

⓲ □（停止）ボタン
曲の再生を停止します。

⓳ △（ディスクトレイ開閉）ボタン
ディスクトレイを開閉します。



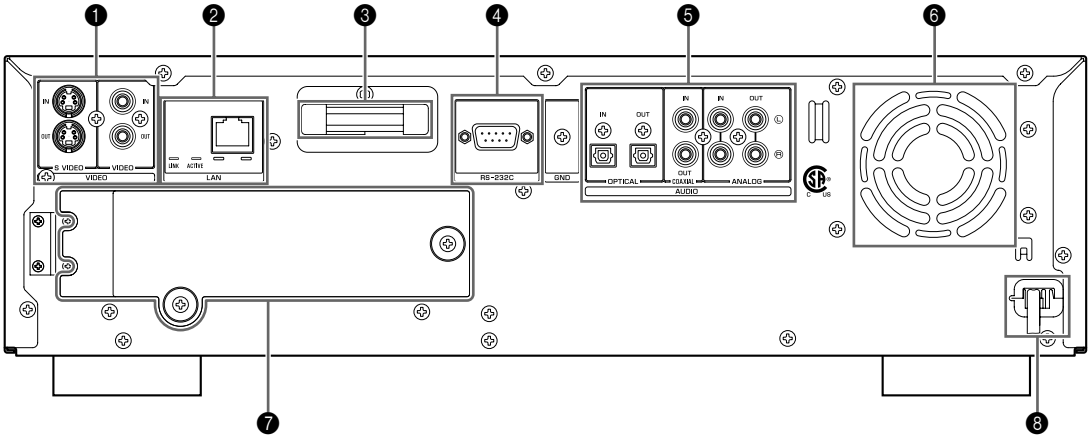
⑳ ANALOG REC LEVEL ツマミ
外部機器から録音しているときの録音レベルを調節します
(アナログ録音時のみ)。

㉑ LEVEL ツマミ
ヘッドホンの音量を調節します。

㉒ PHONES ジャック
サーバー機にヘッドホンを接続します。

㉓ PS/2 KEYBOARD 接続端子
サーバー機にPS/2キーボードを接続します。

▶ リアパネル



❶ VIDEO 接続端子

S VIDEO IN 接続端子

お手持ちのビデオ機器のSビデオ出力端子から市販のSビデオケーブルを使ってサーバー機に映像信号を入力します。

S VIDEO OUT接続端子

サーバー機から市販のSビデオピンケーブルを使って、お手持ちのテレビ/モニターのSビデオ入力端子に映像信号を出力します。

VIDEO IN接続端子

お手持ちのビデオ機器のビデオ出力端子から付属のビデオピンケーブルを使ってサーバー機に映像信号を入力します。

VIDEO OUT 接続端子

サーバー機から市販のビデオピンケーブルを使って、お手持ちのテレビ/モニターのビデオ入力端子に映像信号を出力します。

ご注意

サーバー機で映像は録画できません。S VIDEO IN と VIDEO IN 接続端子からのビデオ信号はそれぞれS VIDEO OUT端子 と VIDEO OUT 端子に直結されているためサーバー機では処理されません。

❷ ネットワーク端子

LAN（ストレート）ケーブルを使ってネットワーク接続をします。

LINK ランプ

サーバー機がネットワークに接続されているときに点灯します。

ACTIVE ランプ

サーバー機がネットワーク上でデータを送受信しているときに点滅します。

❸ 無線 ネットワーク アンテナ

❹ RS-232C端子

クロスタイプの RS-232Cケーブルを使って サーバー機とヤマハAVアンプを接続します。サーバー機とヤマハAVアンプの機能を連携させて使用できます。

❺ AUDIO 接続端子

OPTICAL IN 端子※

お手持ちのオーディオ機器のオプティカル出力端子から市販または付属の光ファイバーケーブルを使って、デジタル音声信号を入力します。

OPTICAL OUT 端子※

サーバー機から市販または付属の光ファイバーケーブルを使って、お手持ちのオーディオ機器のオプティカル入力端子にデジタル音声信号を出力します。

※ サーバー機に付属する光ファイバーケーブルは１本のみです。
２本以上ご使用になる場合は市販の光ファイバーケーブルをご購入ください。

COAXIAL IN 端子

お手持ちのオーディオ機器のコアキシャル出力端子から市販のデジタル同軸ケーブルを使って、デジタル音声信号を入力します。

COAXIAL OUT端子

サーバー機から市販のデジタル同軸ケーブルを使って、お手持ちのオーディオ機器のコアキシャル入力端子にデジタル音声信号を出力します。

ANALOG IN 端子※[1]

お手持ちのオーディオ機器のアナログ出力端子から市販または付属のステレオピンケーブルを使って音声信号を入力します。

ANALOG OUT端子※[1]

サーバー機から市販または付属のステレオピンケーブルを使って、お手持ちのオーディオ機器のアナログ入力端子に音声信号を出力します。

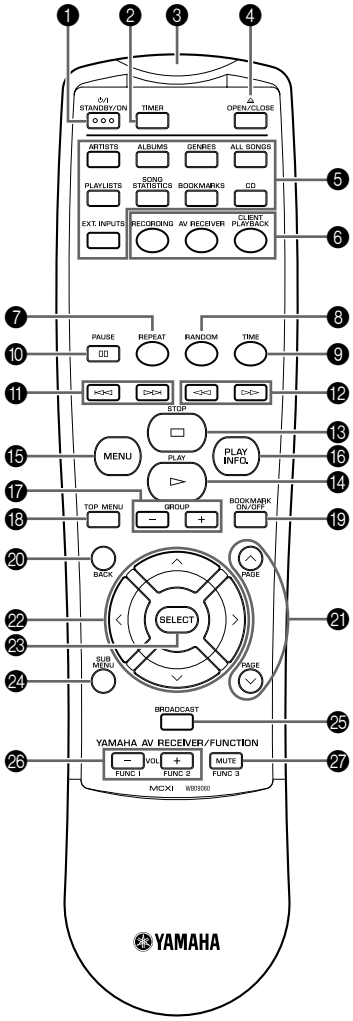
※[1] サーバー機に付属するステレオピンケーブルは１本のみです。
２本以上ご使用になる場合は市販のステレオピンケーブルをご購入ください。

❻ ファン

❼ HDDスロット

❽ 電源コード

▶ リモコン



❶ STANDBY / ON キー
サーバー機のスタンバイ／オンを切り替えます。
STANDBY / ON ボタンを約2秒間押すと、すべてのクライアント機はスリープになり、サーバー機はスタンバイになります。

❷ TIMER キー
タイマー機能のオン/オフを切り替えます。

❸ 赤外線発光部
赤外線信号を発信します。リモコンご使用時は赤外線発光部をサーバー機のリモコン受光部へ向けます。

❹ OPEN / CLOSEキー
ディスクトレイを開閉します。

❺ ライブラリーキー
アーティスト画面、アルバム画面、ジャンル画面、曲画面、プレイリスト画面、曲統計画面、ブックマーク画面、CD画面、外部入力画面を表示します。

❻ ショートカットキー
レコーディング画面、AVアンプ画面、クライアント画面を表示します。

❼ REPEAT キー
リピート再生モードを切り替えます。

❽ RANDOM キー
ランダムのオン/オフを切り替えます。

❾ TIME キー
Play Info.バーの時間表示モードを切り替えます。

❿ ❚❚ PAUSEキー
再生中の曲を一時停止します。もう1度押すと一時停止を解除します。

⓫ ⏮ (スキップ戻し)キー、⏭ (スキップ送り)キー
再生中のグループ内の前の曲、または次の曲へスキップします。

⓬ ◁◁キー、▷▷ キー
再生中の曲を巻き戻し早送りします。

⓭ □ STOPキー
再生中の曲を停止します。

⓮ ▷PLAY キー
選択した曲を再生します。

⓯ MENU キー
メニュー画面を表示します。

⓰ PLAY INFO. キー
再生情報画面を表示します。

⓱ GROUP ⊖ キー、GROUP ⊕ キー
前の再生グループ／次の再生グループを選択します。

⓲ TOP MENU キー
トップメニュー画面を表示します。

⓳ BOOKMARK ON/OFF キー
ブックマークのオン/オフをします。

⑳ BACK キー
メニューの1つ上のレベルに戻ります。

㉑ PAGE∧キー、PAGE∨キー
メニューページを上、または下にスクロールします。表示されているメニューが1画面に収まらないときに使用します。

㉒ ∧/</∨/>キー
画面上のカーソルを上/左/下/右に動かします。

㉓ SELECT キー
操作を決定します。

㉔ SUB MENU キー
サブメニューを表示します。

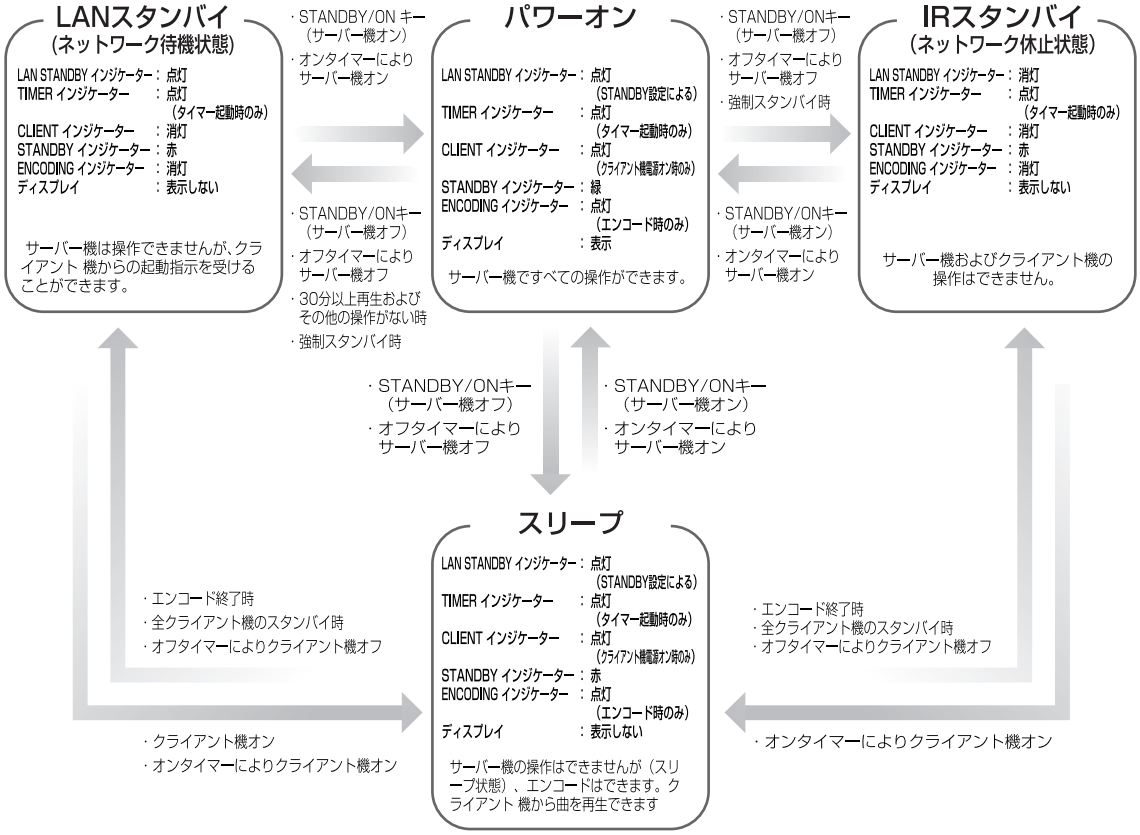
㉕ BROADCAST キー
現行のサーバー機では機能しません。
今後バージョンアップにより機能が割りあてられる予定です。

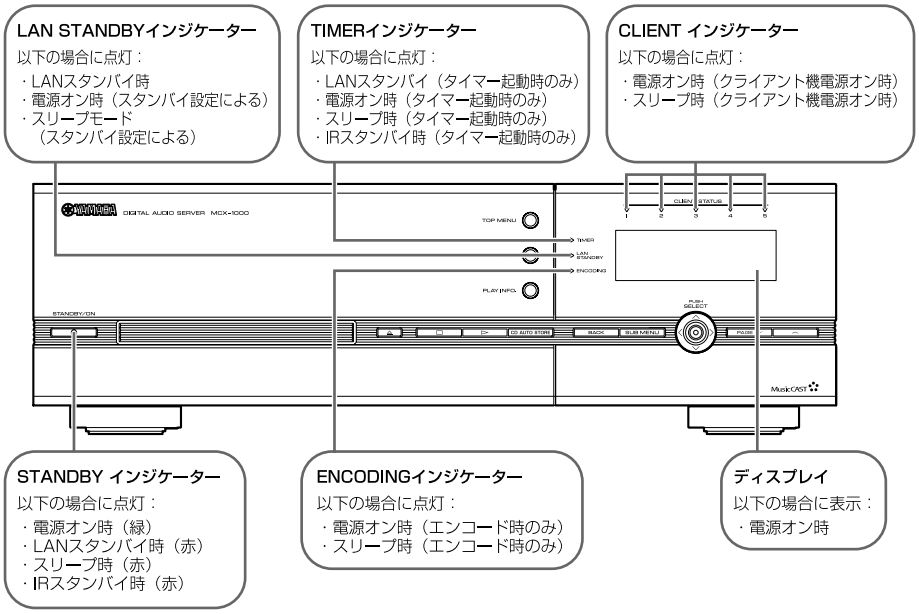
㉖ FUNC1 / VOL ⊖ キー、FUNC2 / VOL ⊕ キー
FUNC1/2（ファンクションキー 1/2）機能は現行のサーバー機では機能しません。
今後、バージョンアップにより対応する予定です。
現状はRS-232Cケーブル（クロスケーブル）で接続されたヤマハAVアンプに対する音量調整として機能します。

㉗ FUNC3 / MUTE キー
FUNC3(ファンクションキー 3）機能は現行のサーバー機では機能しません。
今後、バージョンアップにより対応する予定です。
現状はRS-232Cケーブル（クロスケーブル）で接続されたヤマハAVアンプに対するミュートとして機能します。

サーバー機の電源モード

サーバー機にはパワーオン、スリープ、LANスタンバイ(☞195ページ)、IRスタンバイの4つの電源モードがあります。サーバー機はすべてのモードにおいて電力を消費しますが、通常、パワーオンの状態よりもスタンバイのほうが消費電力は少なくて済みます。
下図は各モード時のサーバー機の状態および各モードを切り替えるための操作を示しています。





ご注意

・スリープのときにコンセントからサーバー機の電源プラグを外さないでください。サーバー機の電源プラグを外す前に STANDBY / ON キーを2秒以上押して、IRスタンバイにしてください。
・システム設定メニューのスタンバイ設定画面で、スタンバイの種類（IRスタンバイまたはLANスタンバイ）が選択できます。

本書での操作説明について

本書内の手順説明個所では、多くの操作で何度も繰り返し用いられる操作を省略して表記しています。

■ 省略操作手順の表記例

[トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アーティスト]を選択しアーティスト画面を表示します。

■ 実際の操作手順

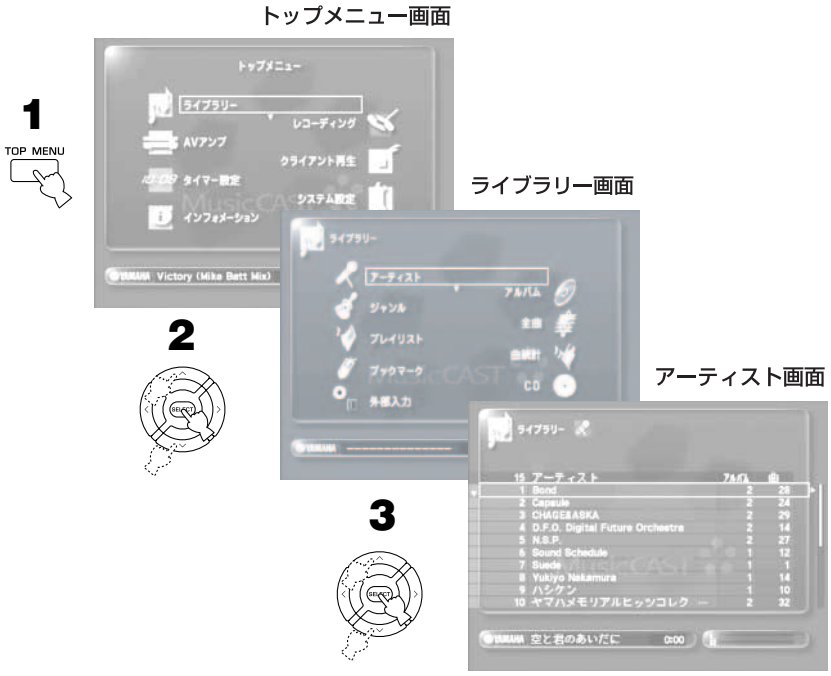
1 リモコンのTOP MENUキーを押しトップメニュー画面を表示します。

2 トップメニュー画面から∧/∨キーでライブラリーを選択しSELECTキーを押します。

ライブラリー画面が表示されます。

3 ライブラリー画面から∧/∨キーでアーティストを選択しSELECTキーを押します。

アーティスト画面が表示されます。



サーバー機のオンスクリーン画面

サーバー機にはさまざまな機能や設定があります。テレビ／モニターに表示されたオンスクリーン画面でメニューや機能の設定を確認し操作を行います。

■ トップメニュー

❶ メニュー名

❷ 選択項目

❸ カーソル

■ 曲名表示画面

❶ トップメニューからどのようなメニューを選択し、現在の画面が表示されているかを表しています。例えば、この画面は ライブラリー→ アーティスト→ アルバムを選択して表示した画面です。

❷ メニュー名

❸ 矢印アイコン
矢印の方向にカーソルを移動できます。

❹ 選択項目
❷のメニュー名に含まれる項目が表示されます。
リモコンやボタンでカーソルをスクロールして次の項目を表示できます。

❺ Play Info.バー
曲名またはグループ名、再生時間を表示します。

❻ グループタイム
再生グループの合計再生時間を表示します。

❼ **曲のフォーマット**
曲のデータフォーマットを表示します。

❽ **時間**
表示されている曲やアルバムの時間を表示します。

❾ **スクロールバー**
スクロール位置を表示します。

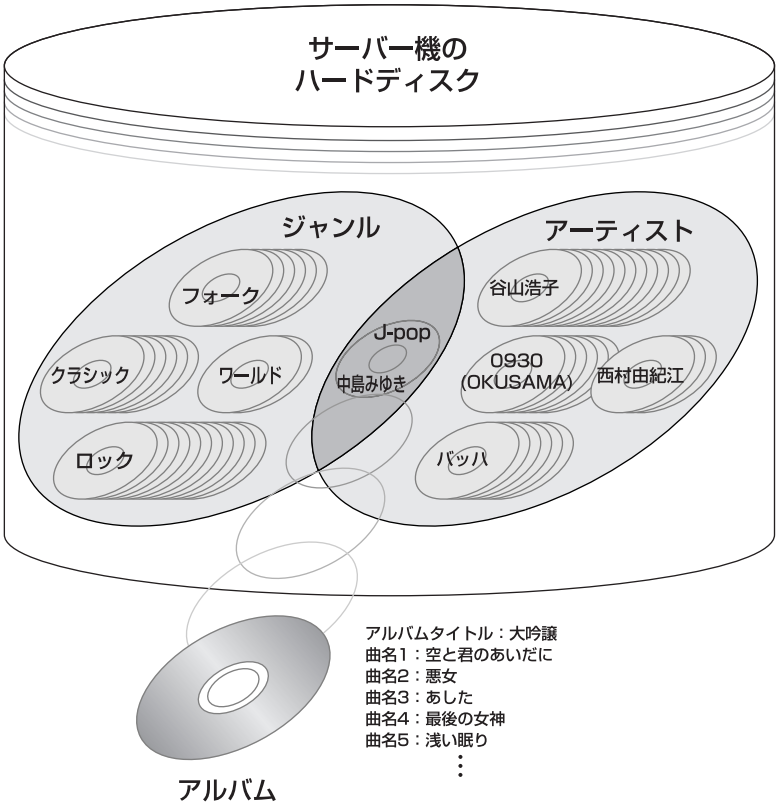
❿ **ステレオレベルメーター**
再生している曲の出力レベルを表示します。

⓫ **再生モードアイコン**
選択している再生モードを表示します(☞41ページ)。

サーバー機に録音する

サーバー機やクライアント機で曲の再生を楽しむためには、まずお手持ちのCDなどをサーバー機のハードディスクに録音する必要があります。
ここでは、曲をサーバー機に録音する方法を説明します。サーバー機に録音した曲は、Gracenote CDDBから取り込まれた曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などの情報といっしょに保存されます。

サーバー機のハードディスクに保存した曲のイメージ



ご注意

サーバー機で使用できるCDは、市販の音楽CD、音楽用CD-R/CD-RWです。データ用CD-R/CD-RWは使用できません(☞208ページ)。

読み込まれる情報

CDから読み込まれる情報の種類には、曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名があり、読み込まれた情報は曲のデータと一緒にサーバー機に保存されます。

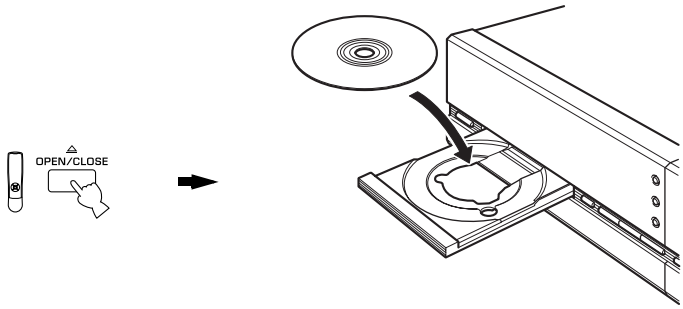
CDの全曲を録音する

CDの全曲をサーバー機のハードディスクに録音します。

1 [トップメニュー] ➔ [レコーディング]➔ [CDからの録音]を選択しCDからの録音画面を表示します。

2 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開きCDを入れます。

ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上にしてCDを置きます。



3 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。

サーバー機にCDを入れると、内蔵のGracenote CDDBデータベースからCDの情報を読み込みます。情報の読み込みが完了すると、CDの情報が表示されます。

ご注意

- ▶CD録音／外部入力録音／CD作成の動作は同時にできません。
- ▶サーバー機に録音できるアルバム数は最大10048個、曲数は最大65000曲です。ただしハードディスクの空き容量により減少する場合があります。

ショートカットキーについて

リモコンのRECORDINGキーを押すと、ワンタッチでレコーディング画面を表示できます。

画面表示について

画面内に表示しきれない場合は∧/∨キーまたはPAGE∧/PAGE∨キーで画面をスクロールし表示します。

Gracenote CDDB

音楽認識技術と音楽関連データはGracenote®によって提供されています。
GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。
“Gracenote”、“CDDB”、“Powered by Gracenote”ロゴおよびロゴ表記はGracenoteの商標です。

Gracenote CDDBとは？

Gracenote CDDBとは、オーディオCDの曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名の情報が保存された音楽データベースです。
MusicCASTではサーバー機にこのデータベースを内蔵し、サーバー機に入れたオーディオCDの情報を検索し、画面に表示します。またインターネットに接続し、Gracenote CDDBサービスのサイトにアクセスすれば、最新のアルバム情報も検索できます。
インターネットのGracenote CDDBデータベースサービスの提供は予告無く中断させていただく場合がありますのでご了承ください。

複数の曲情報が検索された場合

一枚のCDに対して複数の曲情報が検索された場合は、曲情報の選択待ち状態になり録音は開始されません。この場合、正しい情報を選択してください(☞63ページ)。

■ 録音するCDの情報を確認する

録音したいオーディオCDを入れると、サーバー機は自動的にGracenote CDDB®にアクセスして情報が検索されるとCDの曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名を画面に表示します。

❶ **アーティスト名**
アーティスト名が表示されます。

❷ **アルバム名**
アルバム名が表示されます。

❸ **ジャンル名**
ジャンル名が表示されます。

❹ **曲名**
曲名を表示します。

❺ **チェックボックス**
チェックマークがついている曲がサーバー機に録音されます。
初期設定ではアルバムの全曲にチェックがついています。
必要に応じてチェックを外し録音する曲を選択します。

❻ **サブメニュー**
録音操作およびCDの情報確認に関する以下のメニューが表示されます。

メニュー名	説　明
録音開始	録音が開始されます。
全トラック解除	アルバム内のすべての曲のチェックマークが外れ、全曲が録音対象外となります。
全トラック選択	アルバム内のすべての曲にチェックマークをつけ、全曲が録音対象となります。
CDDB 情報	Gracenote CDDB から検索された CD の情報を確認できます。特定のオーディオ CD に対して複数の曲情報が検索された場合などに、このメニューで情報を再表示し情報を編集します。
CD TEXT 情報	オーディオ CD に CD TEXT の情報があれば、このメニューで確認できます。
CD 情報消去	現在画面で表示している曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名の情報を消去します。情報消去後は、それぞれ「トラック」、「不明アルバム」、「不明アーティスト」、「不明ジャンル」と表示されます。

CD TEXT とは？

オーディオCDには、曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報がテキストデータとして記録されているものがあり、この情報をCD TEXTといいます。
この情報をご利用になる場合は、サブメニューの「CD TEXT情報」を選択し、手動でCD TEXTの読み出しを行ってください。CD TEXTが存在する場合、画面にこれらの情報が読み出され表示されます。
ただしCD TEXT情報には、複製（つまり記録）が禁止されているものがあり、その場合、読み出されたテキスト情報をサーバー機に保存できません。

CD 自動録音

レコーディング画面を表示しなくてもCD自動録音機能を使って録音できます（☞MusicCASTクイックマニュアル18ページ）。

情報が検索されない場合

オーディオCD以外のCDや最新のCDは内蔵のCDDBから情報を読み込むことができません。情報のない曲、アルバム、アーティスト、ジャンルはそれぞれ「トラック」「不明アルバム」「不明アーティスト」「不明ジャンル」で録音されます。

曲のフォーマットについて

▶ 録音した曲は最初PCM フォーマットで録音されますが、その後 自動的にMP3 フォーマットに変換されます。
▶ 初期設定では、PCMとMP3の両フォーマットをハードディスクに録音するようになっています（MP3だけ保存する設定☞187ページ）。

PCM フォーマットとは

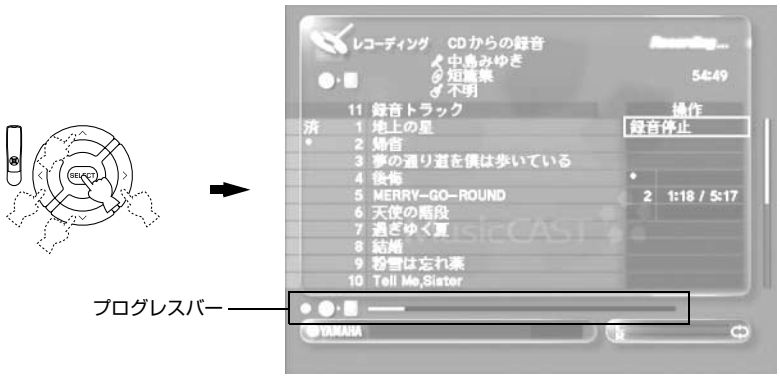
PCMフォーマットは、CDと同じ音質ですが、データ量が多くハードディスクのスペースを多く使用します。
サーバー機で音楽を楽しむ場合やお好みのCDを作成したい場合にPCMフォーマットが用いられます。また、クライアント機（任意の1台のみ）に対してPCMフォーマットで曲を配信できます(☞193ページ)。

MP3 フォーマットとは

MP3フォーマットは、圧縮データのためデータ量が少なくPCMフォーマットに比べ、より多くの曲（最大約10倍）をハードディスクに保存できます。
またクライアント機へは通常MP3フォーマットで曲を配信します。

4 ∧/<∨/>キーで「録音開始」を選択しSELECTキーを押します。

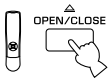
録音が開始され、以下の画面が表示されます。



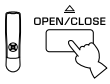
録音が終了すると録音完了画面が表示されます。

5 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開きます。

CDを取り出します。



6 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。



ご注意

- ▶録音中にSELECTキーを押すと録音が停止します。録音中に誤って押すことのないようご注意ください。
- ▶録音中にスタンバイにしないでください。正しく録音できなかったり、ハードディスク上のデータが破損する原因となります。
- ▶録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。ハードディスクの故障の原因となります。

録音を中止したい場合

SELECTキーを押すと、録音を中止できます。

プログレスバー表示

録音中は、録音の進行状況を表すバーが画面の下に表示されます。

録音完了後の操作

- ▶「録音したアルバムのページを開く」を選択すると、録音した内容を確認できます。
- ▶「別のCDを録音する」を選択すると、自動的にディスクトレイを開き、続けて別のCDを録音できます。

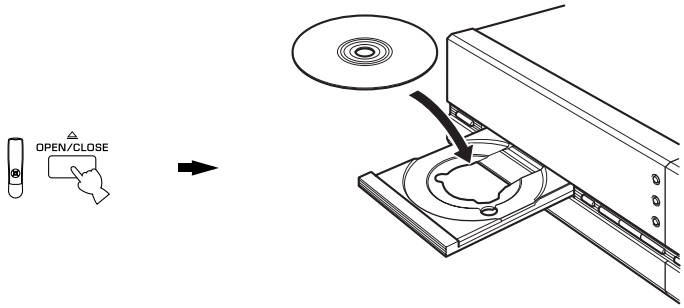
CD から曲を選択し録音する

CDの中からお好きな曲だけを選択して録音します。

1 [トップメニュー] ➔ [レコーディング] ➔ [CDからの録音]を選択しCDからの録音画面を表示します。

2 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開きCDを入れます。

ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上にしてCDを置きます。



3 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。

CDの情報が読み込まれ、情報がテレビ/モニターに表示されます。

ご注意

- ▶ CD録音／外部入力録音／CD作成の動作は同時にできません。
- ▶ サーバー機に録音できるアルバム数は最大10048個、曲数は最大65000曲です。ただしハードディスクの空き容量により減少する場合があります。

CD の全曲を自動録音する場合

CD自動録音☞MusicCASTクイックマニュアル18ページ

ショートカットキーについて

リモコンのRECORDINGキーを押すと、ワンタッチでレコーディング画面を表示できます。

画面表示について

画面内に表示しきれない場合は∧/∨キーまたはPAGE∧/PAGE∨キーで画面をスクロールし表示します。

情報が検索されない場合

オーディオCD以外のCDや最新のCDは内蔵のCDDBから情報を読み込むことができません。情報のない曲、アルバム、アーティスト、ジャンルはそれぞれ「トラック」「不明アーティスト」「不明ジャンル」「不明アルバム」で録音されます。
内蔵のGracenote CDDBデータベースからCDの情報が見つからなかった場合

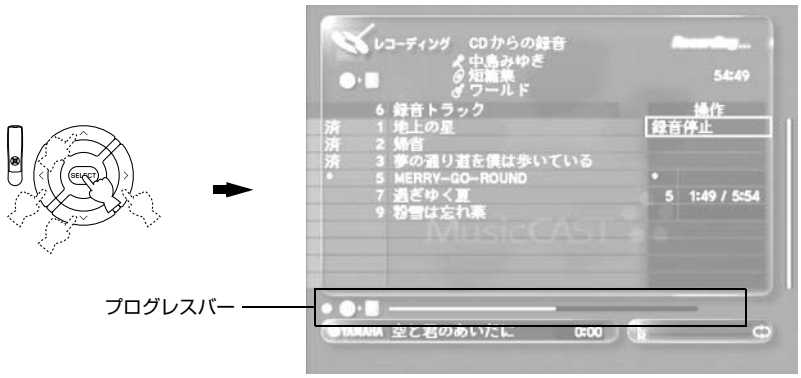
- 情報を手動で入力する(☞60ページ)。
- Gracenote CDDBサービスのインターネットサイトに接続する(☞185ページ)。
- CD TEXTの情報を利用する(☞26ページ)。

4 ∧/<∨/>キーで録音したい曲を選択します。

録音したい曲のチェックボックスにチェックが入っていることを確認します。
初期設定ではすべての曲のチェックボックスが選択（チェック）されています。∧/<∨/>キーでチェックボックスを選択してSELECTキーを押し、チェックボックスのチェックを外すとその曲は録音されません。

5 ∧/<∨/>キーで「録音開始」を選択し SELECT キーを押します。

録音が開始され、以下の画面が表示されます。



録音が終了すると録音完了画面が表示されます。

曲のフォーマットについて

- ▶録音した曲は最初PCM フォーマットで保存されますが、その後 自動的にMP3 フォーマットに変換されます。
- ▶初期設定では、PCMとMP3の両フォーマットをサーバー機に保存するようになっています（☞187ページ）。

PCM フォーマットとは

PCMフォーマットは、CDと同じ音質ですが、データ量が多くハードディスクのスペースを多く使用します。
サーバー機で音楽を楽しむ場合やお好みのCDを作成したい場合にPCMフォーマットが用いられます。また、クライアント機（任意の1台のみ）に対してPCMフォーマットで曲を配信できます（☞193ページ）。

MP3 フォーマットとは

MP3フォーマットは、圧縮データのためデータ量が少なくPCMフォーマットに比べ、より多くの曲（最大約10倍）をハードディスクに保存できます。
またクライアント機へは通常MP3フォーマットで曲を配信します。

ご注意

- ▶録音中にSELECT キーを押すと録音が中止します。録音中に誤って押すことのないようご注意ください。
- ▶録音中にスタンバイにしないでください。正しく録音できなかったり、ハードディスク上のデータが破損する原因となります。
- ▶録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。ハードディスクが故障する原因となります。

録音を中止したい場合

SELECTキーを押すと、録音を中止できます。

プログレスバー表示

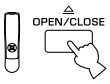
録音中は、録音の進行状況を表すバーが画面の下に表示されます。

録音完了後の操作

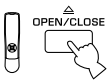
- ▶「録音したアルバムのページを開く」を選択すると、録音した内容を確認できます。
- ▶「別のCDを録音する」を選択すると、自動的にディスクトレイを開き、続けて別のCDを録音できます。

6 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開きます。

CDを取り出します。



7 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。



外部機器からサーバー機に録音する

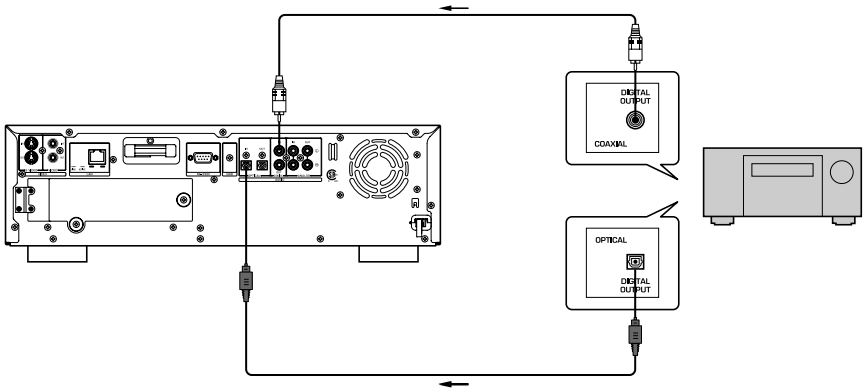
MDプレーヤーやレコードプレーヤーなどの外部機器からサーバー機に録音する方法を説明します。
曲間を自動検出してトラックマークをつけたり、外部プレーヤーの再生と同期して録音するといった録音モードを選択することもできます。

▶ 接続の確認

外部機器とサーバー機を接続します。

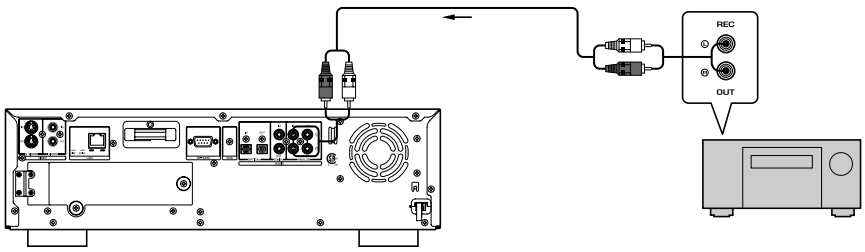
■ デジタル接続の場合

オプティカル、コアキシャルといったデジタル出力端子がある機器とサーバー機を接続します。
オプティカル出力端子の場合は、光ファイバーケーブル（付属品または市販品）を使用します。
コアキシャル端子の場合は、同軸ピンケーブル（市販品）を使用します。



■ アナログ接続の場合

ステレオピンタイプの出力端子がある機器とサーバー機を接続します。
ステレオピンケーブル（付属品または市販品）を使用します。



ご注意

ケーブルの接続は、サーバー機、外部機器の電源プラブをコンセントから抜いた状態で行ってください。

▶ 録音する

外部機器からサーバー機に録音します。

1 [トップメニュー] ➔ [レコーディング]を選択しレコーディング画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「外部入力からの録音」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

3 表示内容を確認しSELECTキーを押します。

外部入力からの録音画面が表示されます。
サーバー機で再生している場合は再生が中断されます。

4 ∧/</∨/>キーで入力を選択しSELECTキーを押します。

接続端子	設定手順
OPTICAL IN 端子	「光デジタル入力」を選択し SELECT キーを押します。
COAXIAL IN 端子	「同軸デジタル入力」を選択し SELECT キーを押します。
ANALOG IN 端子	「アナログ入力」を選択し SELECT キーを押します。

ご注意

- ▶ CD録音／外部入力録音／CD作成の動作は同時にできません。
- ▶ サーバー機の録音できる1つの曲の録音時間は最長99分59秒です。
- ▶ サーバー機に録音できるアルバム数は最大10048個、曲数は最大65000曲です。ただしハードディスクの空き容量により減少する場合があります。

ご注意

- ▶ 外部機器から録音した曲は、Gracenote CDDBやCD TEXTから曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名といった情報を取り込むことができません。
  録音した日時と録音時間の情報のみが保存されますので、録音終了後に曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名といった情報を手動で入力し、曲をライブラリーへ登録する必要があります(☞116ページ)。
- ▶ 外部機器から録音した曲は、そのままではMP3フォーマットに変換されません。曲に情報を入力し、PCMフォーマットの曲をライブラリーに登録してください。ライブラリーに登録された曲は自動的にMP3データへ変換されます(☞116ページ)。

ショートカットキーについて

リモコンのRECORDINGキーを押すと、ワンタッチでレコーディング画面を表示できます。

操作を中止する場合

BACKキーを押すと元の画面に戻ります。

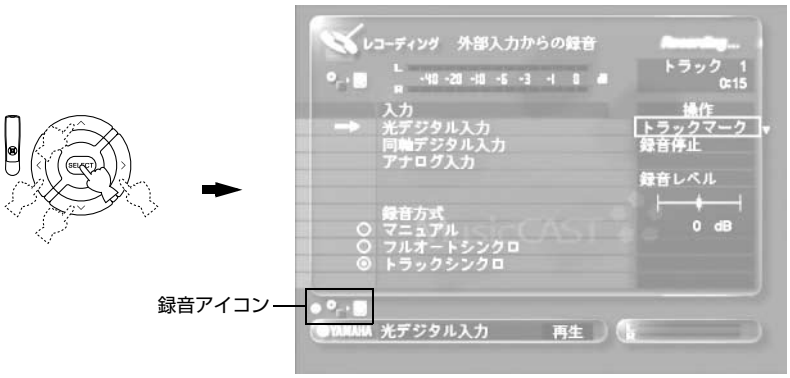
5 ∧/</∨/>キーで録音方式を選択しSELECTキーを押します。

録音モード	説　　明
マニュアルモード	録音開始、停止、トラックマークなどすべての録音操作を手動で行います。
フルオートシンクロ	ソース側の全曲を自動で録音します。外部機器の再生を開始すると、サーバー機も連動して録音を開始します。曲間を検出して自動でトラックマークがつきます。 無音の状態が約 15 秒続くと自動的に録音は終了します。
トラックシンクロ	録音開始、停止を手動で行います。 曲間を検出して自動トラックマークがつきます。

6 ∧/</∨/>キーで録音レベルを設定します。

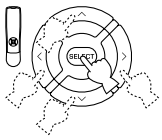
7 ∧/</∨/>キーで「録音開始」を選択し、SELECTキーを押します。

録音が始まります。
外部機器からの録音中は、画面左下に録音アイコンが表示されます。



8 録音したい外部機器を再生します。

9 録音を終了するには、∧/</∨/>キーで「録音停止」を選択しSELECTキーを押します。



ご注意

「フルオートシンクロ」で録音する場合、「録音開始」を選択しSELECTキーを押した後に、外部機器を再生してください。

トラックマークの付与について

一般のオーディオCDはトラックマークで各トラックを区分しています。サーバー機への録音時、選択する録音形態によっては、このトラックマークを認識しない場合があります。
このような場合は、録音中に「トラックマーク」を選択しSELECTキーを押し、トラックマークを付与します。SELECTキーを押すタイミングでトラックマークが付与されます。

ご注意

録音レベルのピーク時にレベルメーターが0dBを超えないように調節します。

録音レベルの調整

入力する音源によってレベル調節の方法は異なります(☞34ページ)。

ご注意

- ▶録音中にSELECT キーを押すと録音が中止します。録音中に誤って押すことのないようご注意ください。
- ▶録音中にスタンバイにしないでください。正しく録音できなかったり、ハードディスク上のデータが破損する原因となります。
- ▶録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。ハードディスクが故障する原因となります。

▶ 録音レベルを調節する

音源をお好みで適切なレベルに調節してサーバー機に録音します。
録音方法ごとに下記の手順にしたがって録音レベルを調節してください。

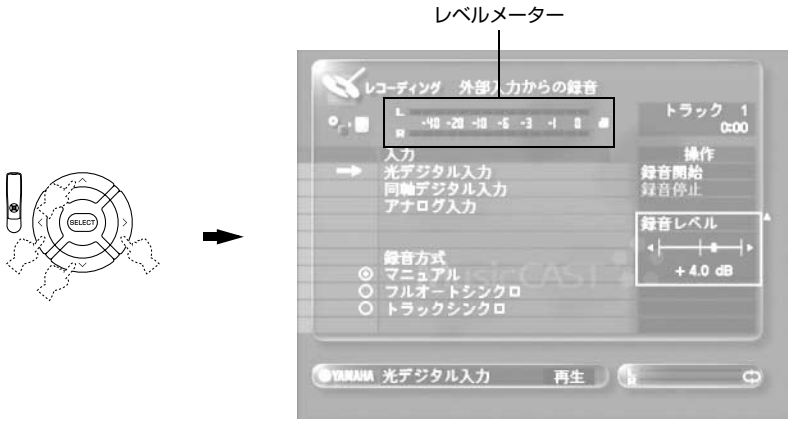
■ デジタル録音する場合

コアキシャル端子またはオプティカル端子で録音する場合はデジタル録音となります。デジタル入力ソースの録音レベルは、初期設定で0dB（デジタルソースの規準レベル）に設定されています。

1 「入力」から「光デジタル入力」もしくは「同軸デジタル入力」を選択しSELECTキーを押します。

2 録音するソースの一番大きい音の（ピークレベル）部分を再生します。

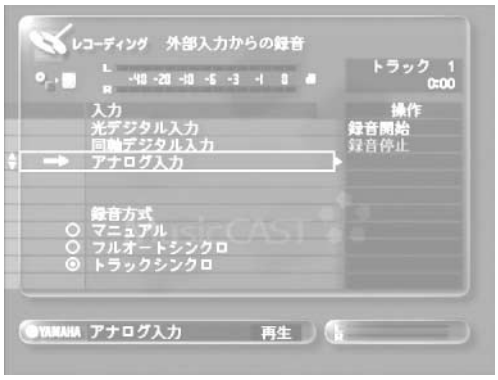
3 ソースの再生中に∧/<</∨/>>キーで「録音レベル」を選択し<</>>キーで録音レベルを調節します。
－12dBから+12dBの範囲で、0.4dBステップで調節できます。



■ アナログ録音する場合

ステレオピン端子で録音する場合はアナログ録音となります。
アナログ録音時のレベル調節はフロントパネルのANALOG REC LEVELツマミで行います。

1 「入力」から「アナログ入力」を選択しSELECTキーを押します。



デジタル録音時のレベル調整

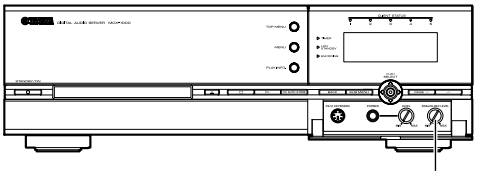
デジタル録音においては、特に意図した場合を除いて録音レベルの調節は必要ありません。

ご注意

録音レベルのピーク時にレベルメーターが0dBを超えないように調節します。

2 録音するソースの一番大きい音の（ピークレベル）部分を再生します。

3 サーバー機のフロントパネルのANALOG REC LEVELツマミで録音レベルを調節します。



ご注意

録音レベルのピーク時にレベルメーターが0dBを超えないように調節します。

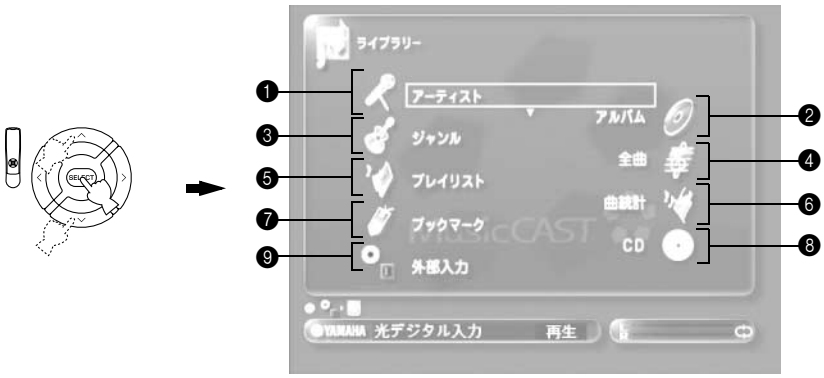
再生する

サーバー機に録音した曲は、アーティスト、アルバム、ジャンル、全曲、プレイリスト、曲統計、ブックマークというグループに分類され管理されています。お好みのグループから選曲し、再生できます。

選曲する

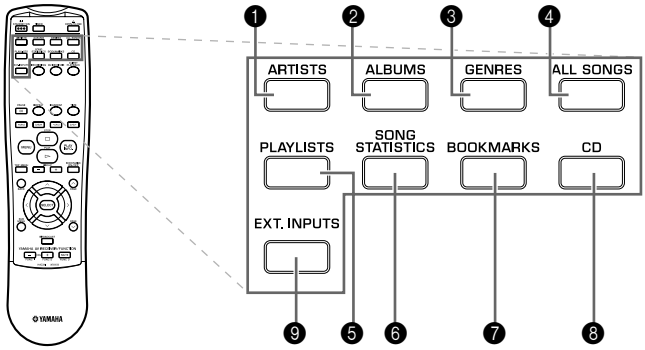
1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーでお好みの選曲方法を選択しSELECTキーを押します。



■ ライブラリーキーで選曲する

リモコンのライブラリーキーでお好みのグループをワンタッチで表示することもできます。



❶ アーティスト名から選曲します(☞42ページ)。

❷ アルバム名から選曲します(☞44ページ)。

❸ ジャンル名から選曲します(☞45ページ)。

❹ 曲名から選曲します(☞46ページ)。

❺ お好みの曲のリスト（プレイリスト）から選曲します(☞46ページ)。

❻ 曲統計の中から選曲します(☞48ページ)。

❼ ブックマークリストから選曲します(☞49ページ)。

❽ お手持ちのCDを再生します(☞51ページ)。

❾ サーバー機に接続した外部機器から再生します(☞53ページ)。

再生する前に

サーバー機単独で曲を再生する場合は、ヘッドホンをご使用になるかサーバー機にアンプとスピーカーを接続する必要があります（☞セットアップガイド)。

ライブラリー曲情報を表示する

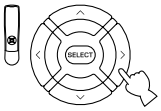
アーティスト、アルバム、ジャンル、曲などの情報を確認します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー]を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ライブラリー画面から「アーティスト」や「全曲」など情報を表示させたい項目を選択します。

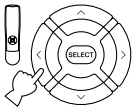
3 ›キーを押します。

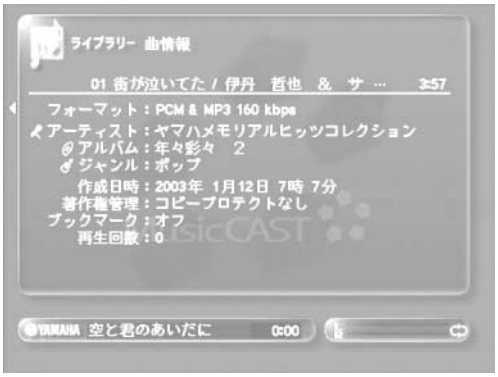
選択した項目の詳細情報が表示されます。



4 くキーまたはBACKキーを押します。

元の画面に戻ります。

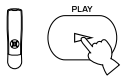




▶ 基本的なリモコン操作

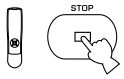
■ 再生を開始するには

PLAYキーを押します。



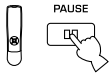
■ 再生を停止するには

STOPキーを押します。



■ 一時停止するには

PAUSEキーを押します。



■ 再生中のグループをスキップするには

再生中にGROUP SKIP＋ とGROUP SKIP－ を押すとグループをスキップします。

例えば、再生グループが「アルバム」のときに次のアルバムにスキップするには再生中にGROUP SKIP＋ を押します。同様に、前のアルバムにスキップするにはGROUP SKIP－ を押します。

■ 別の曲にスキップするには

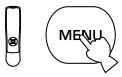
再生中に▷▷|キーを押すと次の曲に、|◁◁キーを１回押すと再生中の曲の頭に、２回押すと前の曲の頭にスキップします。

■ 早送り、巻き戻しをするには

再生/一時停止中に早送りをするには▷▷キー、巻き戻しをするには◁◁キーを押します。

■ メニュー画面を表示するには

MENUキーを押します。



■ 再生情報画面を表示するには

PLAYINFO．キーを押します。

グループ単位の再生

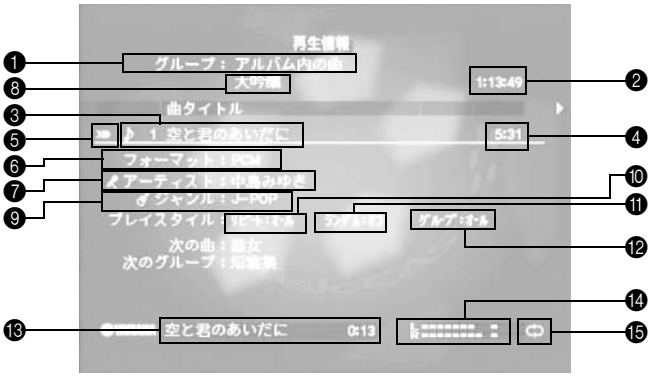
グループとは再生する単位のことです。例えば、アルバムを選択して再生すれば、再生するグループは「アルバム」になり、ジャンルを選択すれば「ジャンル」になるといった具合にグループ単位の再生はそのグループ内のすべての曲を対象にしています。再生グループは再生情報画面に表示されます(☞39ページ)。

再生情報画面について

曲を再生すると再生情報画面が表示されます。再生情報画面は、再生中の曲の情報を表示します。再生情報画面には２つの種類があり、見たい情報の内容に応じて〈/〉キーで左右の２種類を選択できます。

再生情報画面左（曲タイトル表示画面）

曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などの情報を表示します。またリピート再生(☞55ページ)やランダム再生(☞56ページ)の設定もここで表示します。



再生情報画面右（リスト表示画面）

サーバー機で再生中のグループのすべての曲を表示します。曲を選択する方法によってこの画面の内容が異なります。

❶ **グループ名**
アーティスト、アルバム、ジャンル、全曲、プレイリスト、曲統計、ブックマークなどの再生グループを表示します。

❷ **グループタイム**
再生グループの合計再生時間を表示します。

❸ **曲名**
♪はその曲が現在再生中であることを表します。

❹ **タイム**
曲の長さを表示します。

❺ **ブックマーク**
ブックマークに登録されている曲の左側にしおりのアイコンが表示されます。

再生情報画面

MENUキーまたはBACKキーを押すと１つ前の画面に戻ります。PLAY INFO.キーを押すと、曲の再生中でなくても再生情報画面を表示できます。

❻ **曲のフォーマット**

再生中の曲のデータフォーマットを表示します。PCMかMP3のどちらかを表示します。

項　目	説　明
PCM	PCM と MP3 フォーマット両方の曲があることを表します。
MP3	サーバー機のハードディスクに MP3 フォーマットの曲しかないことを表します。

❼ **アーティスト**

再生中の曲のアーティストを表示します。

❽ **アルバム**

再生中の曲のアルバムを表示します。

❾ **ジャンル**

再生中の曲のジャンルを表示します。

❿ **プレイスタイル：リピート設定 (☞55ページ)**

項　目	説　明
オール	選択しているグループ内の全曲を繰り返し再生します。
シングル	現在選択している曲を繰り返し再生します。
オフ	リピート設定がオフになります。

⓫ **プレイスタイル：ランダム設定 (☞56ページ)**

項　目	説　明
オン	選択しているグループ内の曲を順不同に再生します。
オフ	ランダム設定がオフになります。

⓬ **プレイスタイル：グループ設定 (☞58ページ)**

項　目	説　明
オール	選択したグループの再生終了後、続けて次のグループを再生します。
シングル	選択したグループの再生終了後、再生が停止します。

⓭ **時間表示**

再生情報画面の時間表示には、曲の時間表示モード（時間表示の文字が白く表示）とグループの時間表示モード（時間表示の文字が青く表示）の2種類があります。各モードでこの2種類の表示が選択でき、TIMEキーを押すたびに4種類の時間表示を切り替えることができます。

モード	説　明
曲の時間表示	再生中の曲の再生経過時間を表示します。
	再生中の曲の残り時間を表示します。
グループの時間表示	再生中のグループの再生経過時間を表示します。 99 分を越える場合は表示されません。
	再生中のグループの残り時間を表示します。 残り時間が 99 分を越える場合は表示されません。

⓮ **ステレオレベルメーター**

再生している曲の出力レベルを表示します。

プレイスタイルの設定

再生情報画面のサブメニューからプレイスタイルの設定ができます。サブメニューは、サーバー機のリモコンのSUB MENUキーを押すと表示されます。

TIME キーについて

リモコンのTIMEキーを押して時間表示を切り替えることができます。

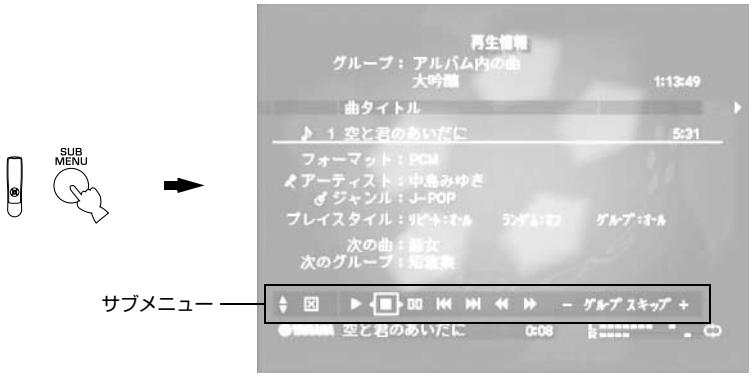
⑮ 再生モードアイコン

アイコン	説　明
アイコンなし	現在選択しているグループ内の全曲を順番に再生します。
シングルリピートアイコン	現在選択している曲を繰り返し再生します。
オールリピートアイコン	選択しているグループ内の全曲を繰り返し再生します。
ランダムアイコン	選択しているグループ内の曲を順不同に再生します。
ランダムリピートアイコン	選択しているグループ内の全曲を順不同に繰り返し再生します。

▶ 再生情報画面のサブメニュー

1 再生情報画面でSUB MENUキーを押します。

再生情報画面のサブメニューが表示されます。



2 ∧/<∨/>キーでお好みの項目を選択しSELECTキーを押します。

再生情報画面のサブメニューで4つの再生機能が設定できます。

サブメニュー	説　　明
再生関連	サーバー機の再生をコントロールします。
プレイスタイル関連	プレイスタイルの設定をします。
時間表示関連	再生情報画面の時間表示を変更します。
その他	再生中の曲にブックマークをつけたり、解除したり、その曲が収録されているアルバムを表示します。

3 〈/〉キーで☒を選択しSELECTキーを押します。

サブメニューを終了します。

アーティストから再生する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「アーティスト」を選択しSELECTキーを押します。

サーバー機に保存されているすべてのアーティストが表示されます。

3 ∧/∨キーでお好みのアーティストを選択しSELECTキーを押します。

選択したアーティストのすべてのアルバムが表示されます。

サブメニューを終了する

SUB MENUキーを押してサブメニューを終了することもできます。

ライブラリーキーについて

リモコンのARTISTSキーを押すとワンタッチでアーティスト画面を表示できます。

画面表示について

1つの画面に項目が表示しきれない場合はPAGE∧/PAGE∨キーまたは∧/∨キーで画面をスクロールし表示します。

アーティスト単位で再生する場合

お好みのアーティストを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのアーティストのすべての曲が再生されます。この場合、再生される曲順はそのアーティストのアルバムの曲順とは関係なく曲名の数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で再生されます。

4 ∧/∨キーでお好みのアルバムを選択しSELECTキーを押します。

選択したアルバムのすべての曲が表示されます。

5 ∧/∨キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲から再生が始まります。

アルバム単位で再生する場合

お好みのアルバムを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのアルバムのすべての曲が再生されます。この場合、アルバムの1曲目から順番に再生されます。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞39ページ)。

アルバムから再生する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「アルバム」を選択しSELECTキーを押します。

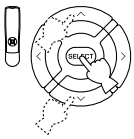
サーバー機に保存されているすべてのアルバムが表示されます。

3 ∧/∨キーでお好みのアルバムを選択しSELECTキーを押します。

選択したアルバムのすべての曲が表示されます。

4 ∧/∨キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲から再生が始まります。



ライブラリーキーについて

リモコンのALBUMSキーを押すとワンタッチでアルバム画面を表示できます。

画面表示について

1つの画面に項目が表示しきれない場合はPAGE∧/PAGE∨キーまたは∧/∨キーで画面をスクロールし表示します。

アルバム単位で再生する場合

お好みのアルバムを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのアルバムのすべての曲が再生されます。この場合、アルバムの1曲目から順番に再生されます。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞39ページ)。

ジャンルから再生する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ジャンル」を選択しSELECTキーを押します。

サーバー機に保存されているすべてのジャンルが表示されます。

3 ∧/∨でお好みのジャンルを選択しSELECTキーを押します。

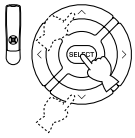
選択したジャンルのすべてのアルバムが表示されます。

4 ∧/∨キーでアルバムを選択しSELECTキーを押します。

選択したアルバムのすべての曲が表示されます。

5 ∧/∨キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲から再生が始まります。



ライブラリーキーについて

リモコンのGENRESキーを押すとワンタッチでジャンル画面を表示できます。

画面表示について

1つの画面に項目が表示しきれない場合はPAGE∧/PAGE∨キーまたは∧/∨キーで画面をスクロールし表示します。

ジャンル単位で再生する場合

お好みのジャンルを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのジャンルのすべての曲が再生されます。この場合、再生される曲順はそのジャンルに登録されたアルバムの曲順とは関係なく曲名の数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で再生されます。

アルバム単位で再生する場合

お好みのアルバムを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのアルバムのすべての曲が再生されます。この場合、アルバムの1曲目から順番に再生されます。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞39ページ)。

すべての曲の中から再生する

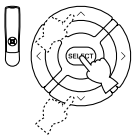
1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「全曲」を選択しSELECTキーを押します。

サーバー機に保存されているすべての曲が数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で表示されます。

3 ∧/∨キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲から最後の曲まで再生されます。



お好みの曲のリスト(プレイリスト)から再生する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「プレイリスト」を選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト画面にコレクション名が表示されます。

ライブラリーキーについて

リモコンのALL SONGSキーを押すとワンタッチで曲画面を表示できます。

画面表示について

1つの画面に項目が表示しきれない場合はPAGE∧/PAGE∨キーまたは∧/∨キーで画面をスクロールし表示します。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞39ページ)。

プレイリストの再生について

プレイリストを再生するには、あらかじめお好みで作成したプレイリストがサーバー機に登録されている必要があります(☞88ページ)。

ライブラリーキーについて

リモコンのPLAYLISTSキーを押すとワンタッチでプレイリスト画面を表示できます。

画面表示について

1つの画面に項目が表示しきれない場合はPAGE∧/PAGE∨キーまたは∧/∨キーで画面をスクロールし表示します。

3 ∧/∨キーでお好みのプレイリストが含まれているコレクション名を選択しSELECTキーを押します。

選択したコレクションに属するプレイリストが表示されます。

4 ∧/∨キーでお好みのリンクを選択しSELECTキーを押します。

選択したプレイリストのすべてのリンクが表示されます。

5 ∧/∨キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲から再生が始まります。

プレイリスト単位で再生する場合

お好みのプレイリストを選択した状態で、PLAYキーを押すと、そのプレイリストに登録されているリンクの最初から再生が始まります。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞39ページ)。

曲統計画面から再生する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「曲統計」を選択しSELECTキーを押します。

曲統計画面が表示されます。

3 ∧/∨キーでお好みの統計を選択しSELECTキーを押します。

曲統計の種類には下記の３種類があります。

曲統計の種類	説　　明
再生回数順	再生された回数の多い順に曲が表示されます。
最近再生した曲	最近再生した順に曲が表示されます。
最近録音したアルバム	最近サーバー機に録音した順にアルバムが表示されます。

4 ∧/∨キーでお好みの曲またはアルバムを選択しSELECTキーを押します。

選択した曲またはアルバムから再生が始まります。

ライブラリーキーについて

リモコンのSONG STATISTICSキーを押すとワンタッチで曲統計画面を表示できます。

画面表示について

１つの画面に項目が表示しきれない場合はPAGE∧/PAGE∨キーまたは∧/∨キーで画面をスクロールし表示します。

再生回数順について

最近再生した曲順に再生が始まります（最大100曲）。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます（☞39ページ）。

ブックマークリストから再生する

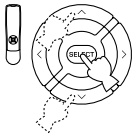
1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ブックマーク」を選択しSELECTキーを押します。

ブックマーク画面が表示されます。

3 ∧/∨キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲から再生が始まります。



▶ ソングリンクを使う

ブックマークがついている曲やプレイリストなどの曲を選択すると、その曲が含まれるアルバム画面を表示できます。

1 ブックマーク、曲統計、全曲、プレイリストなどから画面に曲目を表示します。

ブックマークをつけるには？

ブックマークのつけ方☞109ページ

ライブラリーキーについて

リモコンのBOOKMARKSキーを押すとワンタッチでブックマーク画面を表示できます。

画面表示について

1つの画面に項目が表示しきれない場合はPAGE∧/PAGE∨キーまたは∧/∨キーで画面をスクロールし表示します。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞39ページ)。

2 ∧/∨キーで曲を選択しSUB MENUキーを押します。

3 ∧/∨キーで「リンクを開く」を選択しSELECTキーを押します。

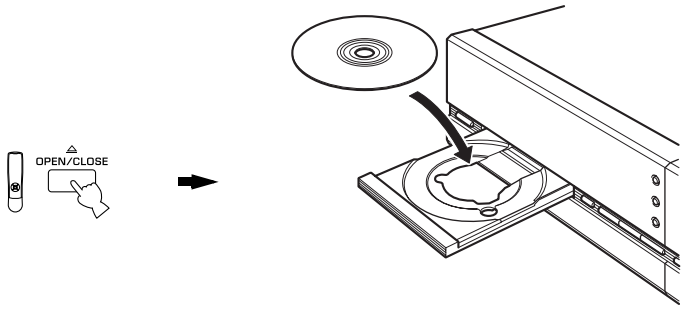
選択した曲のアルバム画面が表示されます。

CDを再生する

サーバー機を通常のCDプレーヤーとしてもお使いいただけます。

1 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開きCDを入れます。

ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上にしてCDを置きます。



2 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。

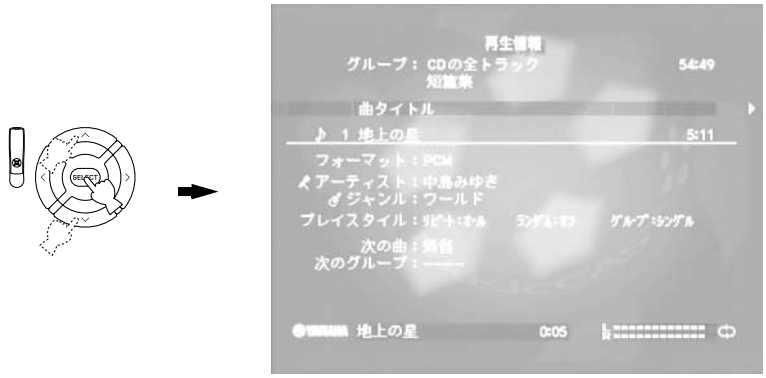
3 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー]を選択しライブラリー画面を表示します。

4 ∧/∨キーで「CD」を選択しSELECTキーを押します。

CDの読み込みが完了するとCDの情報が表示されます。

5 ∧/∨キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。

再生情報画面が表示され、選択した曲から再生が始まります。



ライブラリーキーについて

リモコンのCDキーを押すとワンタッチでCD画面を表示できます。

情報が表示されない場合

オーディオCD以外のCDや最新のCDは内蔵のCDDBから情報が読み込むことができません。情報のない曲、アルバム、アーティスト、ジャンルはそれぞれ「トラック」「不明アルバム」「不明アーティスト」「不明ジャンル」と表示されます。

内蔵のGracenoteCDDBデータベースからCDの情報が見つからなかった場合

- Gracenote CDDBサービスのインターネットサイトに接続する(☞185ページ)。
- CD TEXTの情報を利用する(☞26ページ)。

複数の曲情報が表示された場合

一枚のCDに対して複数の曲情報が検索された場合は、正しい情報を選択してください(☞63ページ)。

PLAY INFO. キーについて

PLAY INFO.キーを押すとワンタッチで再生情報画面を表示できます。

画面表示について

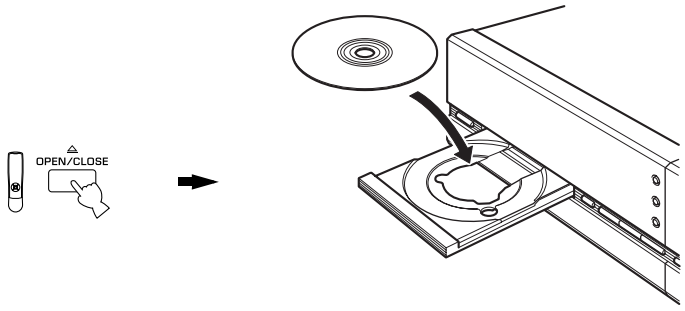
1つの画面に項目が表示しきれない場合はPAGE∧/PAGE∨キーまたは∧/∨キーで画面をスクロールし表示します。

MP3 CDを再生する

サーバー機を使ってMP3フォーマットの曲が入っているCDを聴くことができます。

1 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開きMP3 CDを入れます。

ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上にしてMP3 CDを置きます。



2 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。

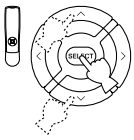
3 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー]を選択しライブラリー画面を表示します。

4 ∧/∨キーで「CD」を選択しSELECTキーを押します。

CDの読み込みが完了するとMP3 CD画面が表示されます。「MP3 CD」に録音されているすべての曲名またはフォルダ名が表示されます。

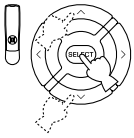
5 ∧/∨キーでお好みのフォルダを選択しSELECTキーを押します。

フォルダ内のすべての曲が表示されます。



6 ∧/∨キーでお好みの曲名を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲から順番にフォルダ内のすべての曲を再生が始まります。



再生可能な MP3 CD について

- ▶ISO9660 level1および2マルチセッションJoliet/Romeoフォーマットで作成されたディスクであることが条件です（ただしpacketライトには非対応です）。
- ▶最大フォルダ階層は8です。
- ▶最大ファイル数は300で拡張子は「.MP3」もしくは「.mp3」です。
- ▶MPEG1 Layer3全圧縮ビットレート対応です。
- ▶VBRは時刻情報/ビットレート情報が正しく表示されない事があります。
- ▶ID3タグver 1.1準拠しています。

ご注意

MP3 CDからサーバー機へは録音できません。

MP3 CD について

MP3 CDはGracenote CDDBから曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などの情報を検索できません。

ライブラリーキーについて

リモコンのCDキーを押すとワンタッチでCD画面を表示できます。

BACK キーについて

BACKキーを押すとひとつ前の画面に戻ります。

PLAY キーについて

「ルート」を選択した状態でPLAYキーを押すと、MP3CD内のすべての曲が再生できます。

時間表示について

「グループの時間表示」を選択すると時間表示されません。

サーバー機に接続した外部機器の音声を聴く

サーバー機に接続した外部機器からの音声を聴くことができます。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「外部入力」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「外部入力の再生」を選択しSELECTキーを押します。

入力端子を選択する画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで入力名を選択しSELECTキーを押します。

入力名	説　明
光デジタル入力	サーバー機の OPTICAL IN 端子に接続している機器からの音声信号を入力できます。
同軸デジタル入力	サーバー機の COAXIAL IN 端子に接続している機器からの音声信号を入力できます。
アナログ入力	サーバー機の ANALOG IN 端子に接続している機器からの音声信号を入力できます。

5 外部機器の再生を開始します。

サーバー機から曲を聴くことができます。

再生する前に

外部機器を再生する前に外部機器がサーバー機と正しく接続されているか確認してください(☞31ページ)。

ライブラリーキーについて

リモコンのEXT. INPUTキーを押すとワンタッチで外部入力画面を表示できます。

外部機器の操作について

外部機器の操作についての詳細は機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

外部機器から録音した曲を聴く

外部機器からサーバー機に録音した曲を聴くことができます。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「外部入力」を選択しSELECTキーを押します。

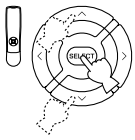
以下の画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「外部入力からの録音曲」を選択しSELECTキーを押します。

録音された曲が表示されます。

4 ∧/∨キーでお好みの曲名を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲の再生が始まります。



ライブラリーキーについて

リモコンのEXT. INPUTキーを押すとワンタッチで外部入力画面を表示できます。

再生が始まると

再生が始まると再生情報画面が表示されます(☞39ページ)。

ご注意

外部機器から録音した曲は、Gracenote CDDBやCD TEXTから曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などの情報を取り込むことができません。録音終了後にこれらの情報を手動で入力する必要があります(☞116ページ)。
外部機器から録音した曲は、サーバー機の音楽ライブラリーに登録するとPCMフォーマットからMP3フォーマットへ自動的に変換されます。

いろいろな再生のしかた

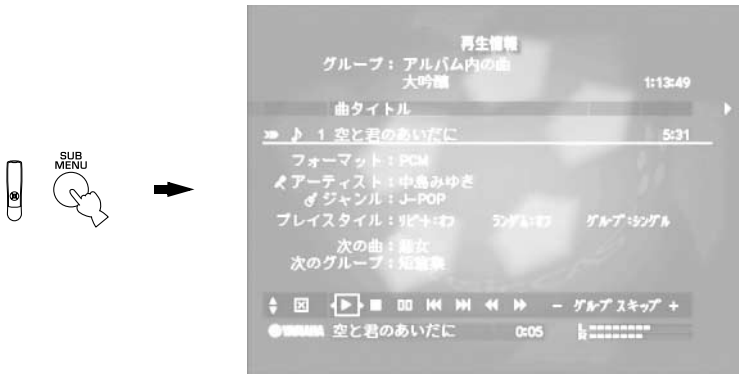
▶ リピート再生を設定する

現在再生中の曲または選択しているグループを繰り返し再生します。

1 PLAY INFO.キーを押し再生情報画面を表示します。

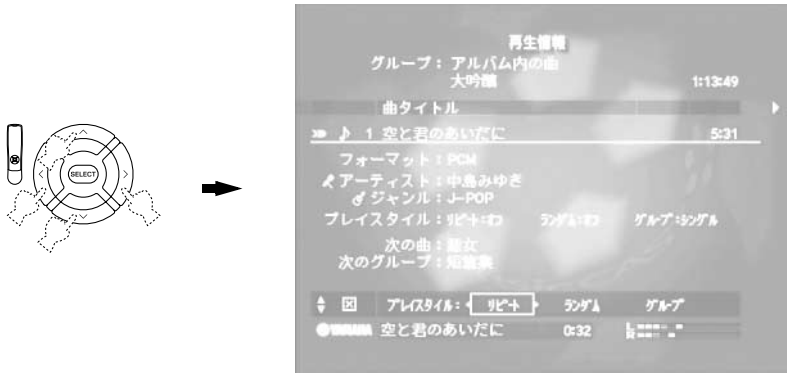
2 SUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。



3 ∧/<∨/>キーで「リピート」を選択します。

以下の画面が表示されます。



4 SELECTキーで「オフ」、「シングル」または「オール」を選択します。

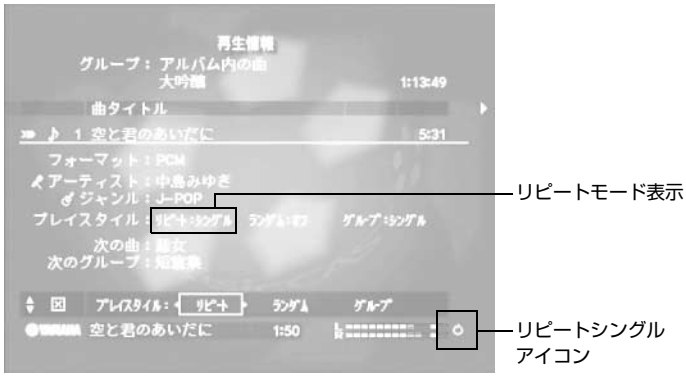
設定が切り替わります。

項　目	説　明
オフ	リピート再生が無効になります。
シングル	現在再生している曲を繰り返し再生します。
オール	選択しているグループを繰り返し再生します。

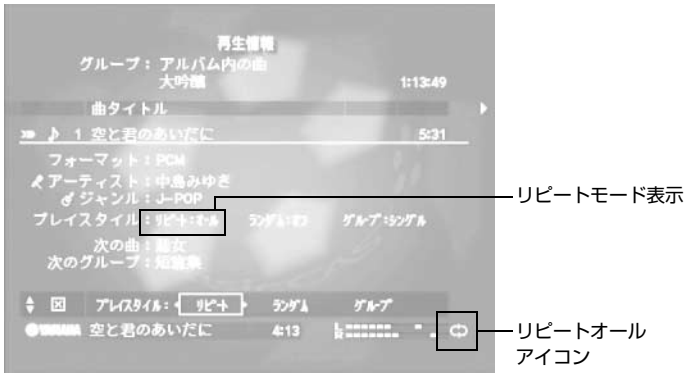
REPEAT キーについて

REPEAT キーを押すとワンタッチでリピート再生モードを切り替えることができます。

リピートシングル



リピートオール



▶ ランダム再生を設定する

現在選択しているグループの曲を順不同に再生します。

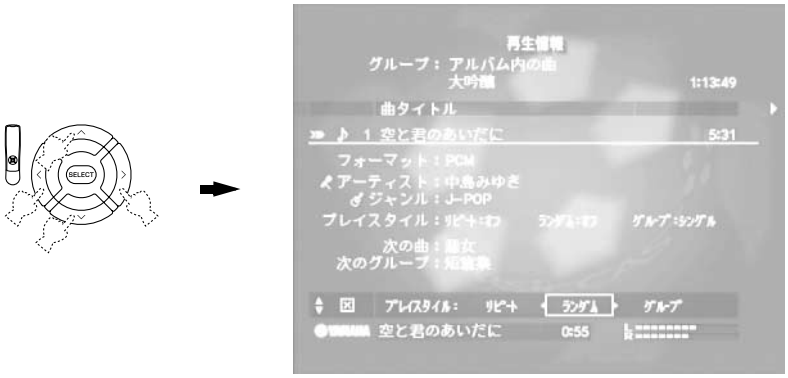
1 PLAY INFO.キーを押し再生情報画面を表示します。

2 SUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

3 ∧/<∨/>キーで「ランダム」を選択します。

以下の画面が表示されます。

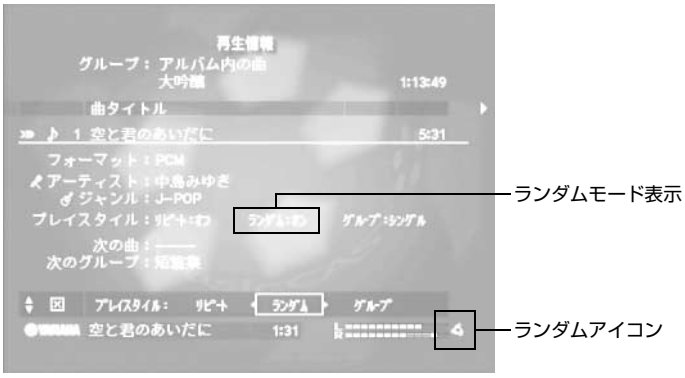


4 SELECTキーで「オフ」、または「オン」を選択します。

設定が切り替わります。

項　目	説　明
オフ	ランダム再生が無効になります。
オン	ランダム再生が有効になります。

ランダムオン



RANDOM キーについて

RANDOMキーを押すとワンタッチでランダム再生モードを切り替えることができます。

▶ グループの再生方法を設定する

再生しているグループの再生を継続するか、そのグループだけ再生したら停止するかを設定します。

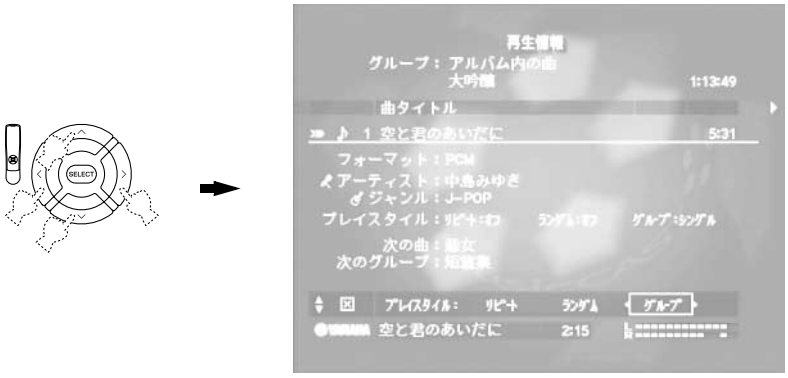
1 PLAY INFO.キーを押し再生情報画面を表示します。

2 SUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

3 ∧/<</∨/>キーで「グループ」を選択します。

以下の画面が表示されます。



グループ単位の再生

グループとは再生する単位のことです。例えば、アルバムを選択して再生すれば、再生するグループは「アルバム」になり、ジャンルを選択すれば「ジャンル」になるといった具合にグループ単位の再生はそのグループ内のすべての曲を対象にしています。再生グループは再生情報画面に表示されます(☞39ページ)。

グループの再生方法

ここで設定した、グループ設定はリピート再生、ランダム再生にも影響します。

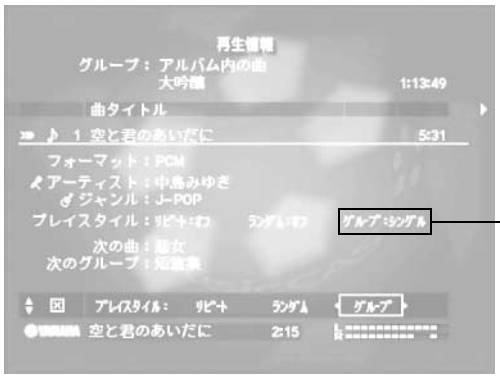
リピート再生について(☞55ページ)
ランダム再生について(☞56ページ)

4 SELECTキーで「シングル」、または「オール」を選択します。

設定が切り替わります。

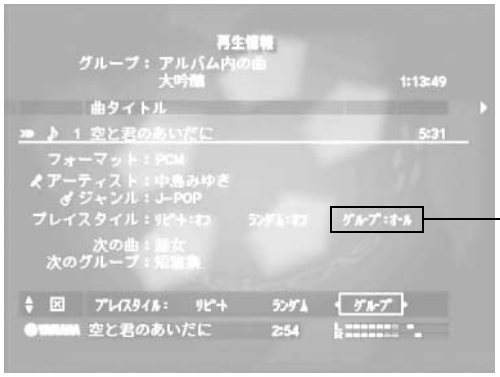
項　目	説　明
シングル	選択したグループの再生終了後、再生が停止します。
オール	選択したグループの再生終了後、続けて次のグループを再生します。

グループシングル



グループモード表示

グループオール



グループモード表示

編集する

ライブラリーを編集する

録音した曲は、サーバー機のライブラリーで曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などのグループごとに管理され、各グループのサブメニューから再生、プレイリスト追加機能、タイトルの編集、削除、新規作成などの操作を選択できます。
ここでは、これらのグループ情報をお好みで編集したり新規で作成したりする方法を説明します。

▶ アーティストの編集 (☞64ページ)

サブメニュー項目	内　　容	参照
プレイリスト登録	選択したアーティストをプレイリストに加えます。	65
タイトル編集	選択したアーティストのアーティスト名を変更します。	66
削除	選択したアーティストを削除します。	67
新規作成	アーティストを新規作成します。	67
移動	選択したアルバムを他のアーティストに移動します。	68

▶ アルバムの編集 (☞70ページ)

サブメニュー項目	内　　容	参照
プレイリスト登録	選択したアルバムをプレイリストに加えます。	71
タイトル編集	選択したアルバムのアルバム名を変更します。	72
削除	選択したアルバムを削除します。	73
ブックマーク ON	選択したアルバムの全曲にブックマークをつけます。	73
新規作成	アルバムを新規作成します。	74
移動	選択した曲の順番を変更したり、他のアルバムに移動したりします。	75

▶ ジャンルの編集 (☞77ページ)

サブメニュー項目	内　　容	参照
プレイリスト登録	選択したジャンルをプレイリストに追加します。	78
タイトル編集	選択したジャンルのジャンル名を変更します。	79
削除	選択したジャンルとそれに含まれるアルバムを削除します。	80
新規作成	ジャンルを新規作成します。	81
移動	選択したアルバムを他のジャンルに移動します。	82

▶ 曲の編集 (☞83ページ)

サブメニュー項目	内　　容	参照
プレイリスト登録	選択した曲をプレイリストに追加します。	84
タイトル編集	選択した曲の曲名を変更します。	86
削除	選択した曲を削除します。	87
ブックマーク ON(OFF)	選択した曲にブックマークをつけます（解除します）。	109

▶ プレイリストの編集 (☞88ページ)

サブメニュー項目	内　　容	参照
リンク追加	選択したグループや曲をプレイリストに追加します。	91
タイトル編集	選択したプレイリスト名を変更します。	94
削除	選択したプレイリストを削除します。	95
移動	選択したプレイリストを他のコレクションに移動します。	96
コピー	選択したプレイリストを他のコレクションにコピーします。	97
新規作成	プレイリストを新規作成します。	98

▶ プレイリストリンクの編集 (☞100ページ)

サブメニュー項目	内　　容	参照
リンク追加	選択したグループや曲をプレイリストリンクに追加します。	100
削除	選択したリンクを削除します。	104
移動	選択したリンクを他のコレクションに移動します。	105
コピー	選択したリンクを他のコレクションにコピーします。	107

▶ ブックマークの編集 (☞109ページ)

サブメニュー項目	内　　容	参照
削除	選択したブックマークを削除します。	110
プレイリスト化	ブックマークリストをプレイリストに変換します。	113

▶ 外部録音した曲の編集 (☞114ページ)

サブメニュー項目	内　　容	参照
タイトル編集	選択した外部録音された曲の曲名を変更します。	115
移動	選択した外部録音された曲をライブラリーに登録します。	116
削除	選択した外部録音された曲を削除します。	117

コレクションのタイトル編集

コレクション画面からコレクションのタイトル変更ができます(☞89ページ)。

ブックマークのつけ方

- ▶ 再生情報画面でブックマークをつける☞109ページ
- ▶ ライブラリー画面でブックマークをつける☞110ページ

▶表示されるアルバムの情報

「CDからの録音」画面(☞25ページ)でサーバー機にCDを入れると、サーバー機はGracenote CDDB®のデータベースからそのCDの曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名を読み込み、画面に情報を表示します。

■ サーバー機の内蔵Gracenote CDDBデータベースにCDのデータが見つかった場合

サーバー機のデータベースから曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名が読み込まれ画面に表示されます。

■ サーバー機が関連データを検索できない場合

録音時、内蔵Gracenote CDDBデータベースでCDの情報が検索できない場合は、画面に情報が表示されません。

内蔵のGracenote CDDBデータベースからCDの情報が見つからなかった場合は、Gracenote CDDBサービスのインターネットサイトに接続する(☞185ページ)かCD TEXTの情報を確認(☞26ページ)してみてください。それでも情報が検索できない場合は、録音終了後に必要な情報を手動で登録する必要があります。

内　　容	参照
曲名の登録	116
アルバム名の登録	74
アーティスト名の登録	67
ジャンル名の登録	81

Gracenote CDDB とは？

Gracenote CDDBとは、オーディオCDの曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名の情報が保存された音楽データベースです。
MusicCASTではサーバー機にこのデータベースを内蔵し、サーバー機に入れたオーディオCDの情報を検索し、画面に表示します。またインターネットに接続し、Gracenote CDDBサービスのサイトにアクセスすれば、最新のアルバム情報も検索できます。
インターネットのGracenote CDDBデータベースサービスの提供は予告無く中断させていただく場合がありますのでご了承ください。

CD TEXT とは？

オーディオCDには、曲名、アーティスト名、アルバム名などの情報がテキストデータとして記録されているものがあり、この情報をCD TEXTといいます。
この情報をご利用になる場合は、サブメニューの「CD TEXT情報」を選択し、手動でCD TEXTの読み出しを行ってください。CD TEXTが存在する場合、画面にこれらの情報が読み出され表示されます。
ただしCD TEXT情報には、複製（つまり記録）が禁止されているものがあり、その場合、読み出されたテキスト情報をサーバー機に保存できません。

■ CDの情報が複数検索された場合

1つのCDに対してGracenote CDDBから複数の曲情報が検索された場合は、∧/∨キーで正しい情報を選択しSELECTキーを押します。

この操作を中止したい場合は、∧/</∨/>キーで「キャンセル」を選択しSELECTキーを押します。

アーティストを編集する

アーティストの新規作成、アーティスト名の変更や削除などの編集を行います。

■ アーティスト編集用の画面（サブメニュー）を表示する

アーティスト編集用の画面を表示し、アーティストの情報を編集します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「アーティスト」を選択しSELECTキーを押します。

アーティスト画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで編集したいアーティストを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

❶ 選択したアーティストを再生します(☞42ページ)。

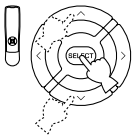
❷ 選択したアーティストをプレイリストに追加します(☞65ページ)。

❸ 選択したアーティストのアーティスト名を変更します(☞66ページ)。

❹ 選択したアーティストを削除します(☞67ページ)。

❺ 新しいアーティストを作成します(☞67ページ)。

4 ∧/∨キーでメニューを選択しSELECTキーを押します。



ライブラリーキーについて

リモコンのARTISTSキーを押すとワンタッチでアーティスト画面を表示できます。

ご注意

- ▶ アーティストの再生中でもそのアーティストを移動したり削除したりできます。この場合、再生が停止したり再生されるアルバムが変更されたりする可能性があります。
- ▶ クライアント機へ曲を配信している途中にアーティストの削除を行うと、クライアント機側の再生が停止または次のアーティストが再生されます。

アーティスト単位で再生する場合

お好みのアーティストを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのアーティストのすべての曲が再生されます。この場合、再生される曲順はそのアーティストのアルバムの曲順とは関係なく曲名の数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で再生されます。

▶ アーティストをプレイリストに登録する

任意のアーティストをプレイリストに登録します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アーティスト]を選択しアーティスト画面を表示します。

2 ∧/∨キーでプレイリストに登録したいアーティストを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「プレイリスト登録」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

4 ∧/</∨/>キーでアーティストを登録したいコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリストにアーティストを登録する場合

選択したアーティストに含まれるすべての曲がプレイリストに登録されます。

5 ∧/<∨/>キーでアーティストを登録したいプレイリストを選択します。

6 ∧/<∨/>キーで「追加」を選択しSELECTキーを押します。

選択したアーティストがプレイリストに登録されます。

▶ アーティスト名を変更する

ライブラリーに登録したアーティスト名を変更します。
Gracenote CDDBやCD TEXTからアーティスト名などの情報を入手できないときや、外部機器から録音したときなどに便利です。

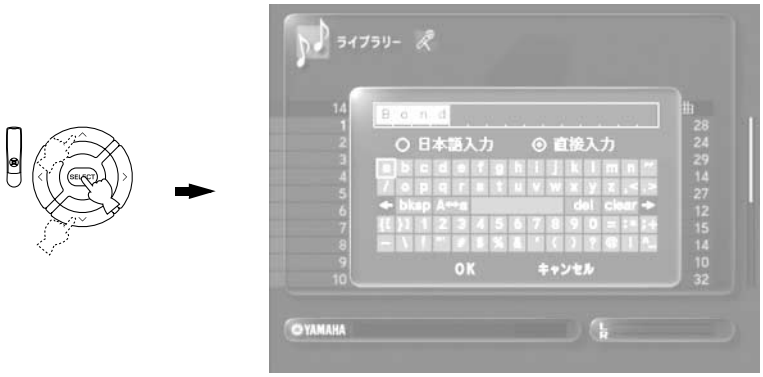
1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アーティスト] を選択しアーティスト画面を表示します。

2 ∧/∨キーで編集したいアーティストを選択しSUB MENUキーを押します。

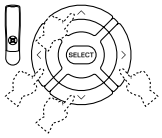
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「タイトル編集」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力画面が表示されます。

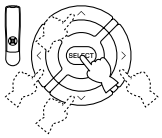


4 ∧/<∨/>キーで文字を選択しアーティスト名を入力します。



5 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

アーティスト画面に戻ります。



文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。
▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

▶ アーティストを削除する

ライブラリーに登録したアーティストを削除します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アーティスト] を選択しアーティスト画面を表示します。

2 ∧/∨キーで削除したいアーティストを選択しSUB MENUキーを押します。

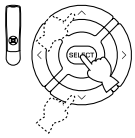
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「削除」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

選択したアーティストおよびアーティスト内のすべての曲がデータベースから削除され、サブメニューに戻ります。



▶ 新しくアーティストを登録する

ライブラリーにアーティストを新規に登録します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アーティスト] を選択しアーティスト画面を表示します。

2 SUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

PCMのみ削除する場合

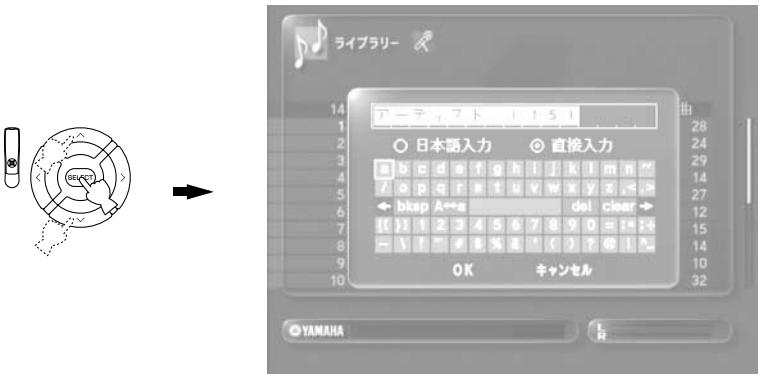
PCMフォーマットのファイルだけ削除する場合は∧/∨キーで「PCMのみ削除」を選択し、SELECTキーを押します。

操作を中止する場合

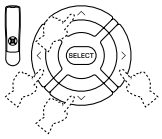
「閉じる」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと元の画面に戻ります。

3 ∧/∨キーで「新規作成」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力画面が表示されます。

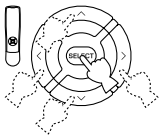


4 ∧/<</∨/>キーで文字を選択しアーティスト名を入力します。



5 ∧/<</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

アーティスト画面に戻ります。



▶ アルバムが属するアーティストを変更する

任意のアルバムを他のアーティストに移動します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アーティスト] を選択しアーティスト画面を表示します。

2 ∧/∨キーで編集したいアーティストを選択しSELECTキーを押します。

選択したアーティストのアルバムが表示されます。

文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。

▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

3 ∧/∨キーで移動したいアルバムを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

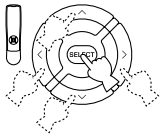
4 ∧/∨キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

5 ∧/<∨/>キーでアルバムの移動先のアーティストを選択します。

6 ∧/<∨/>キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

選択したアーティストにアルバムが移動されます。



ご注意

移動のサブメニューから新しいアーティストを作成できます。∧/∨キーで「新規アーティスト」を選択、SELECTキーを押し、新しいアーティスト名を入力します。「OK」を選択し、SELECTキーを押します。新しいアーティストが選択リストに表示されます。

アルバムを編集する

アルバムの新規作成、アルバム名の変更や削除などの編集を行います。

■ アルバム編集用の画面（サブメニュー）を表示する

アルバム編集用の画面を表示し、アルバムに関する情報を編集します。

1 ［トップメニュー］➔［ライブラリー］を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「アルバム」を選択しSELECTキーを押します。

アルバム画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで編集したいアルバムを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

❶ 選択したアルバムを再生します。

❷ 選択したアルバムをプレイリストに追加します（☞71ページ）。

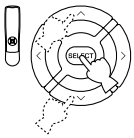
❸ 選択したアルバムのアルバム名を変更します（☞72ページ）。

❹ 選択したアルバムを削除します（☞73ページ）。

❺ 選択したアルバムにブックマークをつけます（☞73ページ）。

❻ 新しいアルバムを作成します（☞74ページ）。

4 ∧/∨キーでメニューを選択しSELECTキーを押します。



ライブラリーキーについて

リモコンのALBUMSキーを押すとワンタッチでアルバム画面を表示できます。

ご注意

▶ アルバムの再生中でもそのアルバムを移動したり削除したりできます。この場合、再生が停止したり再生されるアルバムが変更されたりする可能性があります。

▶ クライアント機へ曲を配信している途中にアルバムの削除を行うと、クライアント機側の再生が停止または次のアルバムが再生されます。

アルバム単位で再生する場合

お好みのアルバムを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのアルバムのすべての曲が再生されます。この場合、アルバムの1曲目から順番に再生されます。

▶ アルバムをプレイリストに登録する

任意のアルバムをプレイリストに登録します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アルバム]を選択しアルバム画面を表示します。

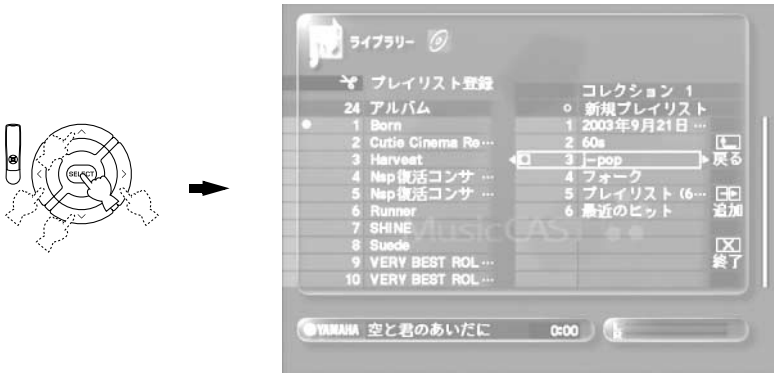
2 ∧/∨キーでプレイリストに登録したいアルバムを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「プレイリスト登録」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

4 ∧/<∨/>キーでアルバムを登録したいコレクションを選択しSELECTキーを押します。



プレイリストにアルバムを登録する場合

選択したアルバムに含まれるすべての曲がプレイリストに登録されます。

5 ∧/<∨/>キーでアルバムを登録したいプレイリストを選択します。

6 ∧/<∨/>キーで「追加」を選択しSELECTキーを押します。

選択したアルバムがプレイリストに登録されます。

▶ アルバム名を変更する

ライブラリーに登録したアルバム名を変更します。
Gracenote CDDBやCD TEXTからアルバム名などの情報を入手できないときや、外部機器から録音をしたときなどに便利です。

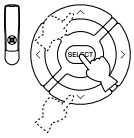
1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アルバム] を選択しアルバム画面を表示します。

2 ∧/∨キーで編集したいアルバムを選択しSUB MENUキーを押します。

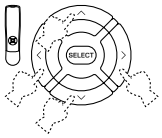
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「タイトル編集」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力画面が表示されます。

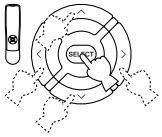


4 ∧/<∨/>キーで文字を選択しアルバム名を入力します。



5 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

アルバム画面に戻ります。



文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。
▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

▶ アルバムを削除する

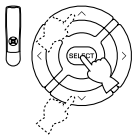
ライブラリーに登録したアルバムを削除します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アルバム] を選択しアルバム画面を表示します。

2 ∧/∨キーで編集したいアルバムを選択しSUB MENUキーを押します。
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「削除」を選択しSELECTキーを押します。
以下の画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。
選択したアルバムおよびアルバム内のすべての曲がデータベースから削除され、サブメニューに戻ります。



▶ アルバム全曲にブックマークをつける

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アルバム] を選択しアルバム画面を表示します。

2 ∧/∨キーで編集したいアルバムを選択しSUB MENUキーを押します。
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「ブックマークON」を選択しSELECTキーを押します。
選択したアルバムの全曲にブックマークがつきます。

PCMのみ削除する場合

PCMフォーマットのファイルだけ削除する場合は∧/∨キーで「PCMのみ削除」を選択し、SELECTキーを押します。

操作を中止する場合

「閉じる」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキーを押すと元の画面に戻ります。

ブックマークについて

- ▶ ブックマークを解除するにはアルバム内の曲を1曲ずつ選択し、BOOKMARK ON/OFFキーまたはサブメニューから「ブックマークOFF」を選択します。
- ▶ ライブラリーの曲リスト画面でブックマークの有無を確認できます。

▶ 新しくアルバムを登録する

ライブラリーにアルバムを新規に作成します。

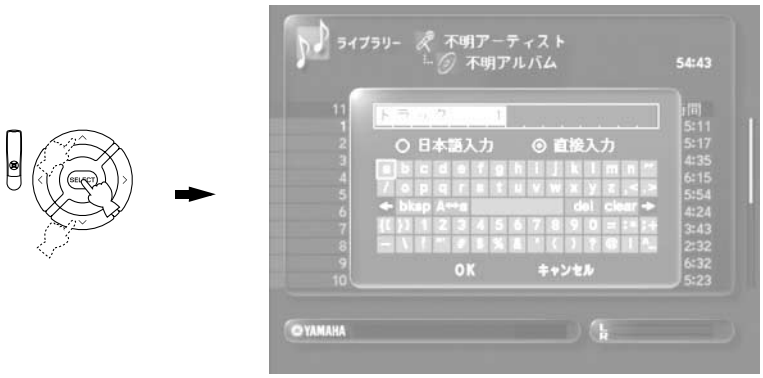
1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アルバム] を選択しアルバム画面を表示します。

2 SUB MENUキーを押します。

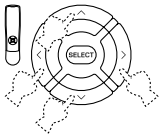
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「新規作成」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力画面が表示されます。

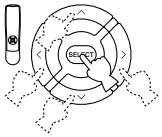


4 ∧/</∨/>キーで文字を選択しアルバム名を入力します。



5 ∧/</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

入力したアルバム名が登録されます。



文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。

▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

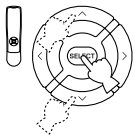
▶ 曲が属するアルバムを変更する

曲を他のアルバムに移動します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [アルバム]を選択しアルバム画面を表示します。

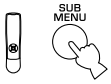
2 ∧/∨キーで移動したい曲が登録されているアルバムを選択しSELECTキーを押します。

選択したジャンルのアルバムが表示されます。



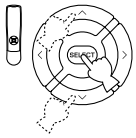
3 ∧/∨キーで移動したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。



4 ∧/∨キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

移動用のサブメニューが表示されます。



5 ∧/</∨/>キーで「戻る」を選択しSELECTキーを押します。

曲の移動について

- ▶「アーティスト」または「ジャンル」からでも、曲が属するアルバムを変更できます。
- ▶移動先に同じアルバムを指定して曲の並び順を変更することもできます。

ご注意

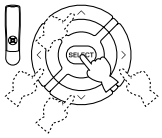
移動のサブメニューから新しいアーティストを作成できます。∧/∨キーで「新規アーティスト」を選択、SELECTキーを押し、新しいアーティスト名を入力します。「OK」を選択し、SELECTキーを押します。新しいアーティストが選択リストに表示されます。

6 ∧/</∨/>キーで曲の移動先のアルバムを選択しSELECTキーを押します。

7 ∧/</∨/>キーで曲を移動したい場所にカーソルを合わせます。

8 ∧/</∨/>キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲が移動します。



ジャンルを編集する

ジャンルの新規作成、ジャンル名の変更や削除などの編集を行います。

■ ジャンル編集用の画面（サブメニュー）を表示する

ジャンル編集用の画面を表示し、アーティストの詳細情報を編集します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ジャンル」を選択しSELECTキーを押します。

ジャンル画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで編集したいジャンルを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

❶ 選択したジャンルを再生します (☞45ページ)。

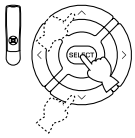
❷ 選択したジャンルをプレイリストに追加します。

❸ 選択したジャンルのジャンル名を変更します (☞79ページ)。

❹ 選択したジャンルを削除します (☞80ページ)。

❺ 新しいジャンルを作成します (☞81ページ)。

4 ∧/∨キーでメニューを選択しSELECTキーを押します。



ライブラリーキーについて

リモコンのGENRESキーを押すとワンタッチでジャンル画面を表示できます。

ご注意

▶ ジャンルの再生中でもそのジャンルを移動したり削除したりできます。この場合、再生が停止したり再生される曲が変更されたりする可能性があります。

▶ クライアント機へ曲を配信している途中にジャンルの削除を行うと、クライアント機の再生が停止または次のジャンルが再生されます。

ジャンル単位で再生する場合

お好みのジャンルを選択した状態でPLAYキーを押すと、そのジャンルのすべての曲が再生されます。この場合、再生される曲順はそのジャンルに登録されたアルバムの曲順とは関係なく曲名の数字、アルファベット、ひらがな、カタカナ、漢字の順で再生されます。

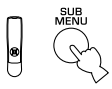
▶ ジャンルをプレイリストに登録する

任意のジャンルをプレイリストに登録します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [シャンル]を選択しジャンル画面を表示します。

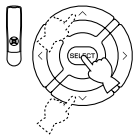
2 ∧/∨キーでプレイリストに登録したいジャンルを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

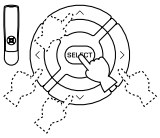


3 ∧/∨キーで「プレイリスト登録」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。



4 ∧/</∨/>キーでジャンルを登録したいコレクションを選択しSELECTキーを押します。



プレイリストにジャンルを登録する場合

選択したジャンルに含まれるすべての曲がプレイリストに登録されます。

5 ∧/<∨/>キーでジャンルを登録したいプレイリストを選択します。

6 ∧/<∨/>キーで「追加」を選択しSELECTキーを押します。

選択したジャンルがプレイリストに登録されます。

▶ ジャンル名を変更する

ライブラリーに登録したジャンル名を変更します。
Gracenote CDDBやCD TEXTからジャンル名などの情報を入手できないときや、外部機器から録音したときなどに便利です。

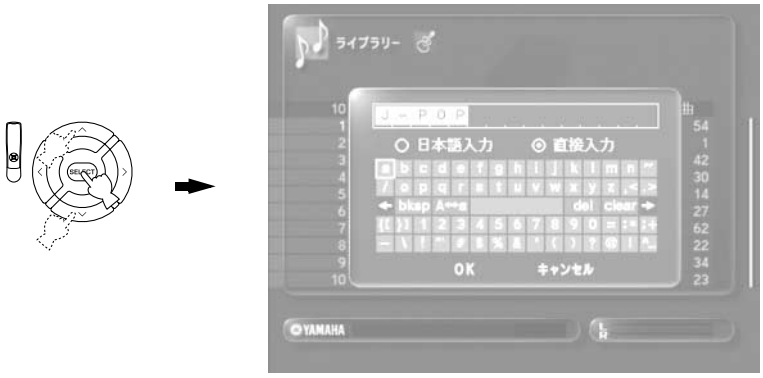
1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [ジャンル]を選択しジャンル画面を表示します。

2 ∧/∨キーで編集したいジャンルを選択しSUB MENUキーを押します。

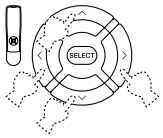
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「タイトル編集」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力画面が表示されます。

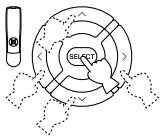


4 ∧/<∨/>キーで文字を選択しジャンル名を入力します。



5 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

ジャンル画面に戻ります。



文字入力について

▶PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。
▶文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

▶ ジャンルを削除する

ライブラリーに登録したジャンルを削除します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [ジャンル]を選択しジャンル画面を表示します。

2 ∧/∨キーで削除したいジャンルを選択しSUB MENUキーを押します。

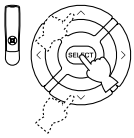
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「削除」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

選択したジャンルおよびジャンル内のすべての曲がデータベースから削除され、サブメニューに戻ります。



PCMのみ削除する場合

PCMフォーマットのファイルだけ削除する場合は∧/∨キーで「PCMのみ削除」を選択し、SELECTキーを押します。

操作を中止する場合

「閉じる」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキーを押すと元の画面に戻ります。

▶ 新しいジャンルを登録する

ライブラリーにジャンルを新規に登録します。

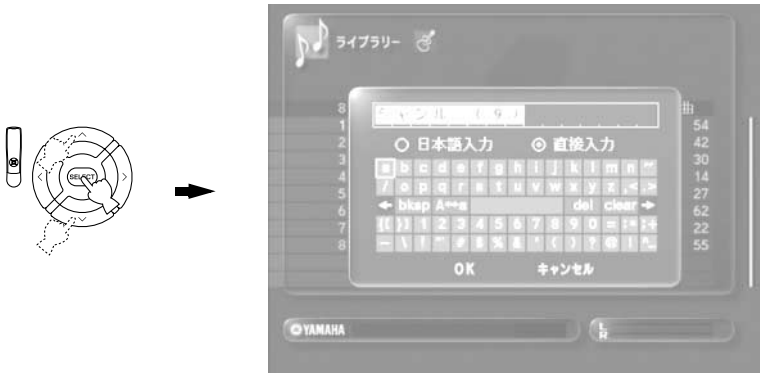
1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [ジャンル]を選択しジャンル画面を表示します。

2 SUB MENUキーを押します。

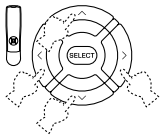
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「新規作成」を選択しSELECTキーを押します。

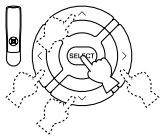
文字入力画面が表示されます。



4 ∧/</∨/>キーで文字を選択しジャンル名を入力します。



5 ジャンル名を入力し終わったら∧/</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。



文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。

▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

▶ アルバムが属するジャンルを変更する

任意のアルバムを他のジャンルに移動します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [ジャンル]を選択しジャンル画面を表示します。

2 ∧/∨キーで移動したいアルバムが登録されているジャンルを選択しSELECTキーを押します。

選択したジャンルのアルバムが表示されます。

3 ∧/∨キーで移動したいアルバムを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

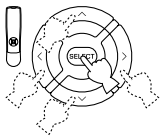
ご注意

移動のサブメニューから新しいジャンルを作成できます。∧/∨キーで「新規ジャンル」を選択、SELECTキーを押し、新しいジャンル名を入力します。「OK」を選択し、SELECTキーを押します。新しいジャンルが選択リストに表示されます。

5 ∧/∨キーでアルバムを移動したいジャンルを選択します。

6 ∧/</∨/>キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

選択したジャンルにアルバムが移動されます。



曲を編集する

ライブラリーに登録した曲のタイトル変更や削除ができます。

■ 曲編集用の画面（サブメニュー）を表示する

1 曲編集用の画面を表示し、曲の詳細情報を編集します。

曲画面の表示方法はライブラリーによって異なります。

アーティストから選択する場合

［トップメニュー］➔［ライブラリー］➔［アーティスト］➔［アルバム］で編集したい曲が属するアルバムを選択しSELECTキーを押します。

アルバムから選択する場合

［トップメニュー］➔［ライブラリー］➔［アルバム］で編集したい曲が属するアルバムを選択しSELECTキーを押します。

ジャンルから選択する場合

［トップメニュー］➔［ライブラリー］➔［ジャンル］➔［アルバム］で編集したい曲が属するアルバムを選択しSELECTキーを押します。

全曲から選択する場合

［トップメニュー］➔［ライブラリー］➔［全曲］で編集したい曲を選択します。

ライブラリーキーについて

リモコンで選択したいグループのライブラリーキーを押すと、ワンタッチで各グループの画面を表示できます。

2 ∧/∨キーで編集したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

＊この画面は、手順 1 でアーティストから曲画面を表示した場合のものです。

❶ 選択した曲を再生します(☞46ページ)。

❷ 選択した曲をプレイリストに追加します(☞84ページ)。

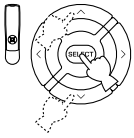
❸ 選択した曲の曲名を変更します(☞86ページ)。

❹ 選択した曲を削除します(☞87ページ)。

❺ 選曲した曲を移動します(☞75ページ)。

❻ ブックマークのオン／オフを行います。

3 ∧/∨キーでメニューを選択しSELECTキーを押します。



▶ 曲をプレイリストに登録する

任意の曲をプレイリストに登録します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [全曲]を選択し曲画面を表示します。

2 ∧/∨キーでプレイリストに登録したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

ご注意

曲の再生中でもその曲を移動したり削除したりできます。この場合、再生が停止したり再生される曲が変更されたりする可能性があります。

3 ∧/∨キーで「プレイリスト登録」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

4 ∧/<∨/>キーで曲を登録したいコレクションを選択しSELECTキーを押します。

5 ∧/<∨/>キーで曲を登録したいプレイリストを選択します。

6 ∧/<∨/>キーで「追加」を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲がプレイリストに登録されます。

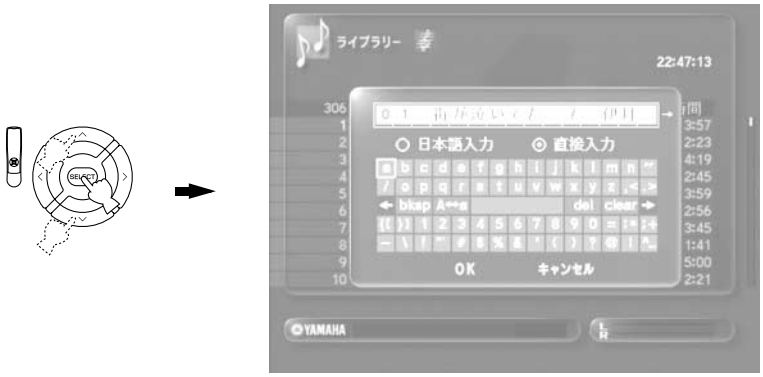
▶ 曲名を変更する

ライブラリーに登録した曲名を変更します。
Gracenote CDDBやCD TEXTから曲名などの情報を入手できないときや、外部機器から録音をしたときなどに便利です。

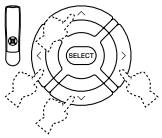
1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [全曲]を選択し曲画面を表示します。

2 ∧/∨キーで編集したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。
サブメニューが表示されます。

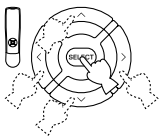
3 ∧/∨キーで「タイトル編集」を選択しSELECTキーを押します。
文字入力画面が表示されます。



4 ∧/<∨/>キーで文字を選択し曲名を入力します。



5 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。
曲画面に戻ります。



文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。
▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

▶ 曲を削除する

ライブラリーから曲を削除します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [全曲]を選択し曲画面を表示します。

2 ∧/∨キーで削除したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。

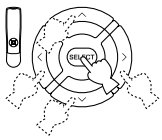
サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「削除」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

4 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲が削除されます。



PCMのみ削除する場合

PCMフォーマットのファイルだけ削除する場合は∧/∨キーで「PCMのみ削除」を選択し、SELECTキーを押します。

操作を中止する場合

「閉じる」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと元の画面に戻ります。

プレイリストを編集する

お好みに応じて曲名、アルバム名、ジャンル名、アーティスト名などからリスト（プレイリスト）を作成し、ライブラリーに登録できます。サーバー機に録音した曲をお好みの順番で再生したり、アルバム編集したりするときに便利です。

■ プレイリスト編集用の画面（サブメニュー）を表示する

プレイリスト編集用の画面を表示し、プレイリストに関する情報を編集します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「プレイリスト」を選択しSELECTキーを押します。

コレクション名が表示されます。

3 ∧/∨キーでコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト名が表示されます。

コレクションについて

プレイリストはコレクションと呼ばれるグループに分類され管理されます。

プレイリストについて

プレイリストは最大1007個まで登録できます。各プレイリストには、曲、アルバム、ジャンル、など最大999リンクまで登録できます。

ライブラリーキーについて

リモコンのPLAYLISTキーを押すとワンタッチでプレイリスト画面を表示します。

4 ∧/∨キーで編集したいプレイリストを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

❶ 選択したプレイリストを再生します(☞46ページ)。

❷ 選択したリンクをプレイリストに追加します(☞91ページ)。

❸ 選択したプレイリストのプレイリスト名を変更します(☞94ページ)。

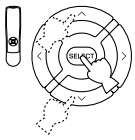
❹ 選択したプレイリストを削除します(☞95ページ)。

❺ 選択したプレイリストを移動します(☞96ページ)。

❻ 選択したプレイリストをコピーします(☞97ページ)。

❼ プレイリストを新規作成します(☞98ページ)。

5 ∧/∨キーでメニューを選択してSELECTキーを押します。



▶ コレクション名を変更する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択し編集したいコレクションを選択します。

2 SUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

コレクションにプレイリストが登録されていない場合

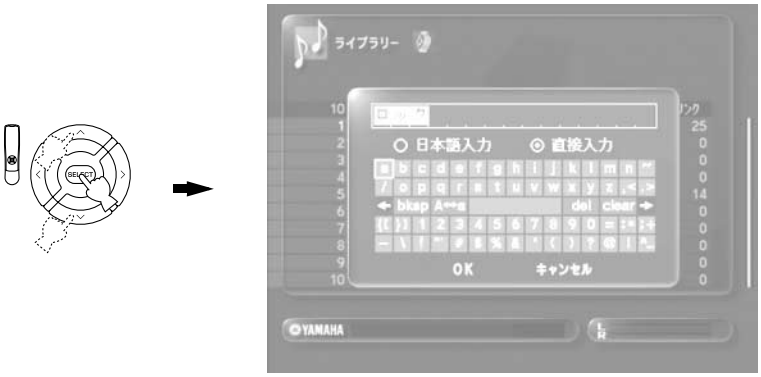
選択したコレクションにプレイリストがない場合は、サブメニューに新規作成が表示されます。

プレイリスト単位で再生する場合

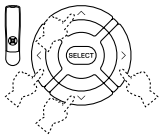
お好みのプレイリストを選択した状態で、PLAYキーを押すと、そのプレイリストに登録されているリンクの最初から再生が始まります。

3 ∧/∨キーで「タイトル編集」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力画面が表示されます。

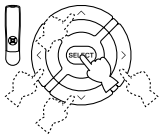


4 ∧/</∨/>キーで文字を選択しプレイリスト名を入力します。



5 ∧/</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

コレクションのリスト画面に戻ります。



文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。

▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキーを押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

▶ プレイリストにリンクを追加する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーでコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト名が表示されます。

3 ∧/∨キーでリンクを追加したいプレイリストを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨キーで「リンク追加」を選択しSELECTキーを押します。

ライブラリーメニューが表示されます。

プレイリストにリンクが登録されていない場合

選択したプレイリストに曲がない場合は、サブメニューに「リンク追加」しか表示されません。SELECTキーを押して、手順5へ進んでください。

5 プレイリストに加えたい曲を選択します。

選択した順にリンク追加に曲が追加されます。

■ アーティスト名から選択する場合

アーティストを選択したいとき

選択したいアーティスト→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアーティストの曲すべてがプレイリストに追加されます。

アーティスト内のアルバムを追加したいとき

選択したいアーティスト→選択したいアルバム→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアルバムの曲すべてがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したいアーティスト→選択したいアルバム→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ アルバム名から選択する場合

アルバムを追加したいとき

選択したいアルバム→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアルバムの曲すべてがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したいアルバム→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ ジャンルから選択する場合

ジャンルを選択したいとき

選択したいジャンル→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したジャンルの曲すべてがプレイリストに追加されます。

ジャンル内のアルバムを追加したいとき

選択したいジャンル→選択したいアルバム→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアルバムの曲すべてがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したいジャンル→選択したいアルバム→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ 全曲から選択する場合

選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ プレイリストから選択する場合

他のプレイリストの全リンクを選択したいとき

選択したいコレクション→選択したいプレイリスト→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した他のプレイリストの全リンクがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したいコレクション→選択したいプレイリスト→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ 曲統計から選択する場合

アルバムを追加したいとき

選択したい曲統計→選択したい最近録音したアルバム→選択したいアルバム→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアルバムの曲すべてがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したい曲統計→選択したい最近録音したアルバム→選択したいアルバム→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。

選択したい曲統計→選択したい再生回数順または選択したい最近再生した曲→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

プレイリストの演奏順序

プレイリストに登録した順番に曲が再生されます。

■ ブックマークから選択する場合

選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

6 手順5の操作を繰り返してプレイリストを作成します。

■ 選び方の例（アーティスト名から曲を選択する場合）

1 リンク追加画面から∧/∨キーで「アーティスト」を選択しSELECTキーを押します。

アーティスト名のリストが表示されます。

2 ∧/∨キーでお好みのアーティストを選択しSELECTキーを押します。

アーティストのアルバム名のリストが表示されます。

3 ∧/∨キーでお好みのアルバムを選択しSELECTキーを押します。

選択したアルバムの曲名のリストが表示されます。

ライブラリーメニュー画面の操作

▶お好みのアルバムを選択してから「追加」を選択しSELECTキーを押すと、アルバムのすべての曲がプレイリストに追加されます。

▶「閉じる」を選択しSELECTキーを押すと、プレイリスト画面に戻ります。

▶「戻る」を選択しSELECTキーを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

4 ∧/∨キーでお好みの曲を選択してから「追加」を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲がプレイリストに追加されます。

▶ プレイリスト名を変更する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しコレクション画面を表示します。

2 ∧/∨キーで編集したいプレイリストが登録されているコレクションを選択しSELECTキーを押します。

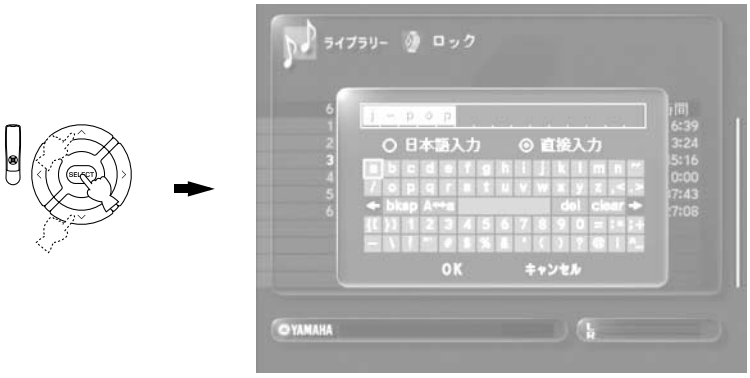
プレイリスト画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで編集したいプレイリストを選択しSUB MENUキーを押します。

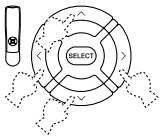
サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨キーで「タイトル編集」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力画面が表示されます。

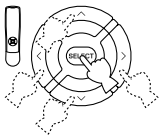


5 ∧/<∨/>キーで文字を選択しプレイリスト名を入力します。



6 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト画面に戻ります。



文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。

▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキーを押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

▶ プレイリストを削除する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しコレクション画面を表示します。

2 ∧/∨キーでコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで削除したいプレイリストを選択しSUB MENUキーを押します。

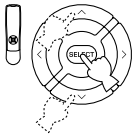
サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨キーで「削除」を選択しSELECTキーを押します。

削除用のサブメニューが表示されます。

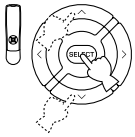
5 ∧/∨キーで「OK」を選択しSLECTキーを押します。

プレイリストが削除されます。



6 ∧/∨キーで「閉じる」を選択しSELECTキーを押します。

サブメニューが閉じます。



プレイリスト画面の操作

- ▶「閉じる」を選択しSELECTキーを押すとプレイリストは削除されずにプレイリスト画面に戻ります。
- ▶プレイリストからリンクを削除しても、サーバー機のハードディスクからその含まれていた曲やアルバムなどは削除されません。

▶ プレイリストを別のコレクションに移動する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しコレクション画面を表示します。

2 ∧/∨キーで移動したいプレイリストが登録されているコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで移動したいプレイリストを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

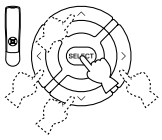
4 ∧/∨キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

移動用サブメニューが表示されます。

5 ∧/∨キーでプレイリストを移動したいコレクションを選択します。

6 ∧/<∨/>キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

プレイリストが移動します。



移動の操作

▶「戻る」を選択しSELECTキーを押すと、移動先の階層を1つ上げることができます。

▶「閉じる」を選択すると、項目を移動せずにプレイリストに戻ります。

リンクの移動

移動するプレイリストに再生中のリンクがあると再生は停止します。

▶ プレイリストを別のコレクションにコピーする

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーでコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト名が表示されます。

3 ∧/∨キーで、コピーしたいプレイリストを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨キーで「コピー」を選択しSELECTキーを押します。

プレイリストコレクションが表示されます。

5 ∧/∨キーでコピー先のコレクションを選択します。

6 ∧/</∨/>キーで「コピー」を選択しSELECTキーを押します。

選択したコレクションにプレイリストがコピーされます。

▶ プレイリストを作成する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しプレイリスト画面を表示します。

2 ∧/∨キーでコレクションを選択しSELECTキーを押します。

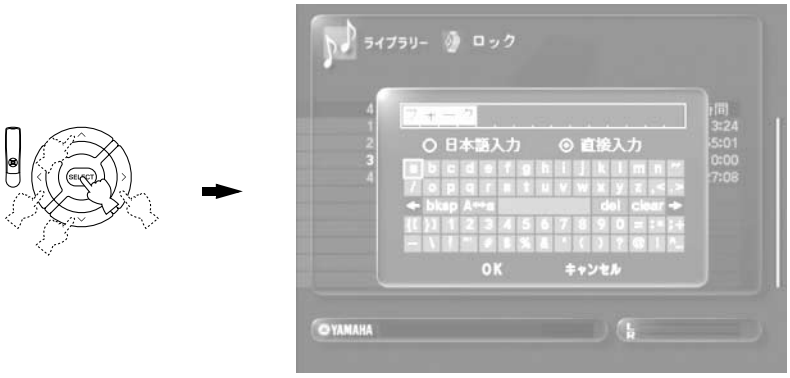
プレイリスト名が表示されます。

3 SUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

4 ∧/<</∨/>キーで「新規作成」を選択しSELECTキーを押します。

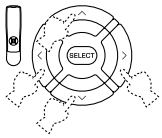
文字入力画面が表示されます。



コレクションにプレイリストが登録されていない場合

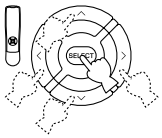
選択したコレクションにプレイリストがない場合は、サブメニューに新規作成が表示されます。
SELECTキーを押して手順4に進んでください。

5 ∧/<∨/>キーで文字を選択しプレイリスト名を入力します。



6 プレイリスト名を入力し終わったら∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

新規作成したプレイリストが表示されます。



文字入力について

▶PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。

▶文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキーを押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

▶ プレイリストリンクにリンクを追加する

プレイリスト内の任意の場所を指定しリンクを追加します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーでコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト名が表示されます。

3 ∧/∨キーでリンクを追加したいプレイリストを選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

4 リンクを追加したい場所にカーソルを移動しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

プレイリストにリンクが登録されていない場合

選択したプレイリストに曲がない場合は、サブメニューに「リンク追加」しか表示されません。SELECTキーを押して、手順5へ進んでください。

5 ∧/∨キーで「リンク追加」を選択しSELECTキーを押します。

ライブラリーメニューが表示されます。

6 プレイリストに加えたい曲を選択します。

選択した順にリンク追加に曲が追加されます。

■ アーティスト名から選択する場合

アーティストを選択したいとき

選択したいアーティスト→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアーティストの曲すべてがプレイリストに追加されます。

アーティスト内のアルバムを追加したいとき

選択したいアーティスト→選択したいアルバム→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアルバムの曲すべてがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したいアーティスト→選択したいアルバム→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ アルバム名から選択する場合

アルバムを追加したいとき

選択したいアルバム→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアルバムの曲すべてがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したいアルバム→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ ジャンルから選択する場合

ジャンルを選択したいとき

選択したいジャンル→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したジャンルの曲すべてがプレイリストに追加されます。

ジャンル内のアルバムを追加したいとき

選択したいジャンル→選択したいアルバム→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアルバムの曲すべてがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したいジャンル→選択したいアルバム→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ 全曲から選択する場合

選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

プレイリストの演奏順序

プレイリストに登録した順番に曲が再生されます。

■ プレイリストから選択する場合

他のプレイリストの全リンクを選択したいとき

選択したいコレクション→選択したいプレイリスト→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した他のプレイリストの全リンクがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したいコレクション→選択したいプレイリスト→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ 曲統計から選択する場合

アルバムを追加したいとき

選択したい曲統計→選択したい最近録音したアルバム→選択したいアルバム→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定したアルバムの曲すべてがプレイリストに追加されます。

曲を選択したいとき

選択したい曲統計→選択したい最近録音したアルバム→選択したいアルバム→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。

選択したい曲統計→選択したい再生回数順または選択したい最近再生した曲→選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

■ ブックマークから選択する場合

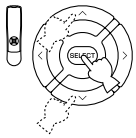
選択したい曲→「追加」を選択しSELECTキーを押します。指定した曲がプレイリストに追加されます。

7 手順6の操作を繰り返してプレイリストを作成します。

■ 選び方の例（アーティスト名から曲を選択する場合）

1 リンク追加画面から∧/∨キーで「アーティスト」を選択しSELECTキーを押します。

アーティスト名のリストが表示されます。



2　∧/∨キーでお好みのアーティストを選択しSELECTキーを押します。

アーティストのアルバム名のリストが表示されます。

3　∧/∨キーでお好みのアルバムを選択しSELECTキーを押します。

選択したアルバムの曲名のリストが表示されます。

4　∧/∨キーでお好みの曲を選択してから「追加」を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲がプレイリストに追加されます。

ライブラリーメニュー画面の操作

▶お好みのアルバムを選択してから「追加」を選択しSELECTキーを押すと、アルバムのすべての曲がプレイリストに追加されます。

▶「閉じる」を選択しSELECTキーを押すと、プレイリスト画面に戻ります。

▶「戻る」を選択しSELECTキーを押すと、ひとつ前の画面に戻ります。

▶ プレイリストからリンクを削除する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しコレクション画面を表示します。

2 ∧/∨キーでコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト画面が表示されます。

3 ∧/∨キーでプレイリストを選択しSELECTキーを押します。

プレイリストリンク画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで削除するリンクを選択しSUB MENUキーを押します。

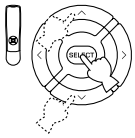
サブメニューが表示されます。

5 ∧/∨キーで「削除」を選択しSELECTキーを押します。

削除用のサブメニューが表示されます。

6 ∧/∨キーで「OK」を選択しSLECTキーを押します。

プレイリストが削除されます。



▶ リンクが属するプレイリストを変更する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しコレクション画面を表示します。

2 ∧/∨キーでコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで目的のリンクがあるプレイリストを選択しSELECTキーを押します。

4 ∧/∨キーで目的のリンクを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

プレイリスト画面の操作

- ▶「閉じる」を選択しSELECTキーを押すとプレイリストは削除されずにプレイリスト画面に戻ります。
- ▶プレイリストからリンクを削除しても、サーバー機のハードディスクからその含まれていた曲やアルバムなどは削除されません。

すべてのリンクを削除する場合

削除用メニューで「全て削除」を選択しSELECTキーを押した後、「OK」を選択しSELECTキーを押すと選択したプレイリスト内のリンクはすべて削除されます。

5 ∧/∨キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

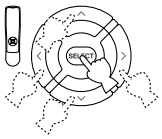
移動用サブメニューが表示されます。

6 ∧/∨キーでリンクを移動したいプレイリストが属するコレクションを選択します。

7 ∧/∨キーで移動先のプレイリストを選択しリンクを挿入したい場所にカーソルを合わせます。

8 ∧/<∨/>キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

リンクが移動します。



移動の操作

▶「戻る」を選択しSELECTキーを押すと、移動先の階層を1つ上げることができます。

▶「閉じる」を選択すると、項目を移動せずにプレイリストに戻ります。

リンクの移動

▶移動するプレイリストに再生中のリンクがあると再生は停止します。

▶移動先に同じプレイリストを指定してリンクの並び順を変更することもできます。

▶ リンクを別のプレイリストにコピーする

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [プレイリスト]を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーでコレクションを選択しSELECTキーを押します。

プレイリスト名が表示されます。

3 ∧/∨キーでプレイリストを選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

4 ∧/∨キーでコピーしたいリンクを選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

プレイリストにリンクが登録されていない場合

選択したプレイリストに曲がない場合は、サブメニューに「リンク追加」しか表示されません。SELECTキーを押して、手順5へ進んでください。

5 ∧/∨キーで「コピー」を選択しSELECTキーを押します。

プレイリストコレクションが表示されます。

6 ∧/∨キーでコピー先のコレクションを選択しSELECTキーを押します。

7 ∧/∨キーでコピー先のプレイリストを選択します。

8 ∧/<</∨/>キーで「コピー」を選択しSELECTキーを押します。

選択したプレイリストにリンクがコピーされます。

ブックマークを編集する

曲やアルバムにブックマークをつけておき、あとからブックマークをつけた曲だけ聴くことができます。
ブックマークをつけると再生情報画面の曲名の横や曲名が表示されるすべてのライブラリー画面にしおりのアイコンが表示されます。

▶ 再生情報画面でブックマークをつける

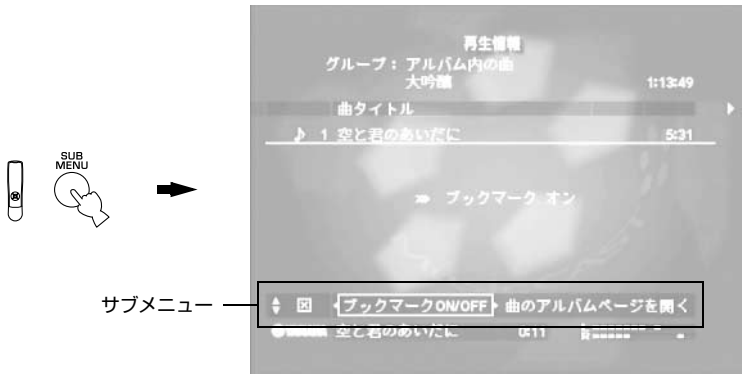
1 ブックマークをつけたい曲を再生します。

再生情報画面が表示されます。

2 お好みの曲の再生中にBOOKMARK ON/OFFキーを押します。

選択した曲にブックマークがつきます。

再生情報画面のサブメニューからブックマークをつけることもできます。



しおりのアイコン

ブックマーク画面では、しおりのアイコンは表示されません。

再生情報画面

再生情報画面は曲を選択したり、再生中にPLAY INFO.キーを押すと表示されます。

ブックマークの解除

ブックマークを解除する場合は、その曲を選択した状態でBOOKMARK ON/OFFキーを押します(☞110ページ)。

▶ ライブラリー画面でブックマークをつける

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーでお好みの曲／アルバムを選択しBOOKMARK ON/OFFキーを押します。

選択した曲／アルバムにブックマークがつきます。

▶ ブックマークを解除するには

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ブックマーク」を選択しSELECTキーを押します。

ブックマーク画面が表示されます。

3 ∧/∨キーでブックマークを解除したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

アルバムを対象にしたブックマーク

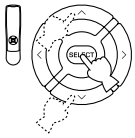
- ▶ お好みのアルバムを選択した状態でBOOKMARK ON/OFFキーを押すと、そのアルバムに含まれるすべての曲にブックマークがつきます。
- ▶ アルバム単位でブックマークを解除することはできません。アルバムにつけたブックマークを解除したい場合は、アルバム内の曲単位で解除してください。

4 ∧/∨キーで「削除」を選択しSELECTキーを押します。

削除用サブメニューが表示されます。

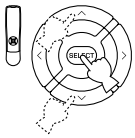
5 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲のブックマークが解除されます。



6 ∧/∨キーで「閉じる」を選択しSELECTキーを押します。

サブメニューが閉じます。



▶ すべてのブックマークを一度に解除する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ブックマーク」を選択しSELECTキーを押します。

ブックマーク画面が表示されます。

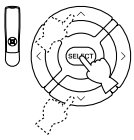
3 SUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨キーで「削除」を選択しSELECTキーを押します。

削除用サブメニューが表示されます。

5 ∧/∨キーとSELECTキーで「全て削除」のチェックボックスにチェックマークを入れます。

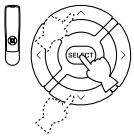


6 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

すべてのブックマークが解除されます。

7 ∧/∨キーで「閉じる」を選択しSELECTキーを押します。

サブメニューが閉じます。



▶ すべてのブックマークをプレイリストに登録する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ブックマーク」を選択しSELECTキーを押します。
ブックマーク画面が表示されます。

3 SUB MENUキーを押します。
サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨キーで「プレイリスト化」を選択しSELECTキーを押します。
以下の画面が表示されます。

5 ∧/</∨/>キーで登録したいコレクションを選択します。

6 ∧/</∨/>キーで「保存」を選択しSELECTキーを押します。
ブックマークが選択したコレクションにプレイリストとして保存されます。

外部機器から録音した曲を編集する

外部機器からサーバー機に曲を録音した場合は、Gracenote CDDBやCD TEXTからその曲の情報を読み込むことはできません。
ここで説明する手順に従って手動で情報を登録してください。

■ 曲編集用の画面（サブメニュー）を表示する

曲編集用の画面を表示し曲の詳細を編集します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] を選択しライブラリー画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「外部入力」を選択しSELECTキーを押します。

外部入力画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「外部入力からの録音曲」を選択しSELECTキーを押します。

外部入力からの録音曲画面が表示されます。

ご注意

- ▶録音中にSELECT キーを押すと録音が中止します。録音中に誤って押すことのないようご注意ください。
- ▶録音中にスタンバイにしないでください。正しく録音できなかったり、ハードディスク上のデータが破損する原因となります。
- ▶録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。ハードディスクが故障する原因となります。

ライブラリーキーについて

リモコンのEXT. INPUTSキーを押すとワンタッチで外部入力画面を表示できます。

4 ∧/∨キーで編集したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。

▶ 曲名を変更する

外部機器からサーバー機に録音した曲の情報を変更します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [外部入力]を選択し外部入力画面を表示します。

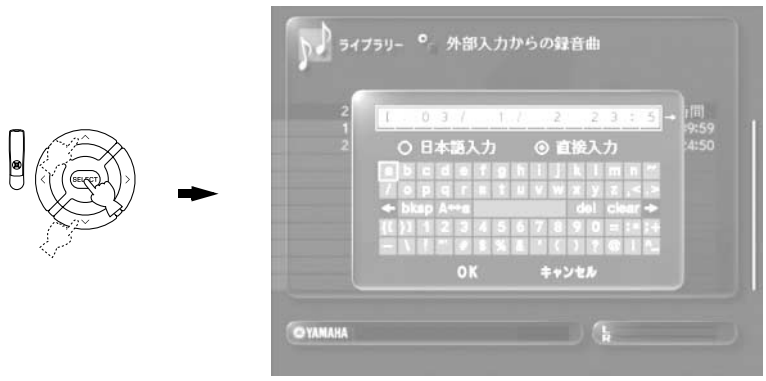
2 ∧/∨キーで「外部入力からの録音曲」を選択しSELECTキーを押します。

3 ∧/∨キーで編集したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。

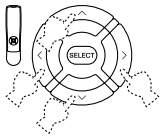
サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨キーで「タイトル編集」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力画面が表示されます。

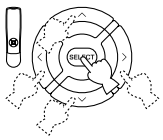


5 ∧/<∨/>キーで文字を選択し曲名を入力します。



6 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

曲リスト画面に戻ります。



曲名の変更

サーバー機は外部機器から録音した音楽データに対して曲名などの情報を自動で認識しませんが、録音した日時や録音時間などの情報は保存されています。この情報を使って個々の曲を区別し、曲名などの情報を変更できます。

文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。

▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

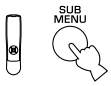
▶ 外部機器から録音した曲をライブラリーへ登録する

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [外部入力]を選択し外部入力画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「外部入力からの録音曲」を選択しSELECTキーを押します。

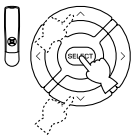
3 ∧/∨キーで編集したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。

サブメニューが表示されます。



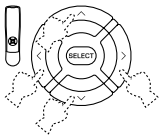
4 ∧/∨キーで「移動」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。



5 ∧/<∨/>キーで移動させたい項目を選択します。

移動が完了しサブメニューが閉じます。



ライブラリーへの曲の登録

外部機器から録音された曲は、PCMフォーマットでサーバ機に保存されますが、ここに説明された手順にしたがって曲をライブラリーへ登録すると、曲のデータは自動的にMP3フォーマットへ変換され、結果クライアント機での再生が可能になります。

移動について

- ▶ アーティストを選択して移動すると、アーティスト名とアルバム名が登録されます。
- ▶ アルバムを選択して移動すると、アルバム名が登録されます。
- ▶ ジャンルを選択して移動すると、ジャンル名をアルバム名が登録されます。

ご注意

4秒以下の曲はライブラリーに登録できません。1曲の最短時間は4秒です。

▶ 曲を削除する

外部機器からサーバー機に録音した曲を削除します。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [外部入力]を選択し外部入力画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「外部入力からの録音曲」を選択しSELECTキーを押します。

3 ∧/∨キーで削除したい曲を選択しSUB MENUキーを押します。

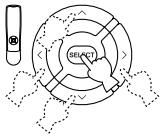
サブメニューが表示されます。

4 ∧/∨キーで「削除」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

5 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲が削除されソングリスト画面に戻ります。



ご注意

「全て削除」を選択しSELECTキーを押すと、サーバー機に外部入力から録音されたすべての曲が削除されます。

操作を中止する場合

「閉じる」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと元の画面に戻ります。

画面のキーボードで文字を入力する

曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などの情報を編集する場合に、文字入力画面から文字を入力します。
入力できる文字は、日本語とアルファベットです。
文字入力画面で日本語入力か直接入力（アルファベット入力）を切り替えて入力します。

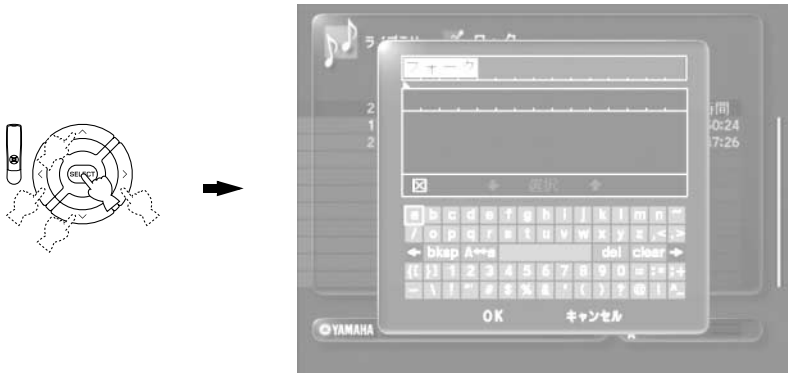
文字入力画面操作一覧

コマンド	説　明
←	カーソルが 1 つ前に移動します。
bksp	カーソルの 1 つ前の文字を削除します。
A ⇔ a	大文字と小文字、記号を切り替えます。
スペース	空白を挿入します。
del	カーソルの 1 つ後ろの文字を削除します。
clear	入力した文字をすべて削除します。
→	カーソルが 1 つ後ろに移動します。
OK	入力された文字を保存し元の画面に戻ります。
キャンセル	入力された文字を保存しないで元の画面に戻ります。

▶ 日本語入力する

1 文字入力画面を表示します。

2 ∧/<∨/>キーで「日本語入力」を選択しSELECTキーを押します。



入力した文字を修正する場合

「←」「→」を選択し修正する文字までカーソルを移動させ、修正内容に合わせた操作をします。

操作を中止する場合

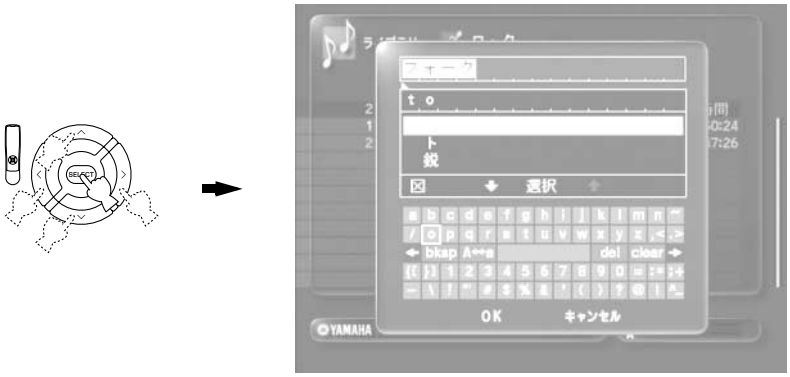
「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキーを押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

文字入力画面の表示方法

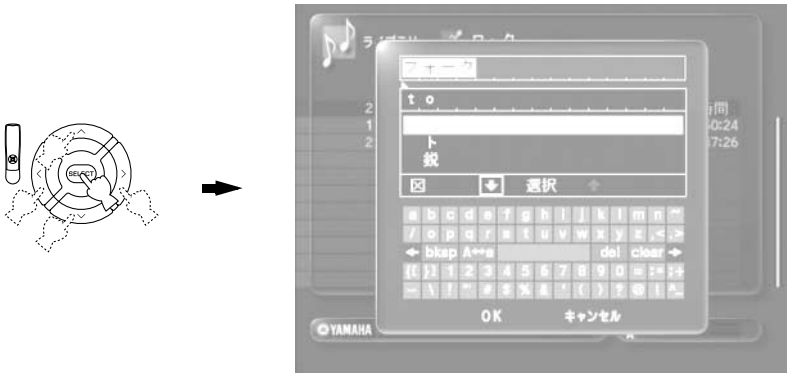
編集したい項目のサブメニューから「タイトル編集」か「新規作成」を選択すると文字入力画面は表示されます。

3 ∧/</∨/>キーで文字を選択しSELECTキーを押します。

変換候補リストが表示されます。

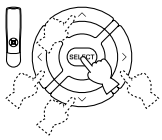


4 ∧/</∨/>キーで「↓」または「↑」を選択し、目的の文字が見つかるまでSELECTキーを押します。



5 ∧/</∨/>キーで「選択」を選択しSELECTキーを押します。

入力された文字が確定されます。



6 引き続き入力するときは、手順3から5を繰り返し行います。

7 ∧/</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力を終了します。

日本語入力

∧/</∨/>キーで文字（アルファベット）を選択しSELECTキーを押して、ローマ字による漢字の読みを入力します。

漢字変換がうまくいかない場合

目的の漢字が表示されなかった場合は1文字づつ変換してみてください。それでも変換されない場合は、区点コードによる日本語入力をご利用ください。

区点コードによる日本語入力

区点コードを使って、記号や漢字を入力することもできます。日本語入力画面で区点コード（4桁の数字）をそのまま入力してください。
区点コード一覧表☞216ページ

記号の読みによる入力

読みを入力し該当する記号に変換することもできます。
記号の読み変換一覧表☞214ページ

日本語入力を終了する場合

[X]を選択し、SELECTキーを押すと直接入力画面に戻ります。

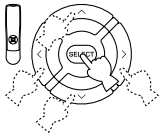
操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

▶ 直接入力する（アルファベット入力）

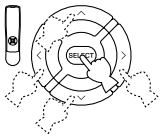
1 文字入力画面を表示します。

2 ∧/<∨/>キーで文字を選択しSELECTキーを押します。



3 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

文字入力を終了します。



文字入力画面の表示方法

編集したい項目のサブメニューから「タイトル編集」か「新規作成」を選択すると文字入力画面が表示されます。

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキー押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

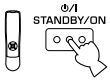
サーバー機でPS/2キーボードを使う

サーバー機に市販のPS/2キーボードを接続すると情報の入力、編集のほかサーバー機の基本的な操作を行うこともできます。

▶ サーバー機にPS/2キーボードを接続する

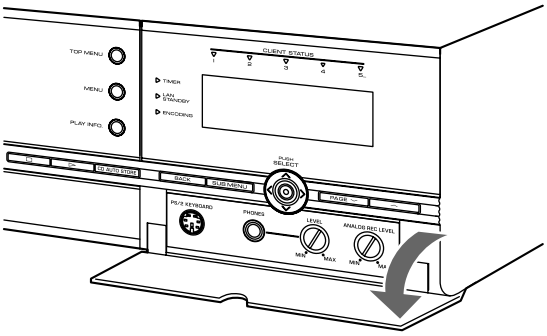
1 電源オンの状態からSTANDBY/ONキーを約2秒間押します。

サーバー機がIRスタンバイになります。

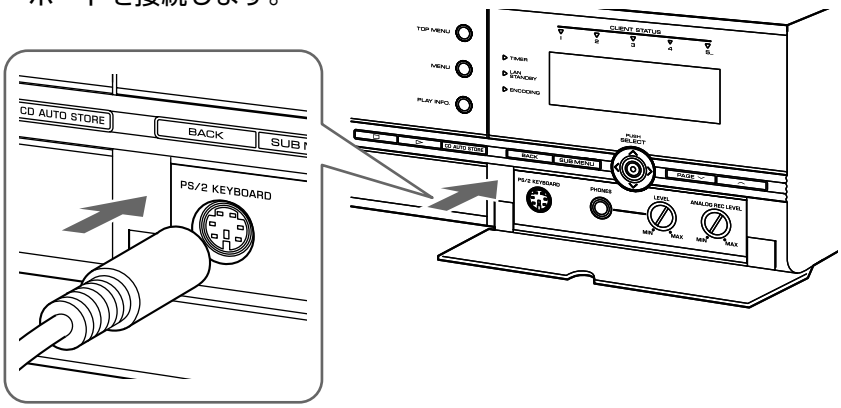


2 サーバー機の電源プラグをコンセントから抜きます。

3 サーバー機のフロントパネルドアを開きます。

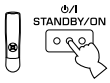


4 サーバー機のフロントパネルにあるPS/2KEYBOARD端子にPS/2キーボードを接続します。



5 サーバー機の電源プラグをコンセントに差し込みます。

6 STANDBY/ONキーを押し、サーバー機の電源を入れます。



ご注意

- ▶PS/2キーボードの接続は、サーバー機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- ▶サーバー機の電源プラグをコンセントから抜いて1分以上経過するとサーバー機内の時計がリセットされます。改めて時間をセットする必要があります(☞182ページ)。

▶ ファンクションキーについて

リモコンやフロントパネル上の操作をPS/2キーボードで代用できます。
サーバー機はPS/2キーボードに以下の機能を割り当てています。

PS/2 キーボード	サーバー機のリモコン
Esc	リモコンのBACKキーと同じ操作ができます。
Back Space	カーソルの１つ前の文字を削除します（リモコンでは該当するキーはありません）。
Enter	リモコンのSELECTキーと同じ操作ができます。
F1	リモコンのTOP MENUキーと同じ操作ができます。
F2	リモコンのMENUキーと同じ操作ができます。
F3	リモコンのPLAY INFO.キーと同じ操作ができます。
F4	リモコンのSUB MENUキーと同じ操作ができます。
F5	リモコンの▷ PLAYキーと同じ操作ができます。
F6	リモコンの❚❚ PAUSEキーと同じ操作ができます。
F7	リモコンの□ STOPキーと同じ操作ができます。
F8	リモコンのRANDOMキーと同じ操作ができます。
F9	タイトル編集画面を表示します（リモコンでは該当するキーはありません）。
F10	タイトル編集時に入力したタイトルをすべて削除します（リモコンでは該当するキーはありません）。

Delete	カーソルの１つ後ろの文字を削除します（リモコンでは該当するキーはありません）。
Page up	リモコンのPAGE ∧キーと同じ操作ができます。
Page down	リモコンのPAGE ∨キーと同じ操作ができます。

←↑↓→	リモコンの∧/<∨/>キーと同じ操作ができます。

CDを作成する

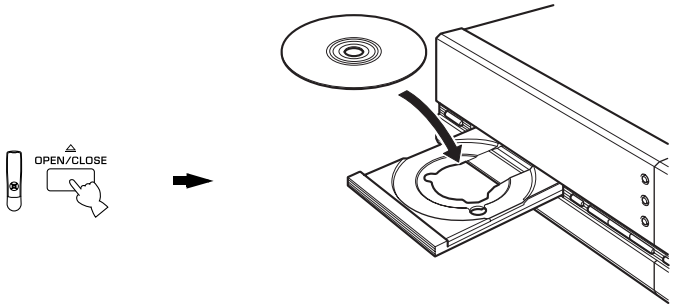
サーバー機に録音した曲からお好みの曲を選択してオリジナルのCDを作ることができます。
またお手持ちのCDをそのままCD-R/CD-RWに録音することもできます。

サーバー機に録音した曲の中から選択して録音する

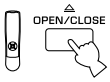
お好みの曲を選択しCD-R/CD-RWに録音できます。

1 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開き録音可能な音楽用CD-R/CD-RWを入れます。

ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上に向けてCD-R/CD-RWを置きます。



2 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。



3 [トップメニュー] ➔ [レコーディング]を選択しレコーディング画面を表示します。

CD プレーヤーでの再生

お使いになるCDプレーヤーによってはサーバー機で作成したCD-R/CD-RWを再生できないことがあります（詳しくは、CDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください）。

ご注意

- ▶ CD-R/CD-RWに録音できるのはPCMフォーマットの曲データのみです。
- ▶ 録音済みのCD-Rには録音できません。また録音済みのCD-RWに録音する場合には、イニシャライズをして全曲を消去してから録音してください(☞133ページ)。

CD-R/CD-RW

- ▶ 録音するには必ず音楽用のCD-R/CD-RWをお使いください。録音するのにデータ用CD-R/CD-RWはお使いいただけません(☞208ページ)。
- ▶ 録音をする前に、CD-R/CD-RWのデータ記録面に傷やほこり、指紋などの汚れが付いていないか確認してください。
  ほこりなどがついている場合は、やわらかい布で拭きとってください。
- ▶ サーバー機にCD-R/CD-RWを入れると、サーバー機内部でCD-RまたはCD-RWの種類や容量などを読み取ります。読み取り完了までにしばらくかかります。

ショートカットキーについて

リモコンのRECORDINGキーを押すとワンタッチでレコーディング画面を表示します。

4 ∧/∨キーで「CDR/RWの作成」を選択しSELECTキーを押します。

CDR/RWの作成画面が表示されます。

5 ∧/<∨/>キーで「録音設定」を選択しSELECTキーを押します。

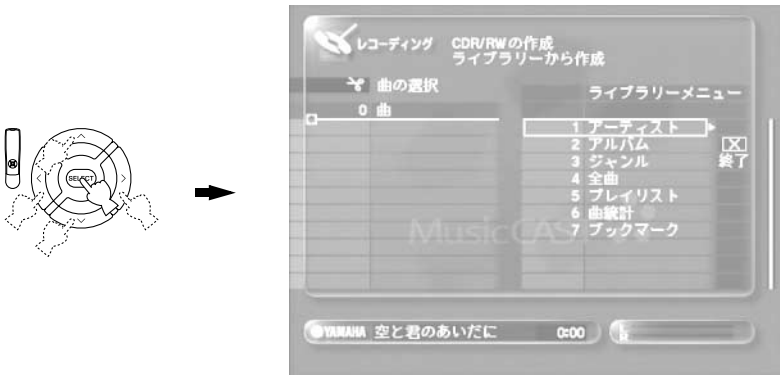
必要に応じて録音の音質、タイプ、速度、レベルを設定します(☞132ページ)。

6 ∧/∨キーで「ライブラリーから作成」を選択しSELECTキーを押します。

録音する曲のリスト画面が表示されます。

7 ∧/<∨/>キーで「曲の追加」を選択しSELECTキーを押します。

ライブラリーメニュー画面が表示されます。



デジタルムーブ

2度目のデジタル録音する場合、「DM」アイコンが録音する曲の横に表示されます。この場合デジタルムーブのルールに従い録音後、サーバー機のハードディスクからその曲が削除されます(☞210ページ)。アナログ録音を選択すればハードディスクから曲が消去されることはありません。

8 各グループから録音したい曲を選択します。

選択した順に曲が録音曲リストに追加されます。

「アーティスト」から曲を検索して選ぶ場合
お好みのアーティストを選択してから、曲を選択します。

「アルバム」から曲を検索して選ぶ場合
お好みのアルバムを選択してから、曲を選択します。

「ジャンル」を検索して選ぶ場合
お好みのジャンルを選択してから、曲を選択します。

「全曲」から曲を検索して選ぶ場合
お好みの曲を選択します。

「プレイリスト」から曲を検索して選ぶ場合
お好みのプレイリストを選択してから曲を選択します。

「曲統計」から曲を検索して選ぶ場合
お好みの分類を選択してから、曲を選択します。

「ブックマーク」から曲を検索して選ぶ場合
お好みの曲を選択します。

アイコン	説　明
戻る	選択している画面のグループを 1 つ上のグループに戻すときに選択します。
追加	選択した曲を録音リストの中に加えるときに選択します。
終了	選択メニューを終了するときに選択します。

■ アーティスト名から曲を選択する場合

1. 上記の手順８で∧/<∨/>キーで「アーティスト」を選択しSELECTキーを押します。
   アーティスト名のリストが表示されます。

2. ∧/<∨/>キーでお好みのアーティストを選択しSELECTキーを押します。
   選択したアーティストのアルバム名のリストが表示されます。

選択メニューについて

カーソルが「アーティスト」などの選択オプションにあるときにSELECTキーを押すと、選択メニューのもう一つ下のレベルに移動します。例えば、カーソルが「アーティスト」にあるときにSELECT キーを押すと、選択しているアーティストにリンクされている全アルバムが表示され、希望のアルバムを選択できます。

アーティストを選択する場合

お好みのアーティストを選択し、「追加」を押しSELECTキーを押します。アーティストに含まれるすべての曲が選択できます。

アルバムを選択する場合

お好みのアルバムを選択し、「追加」を押しSELECTキーを押します。アルバムに含まれるすべての曲が選択できます。

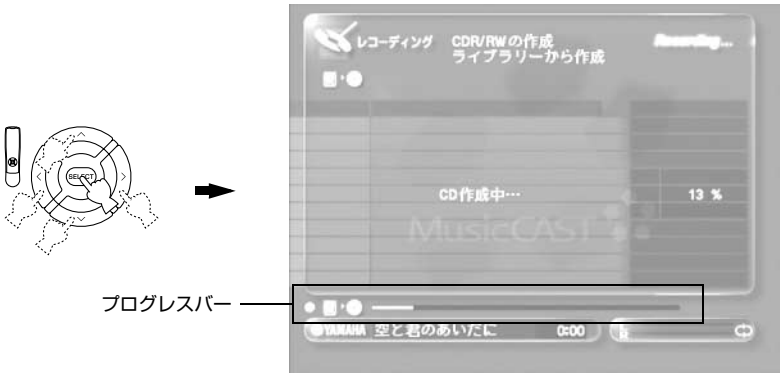
3. ∧/<∨/>キーでお好みのアルバムを選択しSELECTキーを押します。
選択したアルバムの曲名のリストが表示されます。

4. ∧/<∨/>キーでお好みの曲を選択しSELECTキーを押します。
選択した曲が録音曲リストに追加されます。

曲の選択が終了したら、∧/<∨/>キーで「終了」を選択して終了してください。

9 ∧/<∨/>キーで「録音開始」を選択しSELECTキーを押します。

録音が始まり画面には進行状況が表示されます。



録音する曲のリスト

録音する曲の順番を変えたり(☞127ページ)、選択した曲をキャンセルする(☞128ページ)こともできます。

ご注意

▶ サーバー機は録音する曲のリストの一曲目のアーティストとタイトルを録音するCDのアーティストとタイトルとして登録します。2曲目以降は曲タイトルだけ登録します。曲情報はCD TEXTとして登録されます。

▶ 1枚のCDに保存できるCD TEXTのデータ量と曲数の関係は以下のとおりです。

タイトルの長さ	曲数
256文字	約10曲
128文字	約20曲
64文字	約40曲
32文字	約80曲

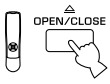
▶ 1枚のCDに保存できるデータ量を超えると、録音する曲のリストで録音できない曲が灰色の文字で表示されます。

プログレスバー表示

録音中は、録音の進行状況を表すバーが画面の下に表示されます。

録音が完了すると自動的にCD-R/CD-RWのファイナライズが開始されます。
ファイナライズが終了すると、録音が完了します。

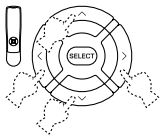
10 OPEN/CLOSEキーを押しディスクトレイを開きCD-R/CD-RWを取り出します。



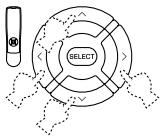
▶ 曲順を変更する

1 録音する曲のリストを表示させます。

2 ∧/<⁄∨/>キーで順番を変えたい曲を選択します。



3 ∧/<⁄∨/>キーで「曲の移動」を選択します。



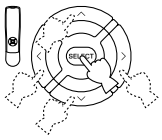
ファイナライズ

ファイナライズとは、録音が完了したCD-R/CD-RWを一般のCDプレーヤーやCD-RW対応のプレーヤーで再生できるようにする最終処理です。ファイナライズされたCD-R/CD-RWに追加で録音できません。CD-RWはイニシャライズ(☞133ページ)を行うと、再度録音できます。

録音する曲のリスト

録音する曲のリストを表示する
☞123ページ

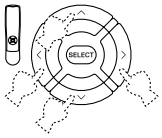
4 ∧/<∨/>キーでお好みの位置に移動させSELECTキーを押します。



▶ 録音曲リストから曲を消去する

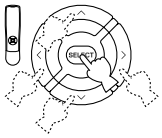
1 録音する曲のリストを表示させます。

2 ∧/<∨/>キーで消去したい曲を選択します。



3 ∧/<∨/>キーで「曲の消去」を選択しSELECTキーを押します。

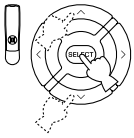
選択した曲名が赤字に変わります。



4 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

選択した曲が消去され、次の曲が赤字に変わります。続けて曲を消去する場合は「OK」を選択します。

サブメニューを閉じて元の画面に戻るには「閉じる」を選択します。



録音する曲のリスト

録音する曲のリストを表示する
☞123ページ

全曲を消去する場合

削除用メニューで「全て削除」を選択しSELECTキーを押した後、「OK」を選択しSELECTキーを押すと録音曲リスト内の曲はすべて削除されます。

CDをCD-R/CD-RWに録音する（CDをコピーする）

お手持ちのCDからサーバー機を中継してそのままCD-R/CD-RWに録音できます。

1 [トップメニュー] ➔ [レコーディング] ➔ [CDR/RWの作成]を選択しCDR/RWの作成画面を表示します。

2 ∧/<</∨/>キーで「録音設定」を選択しSELECTキーを押します。

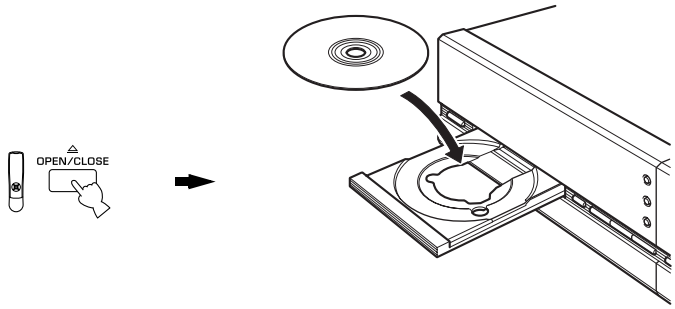
必要に応じて録音の音質を設定します(☞132ページ)。

3 ∧/∨キーで「CDの複製」を選択しSELECTキーを押します。

CDの複製画面が表示されます。

4 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開きコピーしたいCDを入れます。

ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上に向けてCDを置きます。



録音設定について

CDをCD-Rに録音する場合は、必要に応じてオーディオマスターのON/OFFが設定できます(☞132ページ)。

ショートカットキーについて

リモコンのRECORDINGキーを押すとワンタッチでレコーディング画面を表示します。

5 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。

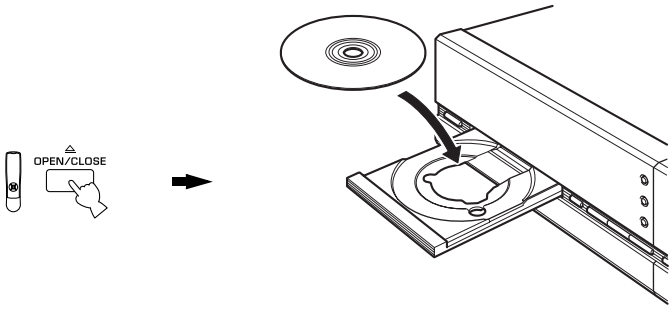
以下の画面が表示されます。

6 ∧/∨キーで「録音開始」を選択しSELECTキーを押します。

CDからハードディスクへの録音が開始されます。
ハードディスクへのイメージ作成が完了すると以下の画面が表示されます。

7 OPEN/CLOSEキーを押しCDを取り出してから録音したい音楽用CD-R/CD-RWを入れます。

ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上に向けてCD-R/CD-RWを置きます。



CD プレーヤーでの再生

お使いになるCDプレーヤーによってはサーバー機で作成したCD-R/CD-RWを再生できないことがあります（詳しくは、CDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください）。

ご注意

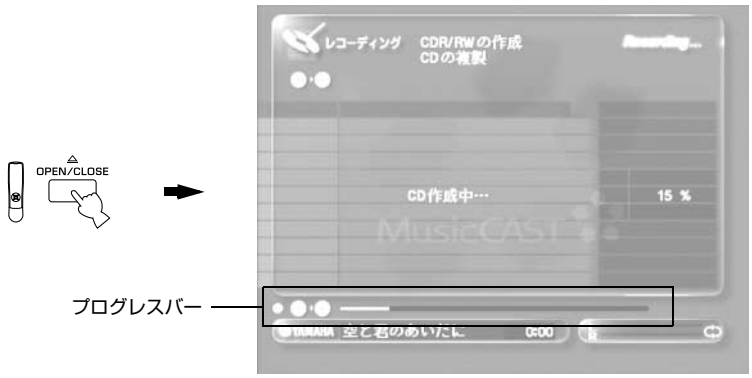
すでに曲が録音されているCD-R/CD-RWへの追加録音はできません。録音済みのCD-RWはイニシャライズ(☞133ページ)を行ってから録音を始めてください。

CD-R/CD-RW

- ▶録音するには必ず音楽用のCD-R/CD-RWをお使いください。録音するのにデータ用CD-R/CD-RWはお使いいただけません(☞208ページ)。
- ▶録音をする前に、CD-R/CD-RWのデータ記録面に傷やほこり、指紋などの汚れが付いていないか確認してください。
  ほこりなどがついている場合は、やわらかい布で拭きとってください。
- ▶サーバー機にCD-R/CD-RWを入れると、サーバー機内部でCD-RまたはCD-RWの種類や容量などを読み取ります。読み取り完了までにしばらくかかります。
- ▶SCMS（Serial Copy Management System）により、デジタルコピーが禁止されているCDはコピーできません。

8 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。

自動的にCD-R/CD-RWへの録音が開始されます。
録音中は以下の画面が表示されます。



録音が完了すると自動的にCD-R/CD-RWのファイナライズが開始されます。
ファイナライズが終了すると、録音が完了します。

プログレスバー表示

録音中は、録音の進行状況を表すバーが画面の下に表示されます。

ファイナライズ

ファイナライズとは、録音が完了したCD-R/CD-RWを一般のCDプレーヤーやCD-RW対応のプレーヤーで再生できるようにする最終処理です。ファイナライズされたCD-R/CD-RWに追加で録音できません。CD-RWはイニシャライズ(☞133ページ)を行うと、再度録音できます。

CD TEXT について

録音するCDに、コピー可能なCD TEXTがある場合、録音時に自動的にCD TEXTをコピーします。

録音の設定をする

1 [トップメニュー] ➔ [レコーディング] ➔ [CDR/RWの作成] ➔ [録音設定]を選択し録音設定画面を表示します。

2 録音するときの音質や録音速度などを設定します。

❶ **高音質で録音する**
「オーディオマスター」のチェックボックスにチェックを入れると、Advanced Audio Master Quality Recording機能がオンになります。この機能を使用すると、高音質のCDを作成できます。

❷ **録音のタイプを選ぶ**

項　目	説　明
デジタル	デジタル録音します。
アナログ	アナログ録音します（1 倍速のみ）。

❸ **録音速度を設定する**

項　目	説　明
1 倍速	1 倍速で録音します。
最適速度	状況に応じて一番速い書きこみ速度で録音します。

❹ **録音のオートレベルの設定をする**
「音量レベル自動調整」のチェックボックスにチェックを入れると、オートレベル機能がオンになり曲の録音レベルが自動調節されます。
元の音量にするには、「音量レベル自動調整」のチェックボックスからチェックを外してください。オートレベルの設定をすると録音速度は1倍速となります。

3 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。
設定が完了し元の画面に戻ります。

操作を中止する場合
「キャンセル」を選択すると設定は反映されずに元の画面に戻ります。

ご注意
- ▶ Advanced Audio Master Quality Recording機能は新品の音楽用CD-Rへの録音時のみ使用できます。
- ▶ Advanced Audio Master Quality Recording機能は音の品位が高まりますが、CD-Rに録音できる音楽の最大量は低減します。Advanced Audio Master Quality Recording機能を使っての録音可能時間は74分のCD-Rで63分、79分のCD-Rで68分になります。

ご注意
デジタル録音を選択した場合
デジタル録音のルールとシステム(☞210ページ)に基づいてデジタルコピーできない場合はデジタルムーブが採用され、サーバー機のハードディスクから曲のデータは削除されます。

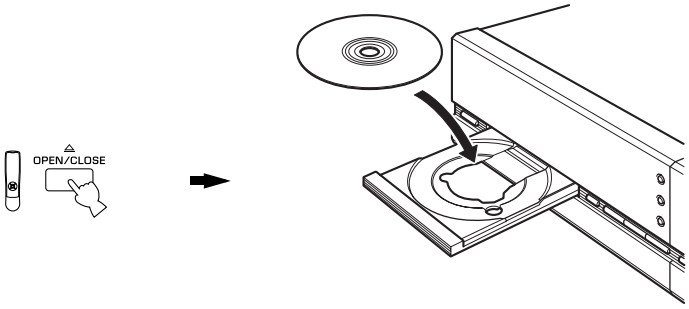
音量レベル自動調整機能
音量レベル自動調整とは曲ごとの録音レベルを調整し、再生時の音量を均一にするための機能です。

CD-RWを消去する（イニシャライズ）

CD-RWは一度録音した曲を消去し、再録音できます。一度録音した曲を消去することをイニシャライズと呼びます。

1 イニシャライズをしたいCD-RWを入れます。

ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上に向けてCD-RWを置きます。



2 [トップメニュー] ➔ [レコーディング] ➔ [CDR/RWの作成]を選択しCDR/RWの作成画面を表示します。

3 ∧/∨キーで「ライブラリーからの作成」を選択しSELECTキーを押します。

以下の画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで「高速消去」、または「標準消去」を選択しSELECTキーを押します。

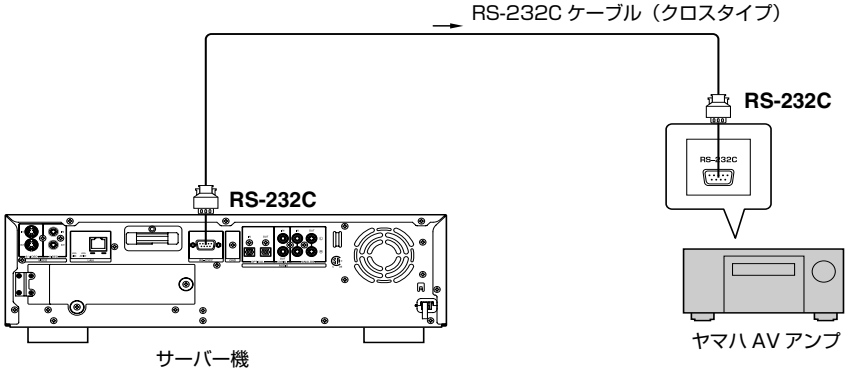
項　目	説　明
高速消去	管理領域のみイニシャライズします。短時間でイニシャライズが行えます。
標準消去	ディスク全面を完全にイニシャライズします。

標準消去

高速消去でのイニシャライズに問題があった場合は、標準消去でCD-RWをイニシャライズしてください。

ヤマハAVアンプと接続して使用する

RS-232Cクロスケーブルを使ってサーバー機とヤマハAVアンプを接続すると、アンプの音量調整、入力切り替え、DSPプログラムの変更、ラジオチューナーなどの設定をサーバー機側からコントロールできます。



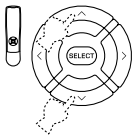
1 [トップメニュー] ➔ [AVアンプ] を選択しAVアンプ画面を表示します。

2 AVアンプ画面から</>キーで変更したいパラメーターを選択します。

パラメーター	説　明
Standby/ON	ヤマハ AV アンプのスタンバイ / オンを切り替えます。
音量	ヤマハ AV アンプの音量調整をします。
入力	入力ソースを選択します。
DSP プログラム	ヤマハ AV アンプ出力で使用したい DSP プログラムを選択します。
プリセット	ヤマハ AV アンプのプリセットを選択します。

3 ∧/∨キーで各パラメーターを選択しSELECTキーを押します。

パラメーターが設定されます。



ご注意

サーバー機と組み合わせてご利用になれるヤマハAVアンプはオンスクリーン画面で確認できます(☞203ページ)。

AV アンプ画面

表示内容は接続したヤマハAVアンプの種類によって異なります。

ヤマハ AV アンプと接続した場合

- ▶ サーバー機のオン／スタンバイと連動してヤマハAVアンプをオン／スタンバイできます(☞189ページ)。
- ▶ アンプのサーバー機用入力チャンネルを、サーバー機で設定できます(☞189ページ)。
- ▶ サーバー機から、ジャンルごとにヤマハAVアンプのDSPプログラムを設定できます(☞136ページ)。

ご注意

ヤマハAVアンプの6 Ch Inputのパラメーターをオフに設定してください。

ジャンルのエフェクトを自動設定する

ヤマハAVアンプのDSPプログラムをジャンルごとに自動的に変更するように設定できます。これにより、ジャンルごとに最適な設定を選択することができます。

▶ DSPプログラムを自動設定するには

DSPプログラムの設定を変更するには、サーバー機およびヤマハAVアンプが以下の条件を満たしている必要があります。

サーバー機

1. 「TOP MENU」➔「システム設定」➔「AVアンプ」➔「操作設定」の「再生するジャンルに合わせてDSPプログラムを変更する」のチェックボックスにチェックしている(☞189ページ)。
2. 「TOP MENU」➔「システム設定」➔「AVアンプ」➔「オーディオ接続設定」のパラメーターが正しく設定されていること(☞189ページ)。

ヤマハAVアンプ

1. ヤマハAVアンプがRS-232Cケーブル（クロスタイプ）でサーバー機に接続されていること
2. ヤマハAVアンプの電源が入っていること
3. ヤマハAVアンプの入力が、サーバー機の「TOP MENU」➔「システム設定」➔「AVアンプ」➔「オーディオ接続設定」画面で指定した設定になっていること

DSPプログラムの設定は以下の手順で行ってください。

1 [トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [ジャンル] を選択しジャンル画面を表示します。

2 ∧/∨キーでDSPプログラムを登録したいジャンルを選択しSUB MENUキーを押します。

3 ヤマハAVアンプでジャンルに登録したいDSPプログラムを設定します。

DSP プログラムの設定

DSPプログラムの設定方法については各ヤマハAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

4 ∧/∨キーで「PROGRAM保存」を選択しSELECT キーを押します。

指定したジャンルのプロパティー画面が表示されます。

ジャンルプロパティー画面の表示

ジャンルに割り当てたDSPプログラムはプロパティー画面で確認できます。プロパティー画面の表示方法は[トップメニュー] ➔ [ライブラリー] ➔ [ジャンル]を選択しジャンル画面で>キーを押します。

曲間の無音状態

サーバー機で自動レベル調整を行うように設定したり、各ジャンルのDSPプログラムを変更するように設定していると、再生中の曲と曲の間は無音状態になります。

クライアント機を管理する

サーバー機に接続されているクライアント機をリモートコントロールできます。これにより、複数のクライアント機を同時に操作したり、各クライアント機で再生中の曲など確認できます。

クライアント機の状態を確認する

サーバー機に接続されているクライアント機の現在の状態を確認できます。

1 [トップメニュー] ➔ [クライアント再生]を選択しクライアント再生画面を表示します。

表示されるアイコンについて

表示位置	アイコン	説　明
❶		クライアント機はロックされていて、クライアント機のフロントパネルおよびリモコンから操作できません。
❷		クライアント機がサーバー機に有線ネットワーク接続されているが、クライアント機は現在スタンバイ状態です。
		クライアント機がサーバー機に有線ネットワーク接続されていて、クライアント機は電源がオンまたはスリープ状態です。
		クライアント機がサーバー機に無線ネットワーク接続されているが、クライアント機は現在スタンバイ状態、または電波が届かない状態です。
		クライアント機がサーバー機に無線ネットワーク接続されていて、クライアント機は電源がオンまたはスリープ状態です。

ご注意

サーバー機とクライアント機が正しく接続されていないとクライアント機の状態は確認できません(☞158ページ)。

ショートカットキーについて

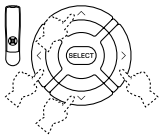
リモコンのCLIENT PLAYBACKキーを押すとワンタッチでクライアント再生画面を表示します。

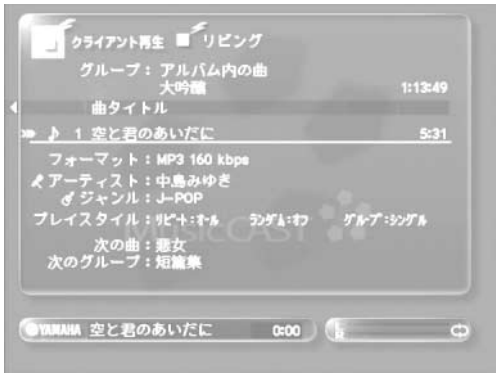
クライアント機の表示

ネットワークの設定がされているすべてのクライアント機が表示されます。クライアント機がスリープになるとクライアントメニューの表示が灰色に切り替わります。

2 クライアント再生画面から∧/∨キーで状態を知りたいクライアント機を選択し> キーを押します。

選択したクライアント機の再生状態が表示されます。





他のクライアントを表示するには

<キーを押してクライアント再生画面に戻り、他のクライアントを選択してください。

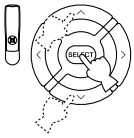
クライアント機を再生する

サーバー機の操作でクライアント機を再生することができます。
ここではサーバー機で曲を選択してから再生する方法を説明します。

1 [トップメニュー] ➔ [クライアント再生]を選択しクライアント再生画面を表示します。

2 ∧/∨キーで曲を再生させたいクライアント機を選択しSELECT キーを押します。

ライブラリー画面が表示されます。



3 ライブラリー画面から再生したい曲を選択します。

4 SELECTキーを押します。

選択された曲がクライアント機で再生されます。

ショートカットキーについて

リモコンのCLIENT PLAYBACKキーを押すとワンタッチでクライアント再生画面を表示します。

クライアントの再生方法

ライブラリー画面からの再生操作はサーバー機の場合と同じです(☞36ページ)。

クライアント機の再生を停止する

サーバー機の操作でクライアント機の再生を停止する方法を説明します。

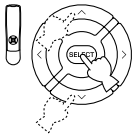
1 [トップメニュー] ➔ [クライアント再生]を選択しクライアント再生画面を表示します。

2 ∧/∨キーで停止させたいクライアント機を選択しSUB MENU キーを押します。

サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「停止」を選択しSELECTキーを押します。

選択したクライアント機の再生が停止します。



ショートカットキーについて

リモコンのCLIENT PLAYBACKキーを押すとワンタッチでクライアント再生画面を表示します。

クライアント機をロックする

指定したクライアント機のフロントパネルやリモコンを操作できないように（ロック）設定します。

1 [トップメニュー] ➔ [クライアント再生]を選択しクライアント再生画面を表示します。

2 ∧/∨キーでロックしたいクライアント機を選択します。

3 SUB MENU キーを押します。

サブメニューが表示されます。

ご注意

クライアント機をロックすると、クライアント機で音量調整（VOLUME +, VOLUME −）、再生停止（STOP）、消音（MUTE）以外の操作はできなくなります。

ショートカットキーについて

リモコンのCLIENT PLAYBACKキーを押すとワンタッチでクライアント再生画面を表示します。

4 ∧/∨キーで「ロック：ON/OFF」を選択しSELECT キーを押します。

選択されたクライアント機がロックされます。

すべてのクライアント機を再生／停止する

クライアント再生画面に表示されているすべてのクライアント機を再生／停止できます。

1 [トップメニュー] ➔ [クライアント再生]を選択しクライアント再生画面を表示します。

2 SUB MENU キーを押します。

サブメニューが表示されます。

ロックを解除する

ロックを解除するときはもう一度「ロック：ON/OFF」を選択しSELECTキーを押します。

ショートカットキーについて

リモコンのCLIENT PLAYBACKキーを押すとワンタッチでクライアント再生画面を表示します。

3 ∧/∨キーで「全クライアント：再生」、または「全クライアント：停止」を選択しSELECT キーを押します。

サブメニュー	説　明
全クライアント：再生	クライアントメニューで表示されている曲をすべてのクライアント機で同時に再生できます。画面上の曲名が「ー ーー ーー ー」となっているクライアント機は再生されません。
全クライアント：停止	すべてのクライアント機の再生を同時に停止できます。

クライアント機をスリープにする

サーバー機の操作でクライアント機をスリープにしたり、スリープを解除したりできます。

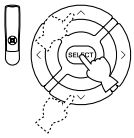
1 [トップメニュー] ➔ [クライアント再生]を選択しクライアント再生画面を表示します。

2 ∧/∨キーでスリープにしたいクライアント機を選択しSUB MENU キーを押します。

サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「スリープ/ON」を選択しSELECT キーを押します。

選択したクライアント機がスリープに切り替わります。



ショートカットキーについて

リモコンのCLIENT PLAYBACK キーを押すとワンタッチでクライアント再生画面を表示します。

スリープを解除する

スリープを解除するには[スリープ/ON]を選択しSELECTキーを押します。

クライアント名を編集する

クライアント再生画面に表示されるクライアント名を編集する方法を説明します。
クライアント機の設置場所にあわせた名前にするときに便利です。

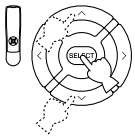
1 [トップメニュー] ➔ [クライアント再生]を選択しクライアント再生画面を表示します。

2 ∧/∨キーで編集したいクライアント機を選択しSUB MENU キーを押します。

サブメニューが表示されます。

3 ∧/∨キーで「名称編集」を選択しSELECT キーを押します。

文字入力画面が表示されます。



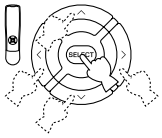
ショートカットキーについて

リモコンのCLIENT PLAYBACKキーを押すとワンタッチでクライアント再生画面を表示します。

4 新しい名前を入力します。

5 ∧/</∨/>キーで「OK」を選択しSELECT キーを押して名前を確定します。

文字入力画面が終了します。



文字入力について

- ▶PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。
- ▶文字入力の方法について ☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押す、またはBACKキーを押すと入力した文字は登録されずに元の画面に戻ります。

タイマーを使って再生や録音をする

タイマーを設定することで、設定した時刻にサーバー機やクライアント機の再生を開始／終了したり、設定した時刻にサーバー機の録音を開始したりできます。

サーバー機のタイマー機能

▶ 設定した時刻に再生を開始する（サーバー機）

1 [トップメニュー] ➔ [タイマー設定]を選択しタイマー設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「サーバー・タイマー設定」を選択し SELECT キーを押します。

サーバー・タイマー設定画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「再生タイマー」を選択し SELECT キーを押します。

再生タイマー画面が表示されます。

タイマー機能について

タイマー機能を有効にするには
☞153ページ

4 ∧/<∨/>キーで「再生タイマーを使用する」を選択し SELECT キーを押します。

チェックボックスにチェックされます。

5 ∧/<∨/>キーで「開始」の時刻を選択します。

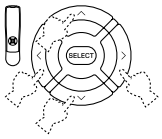
再生を開始したい時刻を設定します。

6 ∧/<∨/>キーで「終了」の時刻を選択します。

再生を終了したい時刻を設定します。

7 ∧/<∨/>キーを使って「再生内容」を選択し>キーを押します。

再生内容のライブラリーメニューが表示されます。



8 各グループから再生したい曲を選択します。

「アーティスト」から曲を検索して選ぶ場合
お好みのアーティストを選択してから、曲を選択します。
「アルバム」から曲を検索して選ぶ場合
お好みのアルバムを選択してから、曲を選択します。
「ジャンル」を検索して選ぶ場合
お好みのジャンルを選択してから、曲を選択します。
「全曲」から曲を検索して選ぶ場合
お好みの曲を選択します。
「プレイリスト」から曲を検索して選ぶ場合
お好みのプレイリストを選択してから曲を選択します。
「曲統計」から曲を検索して選ぶ場合
お好みの分類を選択してから、曲を選択します。
「ブックマーク」から曲を検索して選ぶ場合
お好みの曲を選択します。

選択メニューに表示されるアイコンについて

アイコン	説　明
戻る	選択メニューのグループを１つ上のグループに戻す。
選択	選択した曲を再生内容の中に加える。
終了	選択メニューを閉じる。

グループごとの選択

お好みのアーティスト、ジャンル、アルバムを再生グループとして選択することもできます。

選択メニューについて

カーソルが「アーティスト」などの選択オプションにあるときにSELECTキーを押すと、選択メニューのもう一つ下のレベルに移動します。例えば、カーソルが「アーティスト」にあるときにSELECT キーを押すと、選択しているアーティストにリンクされている全アルバムが表示され、希望のアルバムを選択できます。

操作を中止する場合

▶「キャンセル」を選択すると、タイマー再生機能が設定されずに１つ前の画面に戻ります。

9 ∧/∨キーで「OK」を選択し SELECT キーを押します。

タイマー再生が設定され、元の画面に戻ります。

タイマー設定を有効にするには、タイマー設定画面の「ON」チェックボックスにチェックします(☞153ページ)。

▶ 設定した時刻に録音を開始する（サーバー機）

1 [トップメニュー] ➔ [タイマー設定]を選択しタイマー設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「サーバー・タイマー設定」を選択しSELECT キーを押します。

サーバー・タイマー設定画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「録音タイマー」を選択しSELECT キーを押します。

録音タイマー画面が表示されます。

▶「クリア」を選択すると、設定した内容は消去されます。

タイマー機能について

タイマー機能を有効にするには
☞153ページ

4 ∧/<∨/>キーで「録音タイマーを使用する」を選択しSELECT キーを押します。

チェックボックスにチェックされます。

5 ∧/<∨/>キーで「開始」の時刻を選択します。

録音を開始したい時刻を設定します。

6 ∧/<∨/>キーで「終了」の時刻を選択します。

録音を終了したい時刻を設定します。

7 ∧/<∨/>キーで「入力」を選択します。

∧/∨ キーでソースの入力を選択します。

サブメニュー	説　明
光デジタル入力	サーバー機の OPTICAL IN 端子に接続している機器を録音できます
同軸デジタル入力	サーバー機の COAXIAL IN 端子に接続している機器を録音できます。
アナログ入力	サーバー機 ANALOG IN 端子に接続している機器を録音できます。

■ シンクロ録音(☞33ページ)を行う場合は、</>キーで「シンクロ録音」を選択しSELECTキーを押します。

チェックボックスにチェックされます。

8 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECT キーを押します。

タイマー録音が設定され、元の画面に戻ります。

タイマー設定を有効にするには、タイマー設定画面の「ON」チェックボックスにチェックします(☞153ページ)。

シンクロ録音について

タイマー録音時に選択できるシンクロ録音の種類は、トラックシンクロ録音のみです。

操作を中止する場合

▶「キャンセル」を選択すると、タイマー録音機能が設定されずにサーバータイマー設定画面が表示されます。

▶「クリア」を選択すると、設定した内容は消去されます。

▶ タイマー機能を有効にする（サーバー機）

1 [トップメニュー] ➔ [タイマー設定]を選択しタイマー設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「サーバー・タイマー設定」を選択しSELECT キーを押します。

サーバー・タイマー設定画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「ON」を選択しSELECT キーを押します。

チェックボックスにチェックされ画面右下にアイコンが表示されます。

ご注意

タイマー機能を有効にする前に、再生タイマー（☞147ページ）や録音タイマー（☞150ページ）の設定をしてください。

TIMER キーについて

リモコンのTIMERキーを押すとワンタッチでタイマー機能のオン/オフを切り替えることができます。

タイマー機能をオフにする

タイマー機能をオフするときは∧/∨キーで「ON」を選択しSELECTキーを押します（チェックボックスのチェックが外れます）。

クライアント機のタイマー機能

▶ 設定した時刻に再生を開始する（クライアント機）

1 [トップメニュー] ➔ [タイマー設定]を選択しタイマー設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「クライアント・タイマー設定」を選択しSELECT キーを押します。

クライアント・タイマー設定画面が表示されます。

3 ∧/∨キーでタイマー設定したいクライアント機を選択しSELECTキーを押します。

クライアント機のタイマー設定画面が表示されます。

4 ∧/<</∨/>キーで「開始」の時刻を選択します。

再生を開始したい時刻を設定します。

タイマー機能について

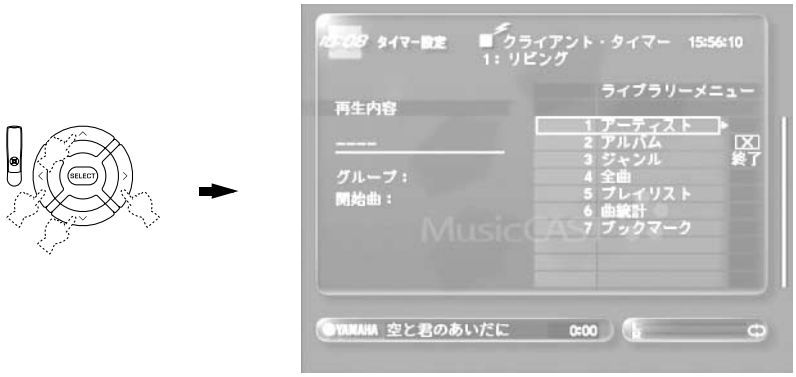
タイマー機能を有効にするには
☞156ページ

5 ∧/<∨/>キーで「終了」の時刻を選択します。

再生を開始したい時刻を設定します。

6 ∧/<∨/>キーで「再生内容」を選択し> キーを押します。

再生内容のライブラリーメニューが表示されます。



7 各グループから再生したい曲を選択します。

「アーティスト」から曲を検索して選ぶ場合
お好みのアーティストを選択してから、曲を選択します。
「アルバム」から曲を検索して選ぶ場合
お好みのアルバムを選択してから、曲を選択します。
「ジャンル」を検索して選ぶ場合
お好みのジャンルを選択してから、曲を選択します。
「全曲」から曲を検索して選ぶ場合
お好みの曲を選択します。
「プレイリスト」から曲を検索して選ぶ場合
お好みのプレイリストを選択してから曲を選択します。
「曲統計」から曲を検索して選ぶ場合
お好みの分類を選択してから、曲を選択します。
「ブックマーク」から曲を検索して選ぶ場合
お好みの曲を選択します。

選択メニューに表示されるアイコンについて

アイコン	説　明
戻る	選択メニューのグループを１つ上のグループに戻すときに選択します。
選択	選択した曲を再生内容の中に加えるときに選択します。
終了	選択メニューを終了するときに選択します。

8 ∧/∨ キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

タイマー再生が設定され、元の画面に戻ります。

タイマー設定を有効にするには、タイマー設定画面の「ON」チェックボックスにチェックします(☞156ページ)。

▶ タイマー機能を有効にする（クライアント機）

1 [トップメニュー] ➔ [タイマー設定]を選択しタイマー設定画面を表示します。

2 ∧/∨ キーで「クライアント・タイマー設定」を選択しSELECT キーを押します。

クライアント・タイマー設定画面が表示されます。

グループごとの選択

お好みのアーティスト、ジャンル、アルバムを再生グループとして選択することもできます。

選択メニューについて

カーソルが「アーティスト」などの選択オプションにあるときにSELECTキーを押すと、選択メニューのもう一つ下のレベルに移動します。例えば、カーソルが「アーティスト」にあるときにSELECT キーを押すと、選択しているアーティストにリンクされている全アルバムが表示され、希望のアルバムを選択できます。

操作を中止する場合

- ▶「キャンセル」を選択すると、タイマー再生機能が設定されずに１つ前の画面に戻ります。
- ▶「クリア」を選択すると、設定した内容は消去されます。

ご注意

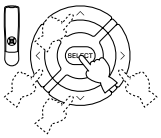
タイマー機能を有効にする前に、再生タイマーの設定をしてください(☞154ページ)。

クライアント機のタイマー設定

- ▶ タイマー設定はクライアント機がオンかスリープ状態で、ネットワークに正しく接続されている場合に有効です。
- ▶ タイマー設定はクライアント機の再生やスリープ設定よりも優先されます。
  設定した時間になるとタイマーが有効になります。
- ▶「クライアント・タイマー設定」は、「サーバー・タイマー設定」とは独立しています。「クライアント・タイマー設定」はサーバー機で管理するので、クライアント機を起動する必要はありません。

3 ∧/∨ キーでタイマーを起動させたいクライアント名を選択し、> キーでチェックボックスを選択しSELECT キーを押します。

チェックボックスにチェックされます。



サーバー機の表示

この設定を行っても、サーバー機のTIMERインジケーターや画面表示には変化はありません。

クライアント機のタイマー設定

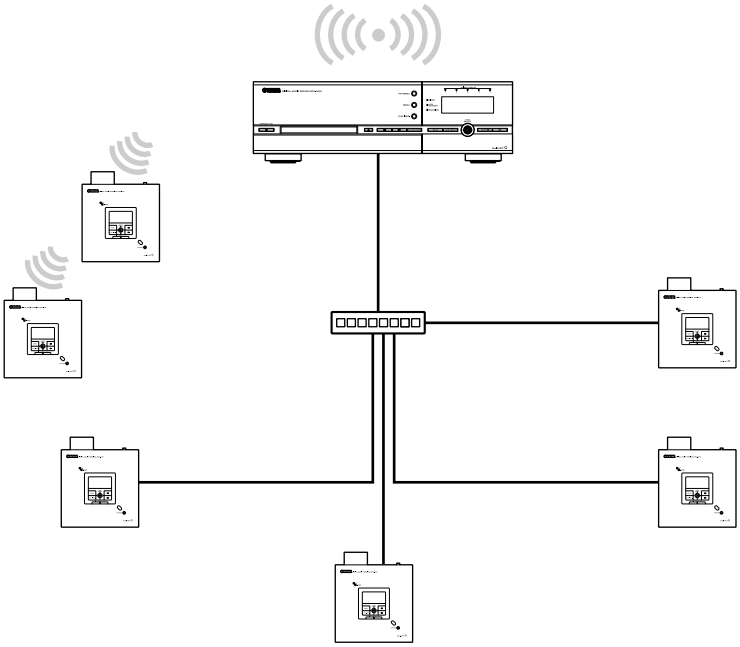
この設定は、クライアント機がオンかスリープ状態で、ネットワークに正しく接続されている場合に有効です。

タイマー機能をオフにする

タイマー設定をオフにするときは∧/∨キーで「ON」を選択しSELECTキーを押します（チェックボックスのチェックが外れます）。

ネットワーク(LAN)の設定をする

サーバー機とクライアント機の接続方法には、無線ネットワーク接続と有線ネットワーク接続の2種類があります。
無線ネットワーク接続では最大5台、有線ネットワーク接続では最大7台のクライアント機が接続できますが、サーバー機に同時に接続できるクライアント機の総数は7台までです。
例えば、無線ネットワーク接続を使って5台のクライアント機を接続したら、有線ネットワーク接続では残り2台のクライアント機が接続できます。
MusicCASTシステムをお使いになる前に、サーバー機とクライアント機を接続します。通常、この接続をするにはネットワーク自動設定で設定できます(☞161ページ)。



ご注意

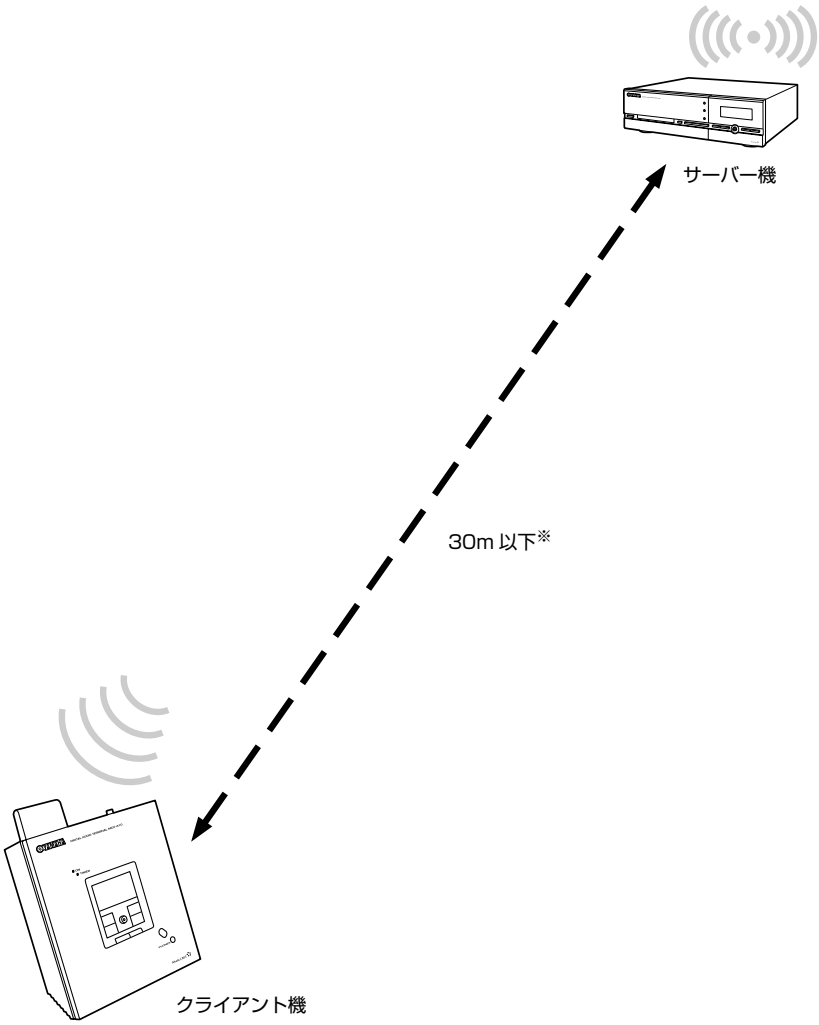
MusicCAST システムは同一サブネット内でのみ動作します。サブネットが違う場合、サーバー機とクライアント機の間で曲の送受信はできません。

インターネットに接続する場合

MusicCASTシステムをインターネットに接続する場合はブロードバンドルーターをご使用ください。

無線ネットワーク接続

無線ネットワーク接続を使えばサーバー機とクライアント機をケーブルで接続することなく、お好みの場所にクライアント機を設置できます。無線ネットワーク接続を使って最大5台のクライアント機を接続できます。無線ネットワーク接続での通信可能距離はサーバー機から半径約30mです（障害物がない場合）。



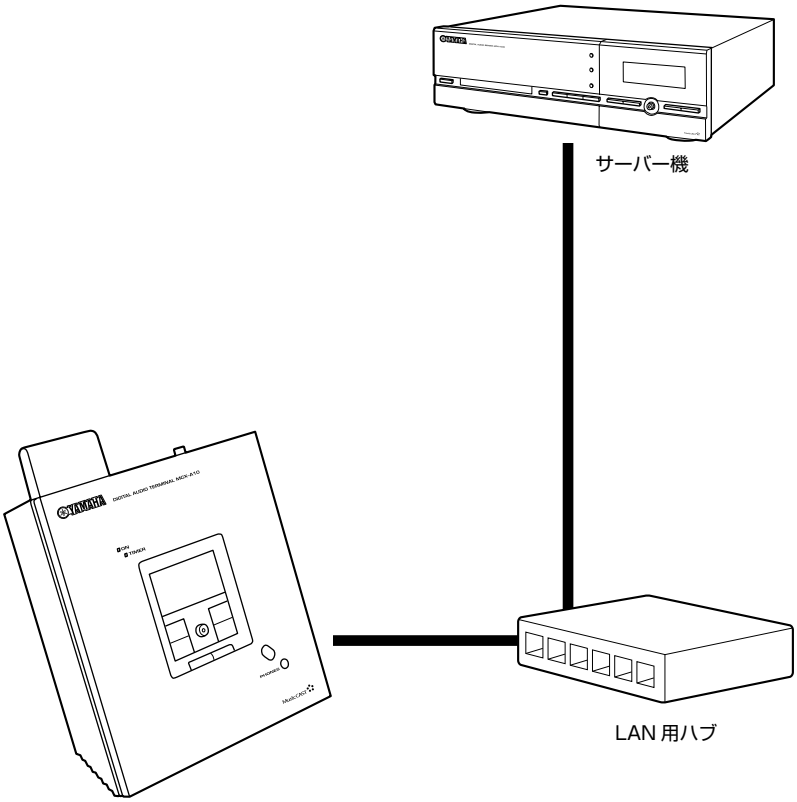
※お使いになる環境によって通信可能距離は変わります。

ご注意

厚い壁、鉄製のラックなどの障害物やテレビ、電子レンジ、無線信号を発信する携帯電話などの機器は、MusicCASTシステムからの無線信号を妨害する場合があります。このような場合、クライアント機の位置を変えるか、有線ネットワーク接続にしてください。

有線ネットワーク接続

有線ネットワーク接続は、ハブを経由してサーバー機とクライアント機をLANケーブルで接続します。無線ネットワーク接続の通信可能距離（約30m）を越えてクライアント機を接続したい場合や無線ネットワークの信号が他の機器によって妨害される可能性がある場所にクライアント機を設置したいときなどにご利用ください。
有線ネットワーク接続を使って最大7台のクライアント機が接続できます。



ハブの必要性

LAN用ハブはネットワーク上の複数の機器から信号を受信し、適切な目的地に送信します。よって、同じネットワーク上の機器間でデータを送受信することができます。

ネットワークの自動設定

ネットワーク自動設定機能を使えば、簡単に素早くサーバー機とクライアント機を接続できます。

▶ ネットワーク設定をする

ネットワーク自動設定をする前に以下の設定を行ってください。

- サーバー機の電源をオンにしてください。
- 無線接続を利用する場合、クライアント機とサーバー機が無線信号を送受信できる距離に設置してください。
- クライアント機の電源をオンにしてください。

既存のネットワークにMusicCASTシステムを導入する場合で、そのネットワークにDHCPサーバーが存在しないときは、以下の設定を行ってください。

- サーバー機のIPアドレスを設定します(☞166ページ)。デフォルト設定は192.168.1.1です。
- サーバー機をDHCPサーバーとして設定します。デフォルト設定では、サーバー機がDHCPサーバーとして設定されています(☞169ページ)。
- サーバー機が提供しているDHCPサービスの開始IPアドレスを設定します(☞169ページ)。デフォルトの開始アドレスは192.168.1.2です。

以下の設定ではサーバー機およびクライアント機本体にあるボタンを使い操作します。

▶ サーバー機とクライアント機を自動で接続する

サーバー機および接続したいクライアント機の両方で、ネットワーク自動設定を行います。ネットワーク自動設定は、以下の手順で行います。

■ サーバー機をネットワーク自動設定モードにする

1 サーバー機のフロントパネルのTOP MENUボタンを押します。

トップメニュー画面が表示されます。

サーバー機の設定について

サーバー機がDHCPサーバーとして設定されていない場合☞169ページ

ご注意

- ▶ 初期設定では、サーバー機はDHCPサーバーとして設定されていますのでクライアント機を接続しただけでネットワーク自動設定ができるようになっています。
- ▶ ブロードバンドルーターを使ってサーバー機をインターネット、またはネットワークに接続させたいときは、自動設定を行う前にサーバー機をDHCPクライアントとして設定してください(☞168ページ)。

DHCP サーバーとは？

ネットワーク上の機器に自動的にIPアドレスを割りあてる機器です。

DHCP クライアントとは？

ネットワーク機器をオンにするたびに、DHCPサーバー（DHCPサービスを提供しているネットワーク上の機器）からIPアドレスを取得します。DHCPサーバーからIPアドレスを取得するためには、機器をDHCPクライアントとして設定する必要があります。

ネットワーク自動設定にあたって

ネットワーク自動設定の操作は、サーバー機とクライアント機を一箇所に集めて行うことをお勧めします。

ご注意

サーバー機およびクライアント機の誤作動を避けるために、ネットワーク自動設定の操作はリモコンを使わず本体フロントパネル上のボタンから行ってください。

2 ∧/<∨/>ボタンで「システム設定」を選択しSELECTボタンを押します。

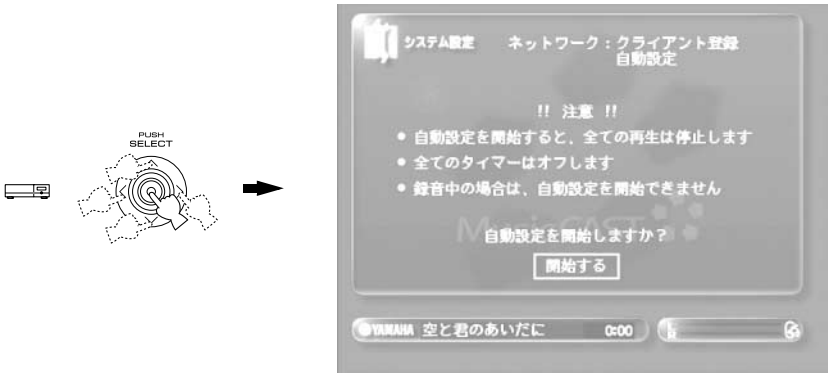
システム設定画面が表示されます。

3 ∧/<∨/>ボタンで「ネットワーク」を選択しSELECTボタンを押します。

ネットワーク画面が表示されます。

4 ∧/<∨/>ボタンで「自動設定」を選択しSELECTボタンを押します。

自動設定画面が表示されます。



5 画面の説明を確認したうえでOKならばSELECTボタンを押します。

サーバー機が自動設定モードに移行します。

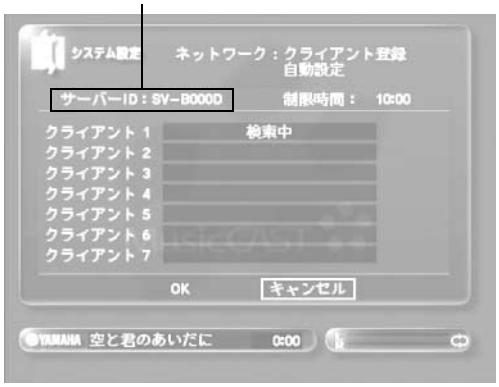
■ クライアント機の設定（☞MCX-A10取扱説明書31ページ）

1. クライアント機のフロントパネルの∧/<∨/>ボタンを上下左右に動かし画面上の「Connecting...」の表示を消します。
2. ∧/<∨/>ボタンで「Setup」を選択しSELECTボタンを押します。
3. ∧/<∨/>ボタンで「Network」を選択しSELECTボタンを押します。
4. ∧/<∨/>ボタンで「AutoConfiguration」を選択しSELECTボタンを押します。
5. PLAY ▷ボタンを押します。

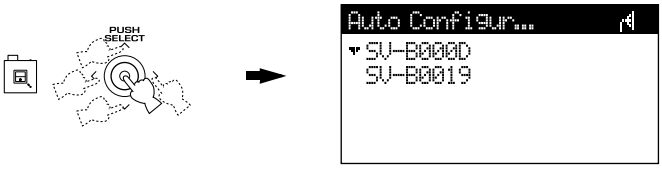
ネットワーク自動設定が始まり、以下の画面が表示されます。

クライアント機

サーバー機



複数のサーバー機が検索された場合は接続するサーバー機を指定してください。
接続するサーバー機のサーバーIDは、サーバー機の自動設定画面（上図）の「サーバーID：SV-xxxxx」で確認できます。



再生中にネットワーク自動設定を行った場合

サーバー機とクライアント機で行われている再生はすべて自動的に停止します。

ご注意

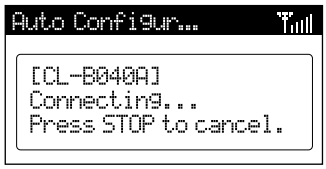
クライアント機がサーバー機を検索する際の、アクセス制限時間は10分間です。10分以内に操作が終了しない場合、サーバー機は設定内容を登録せずにネットワーク自動設定を終了します。

ご注意

自動設定モードになっているサーバー機が複数存在している場合は、クライアント機の画面に複数のサーバーIDが表示されます。

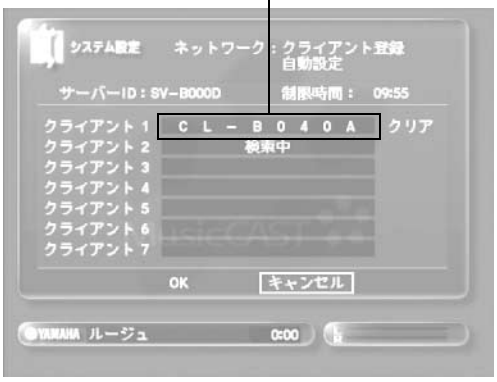
サーバー機がクライアント機を認識すると以下の画面が表示されます。

クライアント機



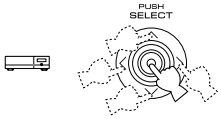
認識されたクライアントID

サーバー機



6 サーバー機の∧/<∨/>ボタンで「OK」を選択しSELECTボタンを押します。

設定内容を保存し、ネットワーク自動設定を終了します。



クライアント機

サーバー機

クライアント機が複数ある場合

ネットワーク設定したいクライアント機が複数台ある場合は、各クライアント機で手順1から5までの操作を繰り返してください。

ご注意

自動設定を行っても、以前に登録されたクライアント機は削除されません。ネットワーク上に存在するクライアント機のIDは青色で表示されます。

ネットワーク設定を中止する

サーバー機の場合

サーバー機の画面で「キャンセル」を選択してからSELECTボタンを押してください。

クライアント機の場合

□ (STOP)ボタンを押してください。

サーバー機ネットワークの上級者用設定

ここでは、上級者用設定で使われるサーバー機のネットワーク設定メニューの目的および機能を説明します。

上級者用設定の設定項目

メニュー	サブメニュー	説　明
IP アドレス	DHCP サーバーから IP アドレスを自動で取得する	DHCP サーバーから IP アドレスを取得します (☞168 ページ)。
	IP アドレス サブネットマスク ゲートウェイ プライマリー DNS セカンダリー DNS	それぞれの値を設定します (☞166 ページ)。
無線ネットワーク	ESS ID	ESS ID を設定します (☞170 ページ)。
	チャンネル	チャンネルを設定します (☞172 ページ)。
	WEP キー	Wep キーを設定します (☞173 ページ)。
DHCP	MusicCAST の DHCP サーバー機能を使用する	サーバー機を DHCP サーバーとして設定します (☞169 ページ)。
	開始アドレス	DHCP クライアントに割りあてる IP アドレスの開始アドレスを入力します (☞169 ページ)。

ネットワークの手動設定

ここではサーバー機とクライアント機のネットワーク設定を手動で行う方法を説明します。
ネットワーク自動設定が完了している場合、手動設定は必要ありません。

▶ ネットワーク設定をするまえに

- 無線ネットワーク接続する場合はクライアント機とサーバー機が無線信号を送受信できる距離に設置してください。
- サーバー機の電源をオンにしてください。
- クライアント機の電源をオンにしてください。

■ サーバー機に設定する内容

・クライアント登録：接続するクライアント機のクライアントIDを設定します(☞177ページ)。
・IPアドレス：DHCPサーバーが設置されている場合は、「IPアドレス」を設定する必要はありません。「IPアドレス」を設定する場合は、IPアドレスを間違えないようにしてください(☞166ページ)。
・無線LAN：無線ネットワーク接続する場合は、ESS ID(☞170ページ)、チャンネル(☞172ページ)、WEPキー (☞173ページ)を設定します。
・DHCP：DHCPサーバーが設置されている場合は、「DHCP」の設定をオフにします(☞169ページ)。

IP アドレスとは？

IPアドレスは、MusicCASTシステムにおいて個々の機器（サーバー機/クライアント機）を識別するために必要な番号です。
IPアドレスは「192.168.1.1」のように4つの数字を使って表されます。
またIPアドレスには、グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレスの2種類があります(☞213ページ)。
MusicCASTシステムの各機器は、IPアドレスによって識別され、IPアドレスが設定されていないとクライアント機はお使いになれません。

ご注意

MusicCASTシステムの曲の送受信はローカルエリアネットワーク(LAN)内で行います。
MusicCAST システムは、同一サブネット内でのみ作動します。
サブネットが違う場合、サーバー機とクライアント機の間で曲の受送信はできません。

■ クライアント機に設定をする内容

・Mode：有線ネットワーク接続する場合は、Autoに設定します。
・Server ID：接続するサーバー機のサーバー IDを設定します(☞175ページ)。
・DHCP：DHCPサーバーが設置されている場合は、「DHCP」をオンにします。
・IP Address：DHCPサーバーが設置されている場合は、「IP Address」を設定する必要はありません。「IP Address」を設定する場合は、IPアドレスを間違えないようにしてください。
・Subnet Mask：DHCPサーバーが設置されている場合は、「Subnet Mask」を設定する必要はありません。「Subnet Mask」を設定する場合は、IPアドレスを間違えないようにしてください。
・ESS ID：無線ネットワーク接続する場合は、サーバー機に設定されたESS IDを設定します。
・WEP key：無線ネットワーク接続する場合は、サーバー機に設定されたWEPキーを設定します。

▶ サーバー機のIPアドレスを設定する

IPアドレス画面では、サーバー機に個別のIPアドレスを設定したり、ネットワーク内のDHCPサーバーからIPアドレスを取得する設定をしたりできます。また、サブネットマスクやデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレスを設定することもできます。

サーバー機のIPアドレスを設定するには、以下の操作を行ってください。

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ネットワーク」を選択しSELECTキーを押します。

ネットワーク画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「上級者用設定」を選択しSELECTキーを押します。

上級者用設定画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで「IPアドレス」を選択しSELECTキーを押します。

IPアドレス画面が表示されます。

5 ∧/<∨/>キーで「IPアドレス」の右側の数値にカーソルを合わせます。

6 ∧/∨キーで適切な数値に変更し、次に</>キーを使ってカーソルを他の数値に合わせます。

7 「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」、「プライマリー DNS」、「セカンダリー DNS」も同様に適切な数値に変更します。

8 設定が終わったら、∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存され元の画面に戻ります。

ご注意

IPアドレス画面の設定は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動で取得する」をオフにしてから行ってください。

操作を中止する場合

設定内容を反映させないで設定を終了させたい場合は、「キャンセル」を選択してからSELECTキーを押してください。

▶ サーバー機のIPアドレスを自動で取得する

サーバー機がDHCPサーバーからIPアドレスを取得するように設定できます。この場合、サーバー機は、サブネットマスクやデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレスも自動的に取得します。

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ネットワーク」を選択しSELECTキーを押します。

ネットワーク画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「上級者用設定」を選択しSELECTキーを押します。

上級者用設定画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで「IPアドレス」を選択しSELECTキーを押します。

IPアドレス画面が表示されます。

ご注意

サーバー機をDHCPクライアントとして使っている場合、お使いのDHCPサーバーの設定によっては、サーバー機がDHCPサーバーから取得しているIPアドレスを短時間で設定し直す必要があります。IPアドレスを設定するときは、すべてのクライアント機の動作は停止します。
詳細についてはDHCPサーバーの取扱説明書のIPアドレス有効期限に関する記述を参照してください。

5 ∧/∨キーで「DHCPサーバーからIPアドレスを自動で取得する」のチェックボックスにカーソルをあわせて、SELECTキーを押します。

チェックボックス内にチェックマークが表示されます。

6 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存され元の画面に戻ります。

▶ サーバー機をDHCPサーバーとして設定する

サーバー機をDHCPサーバーにするときはDHCP画面で設定をします。DHCPサービス画面を表示させるには、以下の操作を行ってください。

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ネットワーク」を選択しSELECTキーを押します。

ネットワーク画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「上級者用設定」を選択しSELECTキーを押します。

上級者用設定画面が表示されます。

ご注意

サーバー機がDHCPクライアントとして作動するように設定されている場合は、DHCPサーバーに関する設定はできません(☞168ページ)。

4 ∧/∨キーで「DHCP」を選択しSELECTキーを押します。

DHCP画面が表示されます。

5 ∧/∨キーで「MusicCASTのDHCPサーバー機能を使用する」のチェックボックスにカーソルをあわせてSELECTキーを押します。

チェックボックス内にチェックマークが表示されます。

6 設定が終わったら∧/</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存され元の画面に戻ります。

▶ 無線ネットワーク画面

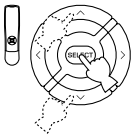
無線ネットワーク接続する場合は、ESS ID、チャンネル、WEPキーを手動で入力します。

■ ESS IDを設定する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ネットワーク」を選択しSELECTキーを押します。

ネットワーク画面が表示されます。



開始アドレスについて

初期値以外のIPアドレスをご使用になる場合などに設定します。∧/<∨/>キーで数値を入力してください。

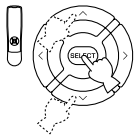
ご注意

DHCPサービスの開始アドレスの設定は以下の点に注意してください。

- サーバー機のIPアドレスと同じ値は入力しないでください。
- DHCPサービスの開始アドレスの末尾の数字から連続した7個のIPアドレスは、クライアント機に割り当てるIPアドレスとして使用します。
- 開始IPアドレスの末尾の数字は、接続するクライアント機の台数を足して254以下になるように設定してください（サブネットマスクは255.255.255.0.に設定されているとします。サブネットマスクの設定方法について☞166ページの「IPアドレス画面」）。

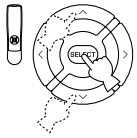
3 ∧/∨キーで「上級者用設定」を選択しSELECTキーを押します。

上級者用設定画面が表示されます。

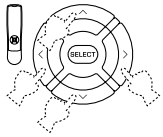


4 ∧/∨キーで「無線LAN」を選択しSELECTキーを押します。

無線LAN画面が表示されます。



5 ∧/<∨/>キーで「ESS ID」を選択し>キーを押します。



6 値を入力します。

7 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

8 設定内容を確定する場合は「OK」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存され元の画面に戻ります。

文字入力について

▶PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。

▶文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押します。

■ チャンネルを設定する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ネットワーク」を選択しSELECTキーを押します。

ネットワーク画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「上級者用設定」を選択しSELECTキーを押します。

上級者用設定画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで「無線LAN」を選択しSELECTキーを押します。

無線LAN画面が表示されます。

5 ∧/<∨/>キーで「チャンネル」を選択し>キーを押します。

6 ∧/∨キーでチャンネルの値を確定します。

7 設定内容を確定する場合は「OK」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存され元の画面に戻ります。

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押します。

■ WEPキーを設定する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ネットワーク」を選択しSELECTキーを押します。

ネットワーク画面が表示されます。

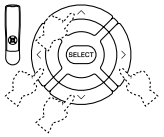
3 ∧/∨キーで「上級者用設定」を選択しSELECTキーを押します。

上級者用設定画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで「無線LAN」を選択しSELECTキーを押します。

無線LAN画面が表示されます。

5 ∧/<∨/>キーで「WEPキー」を選択し>キーを押します。



6 値を入力します。

7 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

8 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

設定が保存され元の画面に戻ります。

ご注意

MusicCASTネットワークでは、13文字(128ビット）のWEPキーを採用しています。
入力したWEPキーが13文字未満の場合は自動的にゼロが追加され、13位になります。

文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。
▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

「キャンセル」を選択しSELECTキーを押します。

サーバー機のネットワーク状態を表示する

ここでは、ネットワーク情報参照画面から、サーバー機のネットワーク状態を表示させる方法を説明します。

▶ IPアドレス画面を表示する

IPアドレス画面を表示させるには、以下の操作を行ってください。
IPアドレス画面では、サーバー機のネットワーク状態に関する以下の情報を表示します。

項　目	説　明
サーバー ID	ネットワーク設定時に使用する ID です。ID はサーバー機ごと個別に付与されています。
IP アドレス	サーバー機が現在使用している IP アドレスを表示します。
サブネットマスク	サーバー機が現在使用しているサブネットマスクを表示します。
ゲートウェイ	サーバー機が現在使用しているデフォルトゲートウェイを表示します。
プライマリー DNS	サーバー機が現在使用しているプライマリ DNS サーバーを表示します。
セカンダリー DNS	サーバー機が現在使用しているセカンダリ DNS サーバーを表示します。

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ネットワーク」を選択しSELECTキーを押します。
ネットワーク画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「IPアドレス」を選択しSELECTキーを押します。

IPアドレス画面が表示されます。

▶ 無線LAN画面を表示する

無線LAN画面では、MusicCASTシステムの無線ネットワーク接続の状態に関する以下の情報を表示します。

項　目	説　明
通信状況	クライアント機が受信している信号の質を表示します。
信号強度	クライアント機が受信している信号の強さを表示します。
ビットレート	クライアント機が受信している信号のレート（メガビット / 秒）を表示します。

無線LAN画面を表示させるには、以下の操作を行ってください。

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ネットワーク」を選択しSELECTキーを押します。

ネットワーク画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「無線LAN」を選択しSELECTキーを押します。

無線LAN画面が表示されます。

クライアントIDの手動設定

手動設定画面は、サーバー機に接続させたいクライアントIDを手動で入力するときに使用します。

クライアントIDの入力は以下の手順で行ってください。

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ネットワーク」を選択しSELECTキーを押します。

ネットワーク画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「手動設定」を選択しSELECTキーを押します。

手動設定画面が表示されます。

情報を更新する場合

「情報更新」を選択しSELECTキーを押します。

クライアント ID

クライアントIDは、クライアント機のネットワークステータスメニューのIP Address画面で確認できます(☞MCX-A10取扱説明書76ページ)。

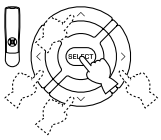
4 ∧/<</∨/>キーで設定したいクライアントナンバーを選択し∧/∨キーでクライアントIDを設定します。

設定が終わったら、∧/<</∨/>キーで他のクライアントナンバーに合わせ、同じように設定します。

5 IDの設定が終了したら、∧/<</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押して設定内容を確定し画面を閉じます。

■ クライアントナンバーを入れ替えるには

∧/<</∨/>キーで入れ替えたいクライアント機を選択し、SUB MENUキーを押してください。∧/<</∨/>キーで「入換：1と2」などを選択しSELECTキーを押すと割り当てたIDを入れ替えることができます。



操作を中止する場合

「キャンセル」を選択してからSELECTキーを押してください。

システム設定をする

システム設定メニュー

システム設定のメニューには以下のものがあります。

メニュー名	説　　明	参照
ネットワーク	クライアント機とサーバー機を接続したり、サーバー機からインターネットに接続できるように設定します。	158
日付と時刻	サーバー機の日付／時刻を設定します。 手動で設定する方法と、インターネットの日付／時間サーバー（NTP サーバー）と接続し自動更新する方法があります。	182
ビデオ出力	サーバー機に接続したテレビ／モニターの画面表示方法を切り替えます。画面を常に表示させる方法と、使用していないときに自動的に画面をオフにする方法があります。	184
Gracenote CDDB	サーバー機が CD に関する情報を Gracenote CDDB で検索する方法を設定します。	185
再生	サーバー機に電源を入れたと同時に自動再生を開始させるオートプレイ機能についての設定をします。	186
レコーディング	サーバー機が曲を保存するときの保存フォーマットを選択します。	187
AV アンプ	サーバー機に接続されたヤマハ AV アンプを一緒に使用するときの設定を行います。	188
自動音量調整	さまざまな録音レベルの曲に対して、レベルを自動調整する機能のオン／オフを設定します。	191
オンスクリーンディスプレイ（OSD）	サーバー機をオンにしたときに最初に表示させるメニューページを設定します。	192
クライアント	サーバー機に保存された PCM フォーマットデータをクライアントに配信する機能のオン／オフを設定したり、PCM 再生をするクライアント機を設定します。	193
キーボード	サーバー機に接続する PS/2 キーボードの種類を設定します。	194
スタンバイ設定	サーバー機の LAN スタンバイのオン／オフを設定します。	195
FL 表示の明るさ	サーバー機のフロントパネルディスプレイの明るさを設定します。	196
ハードディスクユーティリティ	サーバー機のハードディスクに保存されている曲のデータを消去したり、PCM フォーマットのデータを消去したりします。	197
システムユーティリティ	システム設定の初期化：　サーバー機の設定を 180 ページの初期値（工場出荷時の値）にします。 システムのアップデート：サーバー機ソフトウェアのアップデートを行います。	199

システム設定の初期値

本章で説明するすべてのパラメーターの初期設定値は以下のとおりです。

システム設定画面のメニュー				初期値
ネットワーク	クライアント登録	自動設定		設定されたクライアントなし
		手動設定		設定されたクライアントなし
	ネットワーク情報参照	IP アドレス		
		無線 LAN		
	その他／上級者用設定	IP アドレス	DHCP サーバーから IP アドレスを自動で取得する	OFF
			IP アドレス	192.168.1.1
			サブネットマスク	255.255.255.0
			ゲートウェイ	192.168.1.1
			プライマリー DNS	0.0.0.0
			セカンダリー DNS	0.0.0.0
		無線 LAN	ESS ID	MCxxxxx（サーバー機出荷時に５桁の ID が設定済み）
			チャンネル	6
			WEP キー	MCyyyyyyyyyyy（サーバー機出荷時に 13 桁の ID が設定済み）
		DHCP	MusicCAST の DHCP サーバー機能を使用する	ON
			開始アドレス	192.168.1.2
日付と時刻	NTP サーバーを使用			OFF
			時刻合わせ間隔	12 時間
			タイムゾーン	［+ 9:00］東京
			サマータイムを利用	OFF　01.01.00:00:00
	手動設定			2003.
ビデオ出力			常にオンスクリーンディスプレイを表示	✓
			操作をしている時だけオンスクリーンディスプレイを表示し、操作終了後、自動的に消去する	
			自動消去までの時間：	30 秒
Gracenote CDDB			CD を読み込んだ後、自動で検索を開始する	ON
			MusicCAST 内蔵のデータベースを使用する	ON
			インターネットのデータベースを使用する	OFF
			タイムアウト時間：	60 秒
再生			前回電源オフ時に再生していた曲を自動で再生する	OFF
レコーディング	録音方式		PCM と MP3	✓
			MP3 のみ	
	MP3 のビットレート		160 kbps	✓
			256 kbps	
			320 kbps	
AV アンプ	オーディオ接続設定			未登録
	操作設定		Music CAST の電源操作と、アンプの電源を連動させる	OFF
			再生するジャンルに合わせて DSP プログラムを変更する	OFF
	チューナー配信		REC OUT	
			ZONE 2 OUT	
			ZONE 3 OUT	
			OFF	✓
自動音量調整			自動音量調整を使用する	OFF
オンスクリーンディスプレイ (OSD)			トップメニューを表示する	✓
			以前に表示していたページを表示する	
クライアント			PCM 配信機能を使用する	OFF
			クライアント番号	1

システム設定画面のメニュー		初期値
キーボード	英語	
	フランス語	
	ドイツ語	
	日本語	✓
スタンバイ設定	ネットワーク休止状態（低消費電力）	
	ネットワーク待機状態	✓
FL 表示の明るさ	明るい	✓
	普通	
	暗い	

日付と時刻を設定する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「日付と時刻」を選択しSELECTキーを押します。

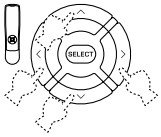
日付と時刻画面が表示されます。

3 ∧/<∨/>キーで日付／時刻を設定します。

■ 手動で設定する場合

「NTPサーバーを使用」のチェックボックスのチェックを外して、設定したい項目を選択します。

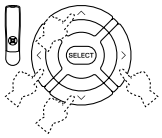
∧/<∨/>キーで日付／時刻を設定します。



■ NTPサーバーに接続して自動設定する場合

1.「NTPサーバーを使用」のチェックボックスにチェックを入れます。

2. ∧/<∨/>キーで「NTPサーバーを使用」を選択し>キーを押します。文字入力画面が表示されます。



ご注意

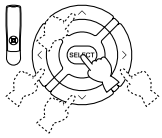
サーバー機の電源プラグをコンセントから抜いて1分以上経過すると、サーバー機内の時計がリセットされます。サーバー機をNTPサーバーに接続させていない場合は、再度手動で正しい日付/時刻に設定してください。

ご注意

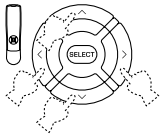
サーバー機をNTPサーバーに接続させる前に、サーバー機がインターネットに接続されているか確認してください。

3. NTPサーバーのアドレスを入力します。

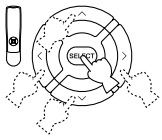
4. ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押してください。



5. サーバー機をNTPサーバーにアクセスする時間の間隔を設定します。
∧/<∨/>キーで「時刻あわせ間隔」を選択しNTPサーバーにアクセスし更新する時間の間隔を選択し設定します。

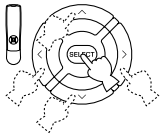


6. タイムゾーンを設定します。
∧/<∨/>キーで「タイムゾーン」を選択しご利用のタイムゾーンを設定します。夏時間を使っているタイムゾーンの場合は、∧/<∨/>キーを使ってカーソルを「サマータイムを利用」に合わせて、SELECTキーを押してチェックボックスにチェックを入れてください。



4 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



アドレスの入力

アドレスについては、ご利用のインターネットプロバイダーまたはNTPサービスのガイドブックをご覧ください。IPアドレスまたはURLアドレスを入力します。URLアドレスを使用する場合は、サーバー機のDNSが正しく設定されているか確認してください(☞175ページ)。

文字入力について

▶ PS/2キーボードでも文字入力ができます(☞121ページ)。
▶ 文字入力の方法☞118ページ

操作を中止する場合

▶ 元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
▶ 設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

オンスクリーンディスプレイの表示を設定する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

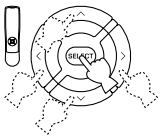
2 ∧/∨キーで「ビデオ出力」を選択しSELECTキーを押します。

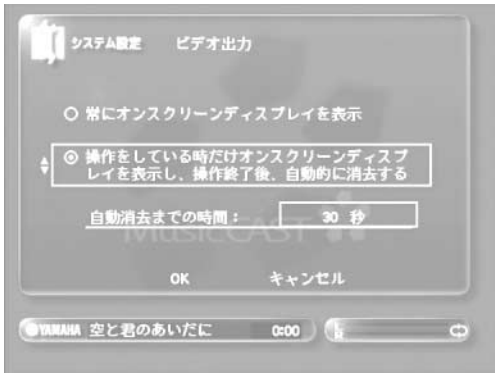
ビデオ出力画面が表示されます。

3 ∧/</∨/>キーで表示方法を選択しSELECTキーを押します。

項　　目	説　　明
常にオンスクリーンディスプレイを表示	画面が常に表示されます。
操作をしている時だけオンスクリーンディスプレイを表示し、操作終了後自動的に消去する	一定時間操作しないと、画面をオフにします。

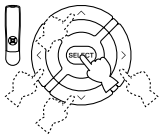
オフになるまでの時間は、∧/<∨/>キーで「自動消去までの時間：」を選択し、次に、∧/∨キーで画面をオフにするまでの時間を設定してください。





4 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



オンスクリーンディスプレイ

サーバー機に接続したテレビ/モニターに表示された画面のことをオンスクリーンディスプレイと呼びます。

画面をオフにする

「操作をしている時だけオンスクリーンディスプレイを表示し、操作終了後自動的に消去する」が選択されている場合、PLAY INFO.キーを約2秒間押し続けると画面がオフになります。画面を表示するには、どれかキーを押してください。

外部からの映像入力

外部映像機器はテレビ／モニターと同じ種類のVIDEO端子（in）に接続してください。「操作をしている時だけオンスクリーンディスプレイを表示し、操作終了後自動的に消去する」が選択されている場合、画面がオフになるとテレビ／モニターに外部映像機器からの映像を表示できます。

操作を中止する場合

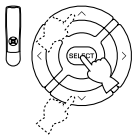
- ▶ 元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶ 設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

Gracenote CDDB®接続の設定をする

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「Gracenote CDDB」を選択しSELECTキーを押します。

Gracenote CDDB画面が表示されます。



3 ∧/<∨/>キーで検索方法を選択しSELECTキーを押します。

SELECTキーを押して使用したい機能のチェックボックスにチェックを入れます。

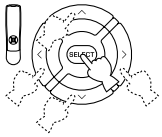
■ CDの情報の検索方法を設定する

項　　目	説　　明
CD を読み込んだ後、自動で検索を開始する	CD をディスクトレイに入れると、自動的に Gracenote CDDB へアクセスし CD の情報を検索します。

■ 検索先のデータベースを設定する

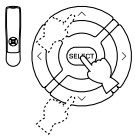
データベースを両方同時に設定することもできます。

項　　目	説　　明
MusicCAST 内蔵のデータベースを使用する	内蔵の Gracenote CDDB を使用します。
インターネットのデータベースを使用する	インターネットの Gracenote CDDB を使用します。



4 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



Gracenote CDDB

▶ サーバー機に内蔵されたGracenote CDDBには、サーバー機の出荷日までのCD情報しか保存されていません。最新情報およびさらに多くの情報を検索するときは、インターネットのGracenote CDDBにアクセスしてください。

▶ インターネットのGracenote CDDBサービスに接続するには、サーバー機がインターネットに接続されている必要があります。

▶「MusicCASTの内臓のデータベースを使用する」と「インターネットのデータベースを使用する」を同時に設定すると、内蔵のGracenote CDDBにアクセスし情報が検索できなかった場合に、続けてインターネットのGracenote CDDBサービスへアクセスしCDの情報を検索します。

「インターネットのデータベースを使用する」を選択した場合

Gracenote CDDBのアクセスタイムアウト時間を設定できます。∧/<∨/>キーで「タイムアウト時間：」を選択し、次に、∧/∨キーでアクセスを停止するまでの時間を設定してください。

操作を中止する場合

▶ 元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。

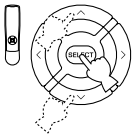
▶ 設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

自動再生の設定をする

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 システム設定画面から∧/∨キーで「再生」を選択しSELECTキーを押します。

再生画面が表示されます。

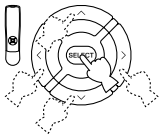


3 SELECTキーを押して「前回電源オフ時に再生していた曲を自動で再生する」のチェックボックスにチェックを入れます。

自動再生設定をオンにするとサーバー機の電源を入れたときに、前回最後に再生していた曲が自動的に再生されます。

4 ∧/</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



ご注意

ヤマハAVアンプ電源連動機能(☞189ページ)がオンの場合、再生開始までに少し時間がかかります。

操作を中止する場合

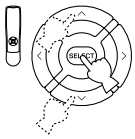
- ▶ 元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶ 設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

録音時の保存フォーマットを設定する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

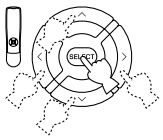
2 ∧/∨キーで「レコーディング」を選択しSELECTキーを押します。

レコーディング画面が表示されます。



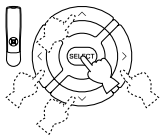
3 ∧/</∨/>キーでお好みのフォーマットを選択しSELECTキーを押します。

項　　目	説　　明
録音方式	サーバー機が曲を録音するときの保存フォーマットを「PCM と MP3 」、「MP3 のみ」から選択します。
MP3 のビットレート	MP3 フォーマットで保存する場合の音質を設定します。数値が大きいほど音質は良くなりますが、データの量が大きくなります。



4 ∧/</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



ご注意

- ▶「MP3のみ」を選択するとPCMフォーマットのデータは保存されません。この場合、サーバー機からCD-R/CD-RWに録音することはできません。
- ▶複数のクライアント機を同時にご利用になる場合は、MP3のビットレートはデフォルト値の160 kbpsを選択してください。

PCM フォーマットとは

PCMフォーマットは、CDと同じ音質ですが、データ量が多くハードディスクのスペースを多く使用します。サーバー機で音楽を楽しむ場合やお好みのCDを作成したい場合にPCMフォーマットが用いられます。また、クライアント機(任意の1台のみ)に対してPCMフォーマットで曲を配信できます(☞193ページ)。

MP3 フォーマットとは

MP3フォーマットは、圧縮データのためデータ量が少なくPCMフォーマットに比べ、より多くの曲（最大約10倍）をハードディスクに保存できます。
またクライアント機へは通常MP3フォーマットで曲を配信します。

操作を中止する場合

- ▶元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

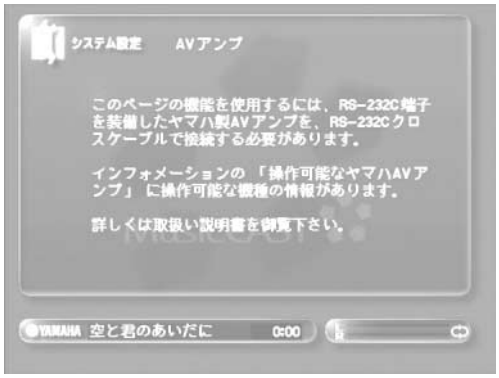
ヤマハAVアンプを設定する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「AVアンプ」を選択しSELECTキーを押します。

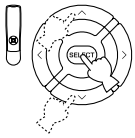
AVアンプ画面が表示されます。

サーバー機とヤマハAVアンプが正しく接続されていない場合は、以下のメッセージが表示されます。



・チューナー配信は、ヤマハAVアンプと接続しないと機能しません(☞135ページ)。
・サーバー機のAVコントロール機能で利用できるヤマハAVアンプは、操作可能なヤマハAVアンプ画面で確認できます(☞203ページ)。

3 ∧/∨キーでお好みの項目を選択しSELECTキーを押します。

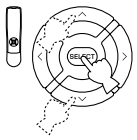


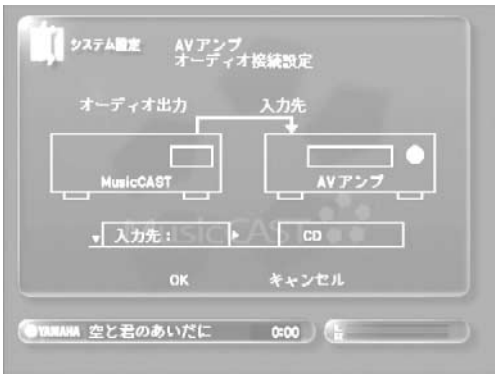
設定をする前に

サーバー機とヤマハAVアンプが正しく接続されているかご確認ください。

■ オーディオ接続設定

サーバー機に接続されているヤマハAVアンプの入力を設定します。
設定するときは∧/∨キーで選択しSELECTキーを押します。

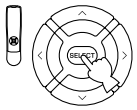


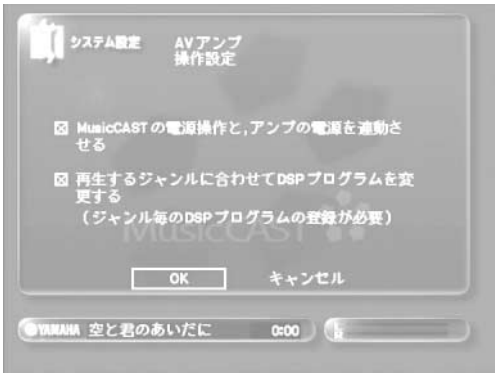


■ 操作設定

ヤマハAVアンプのコントロール機能を設定します。
SELECTキーを押して使用したい機能のチェックボックスにチェックを入れます。

項　　目	説　　明
MusicCAST の電源操作とアンプの電源を連動させる	サーバー機の電源オン／オフに連動して、ヤマハ AV アンプの電源もオン／オフが切り替わります。
再生するジャンルに合わせて DSP プログラムを変更する（ジャンル毎の DSP プログラムの登録が必要）	再生ジャンルが切り替わるたびに、ヤマハ AV アンプに設定されている DSP プログラムが切り替わります。





ご注意

- ▶これらの機能を使用しない場合は、∧/∨キーとSELECTキーを使って、チェックボックスのチェックを外してください。
- ▶ヤマハAVアンプのDSPプログラムを自動的に切り替えるには、まずジャンルに対してDSPプログラムを登録する必要があります（☞136ページ）。

操作を中止する場合

- ▶元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

■ チューナー配信

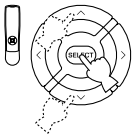
サーバー機は、チューナーからの音声出力をクライアント機に転送します。各クライアント機は、ヤマハAVアンプに設定してあるラジオ放送局から番組を選択できます（これをチューナープリセットと呼んでいます）。

∧/∨キーで機能を選択しSELECTキーを押します。

項　目	説　明
REC OUT	ヤマハ AV アンプはチューナーからのオーディオ信号を REC OUT 端子から出力します。
ZONE 2 OUT ZONE 3 OUT	日本国内仕向のアンプでは対応していません。
OFF	チューナー配信機能が無効になります。

4 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



ご注意

- ▶サーバー機のフロントパネルにあるANALOG REC LEVELツマミで、チューナーからの出力が十分聞こえるレベルに合わせてください。
- ▶チューナーをサーバー機と一緒に使用するには、ヤマハAVアンプのREC OUTをサーバー機のANALOG IN端子に接続してください。
- ▶ヤマハAVアンプのインプットセクタは、クライアント機でチューナープリセットを選択／変更するとTUNERに切り替わります。

操作を中止する場合

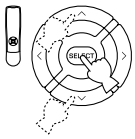
- ▶元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

自動音量調整機能のオン／オフを設定する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「自動音量調整」を選択しSELECTキーを押します。

自動音量調整画面が表示されます。

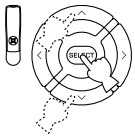


3 SELECTキーを押して「自動音量調整を使用する」のチェックボックスにチェックを入れます。

オートレベル機能がオンになります。

4 ∧/∨キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



ご注意

- ▶オートレベル機能は、平均音量を用いて音量に大きな違いが生じないようにします。このため、例えばクラシックを聴いたあとでロックを聴いた場合などには満足できない結果になるかも知れません。その場合はこの機能をオフにしてお使いください。
- ▶オートレベル機能は、MP3フォーマットに変換されていない曲や、MP3フォーマットに変換中の曲に対しては有効ではありません。
- ▶サーバー機が自動レベル調整を行うように設定されていたり、各ジャンルのDSPプログラムを変更するように設定されていると、再生中の曲と曲の間は無音状態になります。

操作を中止する場合

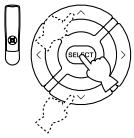
- ▶元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

電源をオンにしたときに表示される画面の設定をする

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「オンスクリーンディスプレイ」を選択しSELECTキーを押します。

オンスクリーンディスプレイ画面が表示されます。

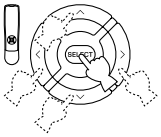


3 ∧/∨キーで画面の表示方法を選択しSELECTキーを押します。

項　目	説　明
トップメニューを表示する	サーバー機をオンにしたときに、トップメニュー画面が表示されます。
以前に表示していたページを表示する	サーバー機をオンにしたときに、最後に表示していたページが表示されます。

4 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



ご注意

「以前に表示していたページを表示する」を選択した場合は、最後に表示されていた画面がシステム設定画面や再生情報画面の場合は、トップメニュー画面が表示されます。

操作を中止する場合

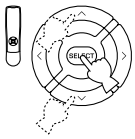
- ▶ 元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶ 設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

クライアント機でPCMフォーマットを再生する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

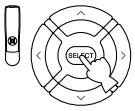
2 ∧/∨キーで「クライアント」を選択しSELECTキーを押します。

クライアント画面が表示されます。



3 SELECTキーを押します。

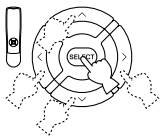
「PCM配信機能を使用する」のチェックボックスにチェックが入ります。



4 ∧/<∨/>キーでPCMフォーマットの曲を再生させたいクライアント機を選択します。

5 ∧/<∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



ご注意

- ▶サーバー機から配信されるPCMフォーマットを再生できるクライアント機は任意の一台のみです。
- ▶クライアント機を7台同時に使用し、かつ特定のクライアント機にPCMフォーマットの曲を配信したい場合、他クライアント機で再生するMP3フォーマットは、160kbpsで録音されたものをご使用ください（☞187ページ）。
- ▶外部機器から入力された曲は、MP3(160kbps)フォーマットでクライアント機へ配信されます。

操作を中止する場合

- ▶元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

PS/2キーボードの設定をする

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

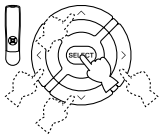
2 ∧/∨キーで「キーボード」を選択しSELECTキーを押します。

キーボード画面が表示されます。

3 ∧/∨キーでキーボードの言語を選択しSELECTキーを押します。

4 ∧/<</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



ご注意

- ▶PS/2キーボードを接続する前に、サーバー機の電源プラグをコンセントから外してください(☞121ページ)。
- ▶サーバー機の電源プラグをコンセントから抜いて1分以上経過すると、サーバー機内の時計がリセットされます。サーバー機をNTPサーバーに接続させていない場合は、再度手動で正しい日付/時刻に設定してください(☞182ページ)。

キーボードのタイプと言語

- ▶サーバー機は、USBキーボードに対応していません。
- ▶キーボードのタイプと言語について☞キーボードの取扱説明書

操作を中止する場合

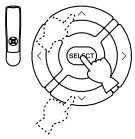
- ▶元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

スタンバイ状態の設定をする

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「スタンバイ設定」を選択しSELECTキーを押します。

スタンバイ設定画面が表示されます。

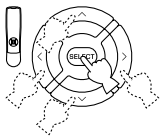


3 ∧/∨キーでスタンバイ設定を選択しSELECTキーを押します。

項　目	説　明
ネットワーク休止状態（低消費電力）	サーバー機がスタンバイ時にはクライアント機から曲の再生ができません。低消費電力モードです。
ネットワーク待機状態（LAN スタンバイ）	サーバー機がスタンバイ状態でもクライアント機から曲の再生ができます。

4 ∧/</∨/>キーで「OK」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定画面に戻ります。



電源モードについて

サーバー機の電源モード☞20ページ

消費電力について

スタンバイ設定で「ネットワーク待機状態」を選択すると、ネットワーク休止状態よりもやや消費電力がかかります。

操作を中止する場合

- ▶ 元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶ 設定内容を変更させないでシステム設定画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

フロントパネルディスプレイの明るさを設定する

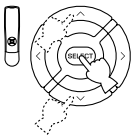
1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「FL表示の明るさ」を選択しSELECTキーを押します。

FL表示の明るさ画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで明るさを選択しSELECTキーを押します。

明るさは「明るい」「普通」「暗い」の3段階から選択できます。



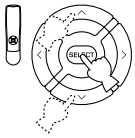
4 BACKキーを押し、元の画面に戻ります。

ハードディスクのデータ（曲）を消去する

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ハードディスクユーティリティ」を選択しSELECTキーを押します。

ハードディスクユーティリティ画面が表示されます。

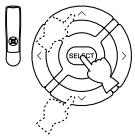


3 ∧/∨キーでデータ（曲）の消去方法を選択しSELECTキーを押します。

項　　目	説　　明
全ての曲データの削除	サーバー機に保存してあるすべてのデータ（曲）を消去します。
全ての曲の PCM データの削除	サーバー機に保存してあるすべての PCM データ（曲）を消去します。MP3 データは消去されません。

4 ∧/∨キーで「はい」を選択しSELECTキーを押します。

ハードディスクユーティリティ画面に戻ります。



ご注意

一度消去したデータ（曲）は復活できません。消去してもよいデータ（曲）かどうか確認してから消去してください。

システム設定について

データ（曲）を消去してもシステム設定はクリアされません。

PCM データの消去

変換されていない曲や変換中のデータ（曲）は消去されません。

操作を中止する場合

- ▶ 元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶ データの削除をしないでハードディスクユーティリティ画面に戻るには、「キャンセル」を選択してください。

サーバー機のシステム設定を工場出荷状態の設定に戻す

再生の各種設定、タイマー設定、ネットワーク設定を購入時の状態に戻します。

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「システムユーティリティ」を選択しSELECTキーを押します。

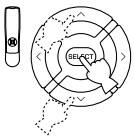
システムユーティリティ画面が表示されます。

3 ∧/∨キーで「システム設定の初期化」を選択しSELECTキーを押します。

システム設定の初期化画面が表示されます。

4 ∧/∨キーで「はい」を選択しSELECTキーを押します。

再起動しサーバー機の設定が工場出荷状態に戻ります。



ご注意

- ▶ サーバー機を初期化してもすでにアップデートされたファームウェアや、保存された曲のデータには影響ありません。
- ▶ 初期化するとネットワーク設定がリセットされるため、ネットワークへの接続が切断されます。

有線ネットワーク接続時のファームウェアのアップデート

ファームウェアをアップデートする場合は、LANケーブルをはずしてください。

操作を中止する場合

- ▶ 元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。
- ▶ 操作を中止しシステムユーティリティ画面に戻すには、カーソルを「キャンセル」に合わせてSELECTキーを押してください。

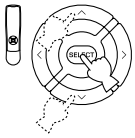
MusicCASTシステムのファームウェアをアップデートする

サーバー機やクライアント機のファームウェアが更新された場合、サーバー機にインストールする必要があります。

1 [トップメニュー] ➔ [システム設定]を選択しシステム設定画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「システムユーティリティ」を選択しSELECTキーを押します。

システムユーティリティ画面が表示されます。

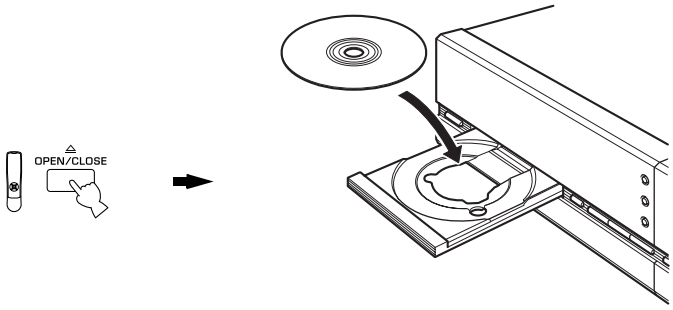


3 ∧/∨キーで「システムのアップデート」を選択しSELECTキーを押します。

システムのアップデート画面が表示されます。

4 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開きアップデートCDを入れます。

ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上に向けてCDを置きます。



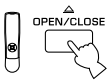
ご注意

ファームウェアの更新中に電源をスタンバイにしないでください。

バージョンを確認する

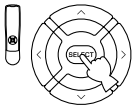
インフォメーション画面から、MusicCASTシステムのバージョンを確認できます(☞203ページ)。

5 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉じます。



6 開始表示を確認しSELECTキーを押します。

システムのアップデート画面が表示され、アップデートが開始します。



7 画面に表示される指示に従い操作します。

8 STANDBY/ONキーを押して、サーバー機を再起動させます。

これで、アップデートは完了しました。

操作を中止する場合

▶ 元の画面に戻るにはBACKキーを押してください。

▶ 操作を中止しシステムユーティリティ画面に戻すには、カーソルを「キャンセル」に合わせてSELECTキーを押してください。

インフォメーション（システム）情報を確認する

システム情報メニュー

システムのバージョンや、ハードディスクの空きスペースなど、サーバー機のシステムに関する情報を確認できます。

メニュー名	説　　明	参照
ハードディスク容量	サーバー機のハードディスクの空き状態を調べ、保存できるデータサイズや曲の長さを確認できます。	201
ライブラリー	サーバー機に保存された曲、アーティスト、アルバム、ジャンル、プレイリストの数を確認できます。	202
MP3 変換スケジュール	PCM フォーマットで録音した曲は MP3 フォーマットに変換されるようになっています。ここでは PCM フォーマットから MP3 フォーマットへの変換状況や以後変換する曲を確認できます。	202
システムバージョン	サーバー機に組み込まれているファームウエアのバージョンを確認できます。	203
操作可能なヤマハ AV アンプ	サーバー機からコントロールできるヤマハ AV アンプのリストを確認できます。	203

ハードディスクの容量を確認する

1 [トップメニュー] ➔ [インフォメーション]を選択しインフォメーション画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「ハードディスク容量」を選択しSELECT キーを押します。

ハードディスク容量画面が表示されます。

3 BACKキーを押し、元の画面に戻ります。

ご注意

ハードディスク容量画面の表示中に、CDの録音や曲のフォーマット変換によりデータの内容が変わっても、画面の表示内容は変化しません。

録音された曲数を確認する

1 [トップメニュー] ➔ [インフォメーション]を選択しインフォメーション画面を表示します。

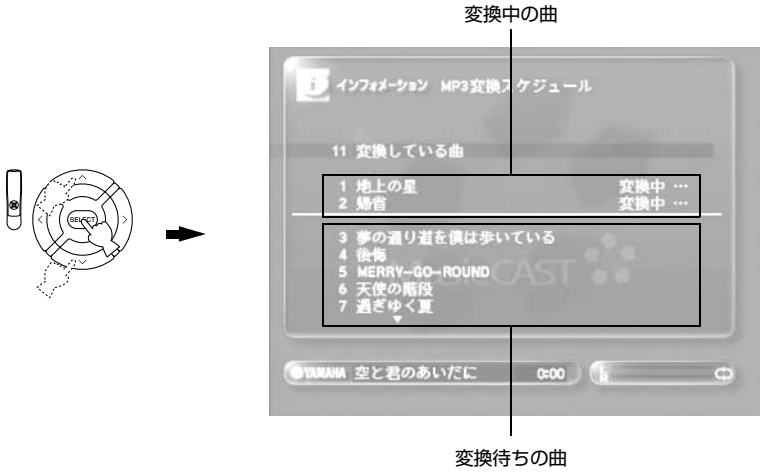
2 ∧/∨キーで「ライブラリー」を選択しSELECT キーを押します。
ライブラリー画面が表示されます。

3 BACKキーを押し、元の画面に戻ります。

MP3への変換状況を確認する

1 [トップメニュー] ➔ [インフォメーション]を選択しインフォメーション画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「MP3変換スケジュール」を選択しSELECT キーを押します。
MP3変換スケジュール画面が表示されます。



3 BACKキーを押し、元の画面に戻ります。

ENCODING ランプ

PCM フォーマットからMP3 フォーマットへの変換中はフロントパネルのENCODINGランプが点灯します。

システムバージョンを確認する

1 [トップメニュー] ➔ [インフォメーション]を選択しインフォメーション画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「システムバージョン」を選択しSELECT キーを押します。

システムバージョン画面が表示されます。

3 BACKキーを押し、元の画面に戻ります。

操作可能なヤマハAVアンプを確認する

1 [トップメニュー] ➔ [インフォメーション]を選択しインフォメーション画面を表示します。

2 ∧/∨キーで「操作可能なヤマハAVアンプ」を選択しSELECT キーを押します。

サーバー機からコントロールできるヤマハAVアンプのリストが表示されます。

3 BACKキーを押し、元の画面に戻ります。

付録

仕様

■ オーディオ部

周波数特性 . . . . . .5 ～ 20,000 Hz、±0.5 dB
S/N 比 (EIAJ)
　再生 . . . . . .105 dB
　録音 . . . . . 92 dB
全高調波歪率 (1 kHz)
　再生 . . . . . .0.004 %
　録音 . . . . . .0.006 %
ダイナミックレンジ
　再生 . . . . . 99 dB
　録音 . . . . . 92 dB

■ ビデオ部

ビデオ信号方式. . . . . NTSC

■ 入力端子

アナログ入力（ANALOG IN）端子
　形状 . . . . . ピンジャック
　標準入力レベル. . . . . .500 mV/23 kΩ
デジタル入力（OPTICAL IN）端子
　形状 . . . . . 光端子（角型）
デジタル入力（COAXIAL IN）端子
　形状 . . . . . .同軸端子
　標準入力レベル. . . . . 0.5 Vp-p (75 Ω)
コンポジットビデオ入力端子
　形状 . . . . . .ビデオ端子
　入力レベル . . . . . 1 Vp-p (75 Ω)
Sビデオ入力端子
　形状 . . . . . .S端子
　入力レベル . . . . . .Y　　1 Vp-p (75 Ω)
　　C　0.286 Vp-p (75 Ω)

■ 出力端子

アナログ出力（ANALOG OUT）端子
　形状 . . . . . ピンジャック
　標準出力レベル (1 kHz、0 dB) . . . . . 2.0±0.5 Vrms
デジタル出力（OPTICAL OUT）端子
　形状 . . . . . 光端子（角型）
デジタル出力（COAXIAL OUT）端子
　形状 . . . . . .同軸端子
　標準出力レベル. . . . . 0.5 Vp-p (75 Ω)
PHONES端子
　標準出力レベル
　(150 Ω、-20 dB). . . . . 330 mV/150 Ω
コンポジットビデオ出力端子
　形状 . . . . . .ビデオ端子
　出力レベル . . . . . 1 Vp-p (75 Ω)
Sビデオ出力端子
　形状 . . . . . S端子
　出力レベル . . . . . .Y　　1 Vp-p (75 Ω)
　　C　0.286 Vp-p (75 Ω)

■ 記憶装置

ハードディスクドライブ . . . . . 80 GB

■ ネットワーク

LAN インターフェース
. . . . . イーサーネット 10BASE-T/100BASE-T
無線ネットワークインターフェース. . . . . .IEEE 802.11b

■ 一般

電源 . . . . . AC 100 V、50/ 60 Hz
消費電力 . . . . . 47 W
消費電力（IR スタンバイ時）. . . . . .4.1 W
動作環境
　温度 . . . . . +5 ～ 35° C
　湿度 . . . . . 30 to 90 % RH (No condensation)
外形寸法（幅×高さ×奥行き）. . .435 × 135.5 × 434.5 mm
質量 . . . . . 11.5 kg

仕様および外観は改良のため変更することがあります。

故障かな？と思ったら

ご使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上げ店または最寄のヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症　状	原　因	対　応
STANDBY/ON ボタンを押しても電源が入らない。	電源プラグがコンセントに正しく接続されていない。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
CD を再生できない。	CD が裏がえしにセットされている。	CD のレーベル面を上にしてセットしてください。
	CD がひどく汚れている。	CD のクリーニングをしてください。
	レーザーピックアップレンズが結露している場合がある。	電源プラグをコンセントから抜き、約 20 ～ 30 分経ってから、電源プラグをコンセントに差し込んで再生を始めてください。
ハードディスクに録音ができない。	ハードディスクの空き容量が不十分。	ハードディスクから不要な曲を消去して十分な空き容量を確保してください（☞67 ページ、73 ページ、80 ページ、87 ページ）。
	ハードディスクに 100 分以上の連続録音ができない。	録音モードにかかわらず、1 曲の録音時間が 99 分 59 秒を超えると、自動的に次の曲に切り替わって録音を継続します (☞211 ページ)。
CD-R/CD-RW に録音ができない。	CD-R/CD-RW が汚れている、または破損している。	CD-R/CD-RW をクリーニング、または交換してください。
	録音中に電源コードがはずれたり、電源が切れて録音した曲が CD-R/CD-RW から消失した。	CD-R の場合は、新しいものに交換して、CD-RW の場合は最初から録音し直してください。
	すでに録音が完了している CD-R/CD-RW が入っている。	録音可能な CD-R/CD-RW を入れてください（CD-RW は初期化してください (☞133 ページ))。
デジタル接続したアンプを使用した場合、曲の始まりの部分が途切れる。	エンファシスの異なったソースを録音したトラックを再生している。	本機のアナログ出力端子を使用してアンプに接続してください。
録音した CD-R/CD-RW が本機以外の CD プレーヤーや DVD プレーヤーで再生できない。	お使いの CD プレーヤーや DVD プレーヤーが CD-R/CD-RW に対応していない。	CD-R/CD-RW に対応している CD プレーヤーや DVD プレーヤーをご使用ください (☞208 ページ)。
サーバー機の再生中に音飛びがする。	本機またはソース側の機器が振動やショックを受けている。	すでにソース自体が正しく録音されている場合は、設置場所を変えるなどして振動やショックを受けないようにしてください。
	CD がひどく汚れている。	CD のクリーニングをしてください。
サーバー機が正常に作動しない。	システムコントローラーが停止している。	フロントパネルの STANDBY/ON ボタンを 15 秒間以上押し続けます。そのあと STANDBY/ON ボタンを再度押して電源をオンにしてください (☞20 ページ)。
サーバー機のファンの音が聞こえる。	サーバー機の内部温度が上昇している。	サーバー機の内蔵ファンは内部温度が上昇すると作動します。誤動作ではありません。
ネットワーク自動設定が正常に機能しない。	ネットワーク信号が弱い、もしくは妨害されている（無線ネットワーク接続のときのみ）。	・サーバー機およびクライアント機の設置場所を変えてください。 ・ネットワークチャンネルを変更してください (☞172 ページ)。 ・有線ネットワークに変えてください (☞160 ページ)。
	サーバー機 またはクライアント機 がネットワーク自動設定モードになっていない。	設定手順を確認し、もう一度ネットワーク自動設定を実行してください (☞161 ページ)。
	ネットワーク上に同じ IP アドレスを使用している機器が存在する。	・IP アドレスの設定の手順で IP アドレスを変更してください (☞166 ページ)。 ・ネットワーク上の IP アドレスを再確認し必要に応じて IP アドレス /DHCP に関する設定を再度行ってください。

症　状	原　因	対　応
クライアント機で再生できない。	ネットワークが正しく設定されていない。	クライアント機とサーバー機のネットワーク接続を再設定してください (☞175 ページ)。
	サーバー機がスタンバイの状態になっている。	サーバー機をオンにしてください (☞20 ページ)。
	サーバー機に MP3 フォーマットの曲がない。曲名に「＊」がついている。	・PCM フォーマットで保存されているサーバー機の曲を MP3 フォーマットに変換されるまでしばらくお待ちください。 ・PCM フォーマットの曲を再生できるように設定してください（PCM フォーマットで再生できるのはクライアント機 1 台のみです）(☞193 ページ)。
	ネットワーク信号が弱い、もしくは妨害されている（無線ネットワーク接続のときのみ）。	・サーバー機およびクライアント機の設置場所を変えてください。 ・ネットワークチャンネルを変更してください (☞172 ページ)。 ・有線ネットワークに変更してください (☞160 ページ)。
クライアント機での再生中に音飛びする。	ネットワーク信号が弱い、もしくは妨害されている（無線ネットワーク接続のみ）。	・サーバー機およびクライアント機の設置場所を変えてください。 ・ネットワークチャンネルを変更してください (☞172 ページ)。 ・有線ネットワークに変更してください (☞160 ページ)。
	ネットワークが非常に混雑している（有線ネットワーク接続のみ）。	お使いの MusicCAST システム独自のサブネットマスクを設定するかハブなどのネットワーク周辺機器をアップグレードしてください (☞166 ページ)。
	複数のクライアント機を同時に再生し、さらにサーバー機で再生、録音、編集している。	・再生（録音）を停止してください。 ・同時に再生しているクライアント機の台数を減らしてください (☞141 ページ)。 ・クライアント機に配信する MP3 フォーマットのデータを 160kbps に設定してください (☞187 ページ)。
サーバー機に CD を入れても曲名やアルバム名などの情報が検索されない。	サーバー機へ入れた CD が市販のオーディオ CD ではない。	MP3 CD や CD-R/CD-RW は Gracenote CDDB から情報を読み込むことはできません (☞25 ページ)。
	Gracenote CDDB にアクセスする設定がされていない。	Gracenote CDDB にアクセスできるように設定してください (☞185 ページ)。
	サーバー機が内蔵の Gracenote CDDB にしかアクセスしない。	サーバー機の内蔵 Gracenote CDDB にはデータがない CD もあります。インターネット上の Gracenote CDDB にアクセスするように設定してください（その場合はまずサーバー機をインターネットに接続してください）(☞185 ページ)。
	サーバー機がインターネット上の Gracenote CDDB にアクセスする設定をしても、アクセスできない。	インターネットへの接続を確認してください (☞ セットアップガイド)。
サーバー機が Gracenote CDDB から入手したデータを正常に表示しない。	日本語以外で入力されたデータは正常に表示されないことがあります。	データを手動で編集してください (☞60 ページ)。
サーバー機が MP3 変換を終了しない。	サーバー機で MP3 のみの曲を再生し、同時にクライアント機へ外部入力からの曲を配信している。	どちらかの処理を停止させてください (☞36 ページ、141 ページ)。
曲が完全に録音されていないのに録音が停止する。	ハードディスクの空き容量が不十分。	不要な曲を消去するか、PCM フォーマットの曲を消去してください (☞60 ページ)。
	外部からの入力に対してサーバー機が Synch.Recording に設定されている。	マニュアルモードで曲を録音してください (☞32 ページ)。

症　状	原　因	対　応
CD に録音できない曲がある。	MP3 フォーマットのみの曲を選択している。	CD への録音は PCM フォーマットで行ってください。MP3 フォーマットのみの曲は CD に録音できません (☞123 ページ)。
録音できない。	すでに別の録音が開始されている。	CD 録音 / 外部入力録音 /CD 作成は同時にできません。 どれか 1 つを選択し録音してください。
外部入力を他の入力に切り替えることができない。	外部入力からの曲を録音中です。	外部入力からの録音を停止してください (☞31 ページ)。
再生中の外部入力のソースが勝手に切り替わってしまう。	他のクライアント機でソースを切り替えている。	他のクライアント機でソースを切り替えるのを停止してください (☞142 ページ)。
サーバー機に接続したヤマハ AV アンプが正常に作動しない。	ストレートタイプの RS-232C ケーブルを使っている。	クロスタイプの RS-232C ケーブルを使ってください (☞135 ページ)。
	ヤマハ AV アンプの設定をしていない。	サーバー機のヤマハ AV アンプの設定を確認してください (☞188 ページ)。
	ヤマハ AV アンプの6 CH INPUT のパラメーターが ON に設定されている。	ヤマハ AV アンプの6 CH INPUT のパラメーターを OFF に設定してください (☞188 ページ)。
表示されている時間が正しくない。	電源プラグが 1 分以上コンセントから外れていた（電源プラグが 1 分以上コンセントから外れていると、内部時計がリセットされます）。	・電源プラグがコンセントから外れてから 1 分以上データをバックアップ状態に保つことはできません。コンセントから電源プラグを外した場合、 1 分以内に再接続してください。 ・時刻を再設定してください (☞182 ページ)。
MP3 フォーマットの曲間に無音の間が入る。	MP3 への変換時に曲が個々に変換されている。	不良ではありません。
アナログ入力からの録音、再生ができない。	外部機器が正しく接続されていない。	外部機器を正しく接続してください (☞31 ページ)。
	録音レベルが低すぎる。	ANALOG REC LEVEL ツマミでレベルを上げてください (☞34 ページ)。
再生が遅れるまたは、CD の途中から再生される。	CD が汚れている、または壊れている。	CD をクリーニング、または交換してください。
スピーカーからうなりが聞こえる。	スピーカーが正しく接続されていない。	スピーカーを正しく接続してください。 (☞ セットアップガイド)
リモコンが正常に機能していない。	リモコンの電池が切れている。	リモコンの電池を交換してください (☞MusicCAST クイックマニュアル 7 ページ)。
	リモコンが操作範囲から外れている。	リモコン操作できる範囲内でご使用ください (☞MusicCAST クイックマニュアル 7 ページ)。
	受光部に明るい光（太陽光、蛍光灯の光等）があたっている。	サーバー機の設置場所を変え、リモコン受光部に明るい光があたらないようにしてください。
テレビ／モニターが正常に作動していない。	屋内用アンテナを使用している。	屋外用アンテナを使用してください。

CD/CD-R/CD-RWについて

■ 本機で録音できるディスクについて

本機の性能を十分生かすために、信頼できるCD-RまたはCD-RWをご使用ください。
本機で録音する場合、必ず下記のマークが付いたディスクをご使用ください。

FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

■ 録音用ディスクについて

・CD-Rは一度のみ録音が可能で、録音したデータの消去はできません。
・CD-RWは録音、データの消去、新たな録音が1000回まで可能です。

■ 本機で録音できないディスクについて

・上記のマーク/表示が付いていないディスク
・パソコン用のデータを記録するためのディスク
・「FOR PROFESSIONAL USE ONLY」と表示のあるプロフェッショナル用のディスク

■ CD-R/CD-RWのファイナライズについて

録音したCD-Rを一般のCD-Rプレーヤーで再生する場合や、CD-RWをCD-RW対応プレーヤーで再生する場合には、ディスクに「ファイナライズ」という処理をする必要があります。本機は録音終了時に自動的にファイナライズを実行します。ファイナライズすると、TOC(Table of Contents)がディスクに書き込まれます。

ファイナライズ済みのCD-R
・一般のCDプレーヤーで再生できます。
・本機を使用しての追加録音はできません。
・他社製品のCD-Rプレーヤーを使用した場合、システムの違いにより再生できないことがあります。

ファイナライズ済みのCD-RW
・一般のCDプレーヤーを使用しての再生はできません。本機のようにCD-RWに対応したプレーヤーを使用すれば再生できます。

■ 本機で再生できるディスクについて

本機では、前述の「録音できるディスク」以外に、下記のマークが付いた市販の音楽CDを再生することができます。

ご注意

CD規格に準拠しない特殊なディスクをご使用になられた場合、本機が正常に作動しないことがあります。

■ AudioMASTER™でコピーしたCD-Rの再生について

AudioMASTER™はCD-Rへのコピー時の線速度を高めることにより、より音の品位が高いCDを作成します。この方式でコピーしたCD-RはCD規格に準拠しておりますので、通常のCDプレーヤーで再生できます。
ただし、他のCDレコーダーを使用した場合、ごくまれにこの方式でコピーしたCD-Rを再生できないことがあります。

■ DVDプレーヤーでの再生について

ファイナライズ済みのCD-RまたはCD-RWをDVDプレーヤーで再生する場合、ご使用のDVDプレーヤーがCD-RまたはCD-RWの再生に対応しているか、ご確認ください。
詳しくは、ご使用のDVDプレーヤーに付属している取扱説明書をご参照ください。
対応していない場合、それらのディスクをご使用のDVDプレーヤーで再生することはできません。

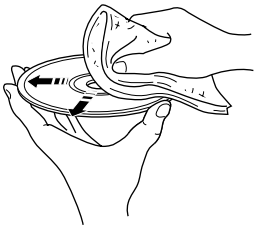
■ データ消失などの責任について

本機の使用に伴い、HDD、CD-RまたはCD-RWに書き込んだデータの消失、破損などお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

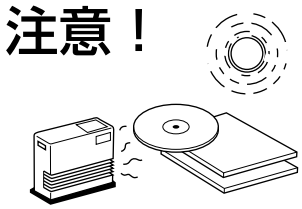
■ ディスクの取扱い

ディスクのお取扱いに際しては、以下の事項を必ずお守りください。
お取扱いを誤ると、録音不可、録音データの損傷、本機の故障など、障害が発生する原因となります。

- 本機は 、 、 、 、マークのあるコンパクトディスク（8cmのディスクを含む）に対応しております。これ以外のディスクを本機でご使用になることはできませんので、ご注意ください。
- ディスクは本来、消耗しないようにできていますが、ディスクの取扱い方によっては傷がつく場合があります。そのような場合は、正しく再生できないことがあります。
- CD-RやCD-RWのレーベル面に文字を書き込む際は、油性のフェルトペンなどをご使用ください。
- クリーニングディスクや歪んだディスクはご使用にならないでください。故障の原因となる場合があります。
- CD-RやCD-RWの記録面に、ほこりや指紋、傷などがあったり、直射日光が当たると、録音や再生できなくなる場合がありますので、以下の点に特にご注意ください。
  1. できるだけディスクの縁を持つようにして、表面に触れないようにお取扱いください。
  2. 使用後のディスクは必ずケースに入れて保管してください。
  3. 通常では、ディスクのクリーニングは必要ありません。もし記録面が指紋やほこりで汚れてしまった場合は、乾いたきれいな布を使用して、ディスクの内側から外側へ直角方向に軽く拭き取ってください。

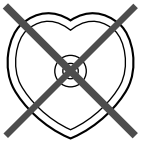


- ディスクを拭く際に、ディスククリーナー、レコードスプレー、帯電防止スプレー、水、化学薬品などを絶対にご使用にならないでください。ディスクの表面を損傷する場合があります。
- 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間放置しないでください。ディスクの変形や損傷の原因となります。



■ 本機の故障を防ぐために

- 規格外の形をしたディスク（ハート型や花の形の変形ディスクなど）はご使用にならないでください。
  重量のバランスが不安定なディスクを本機で使用すると、正しい再生ができない、ディスクトレイが勝手に開く、異音の発生、本機の故障など、障害が発生する原因となります。



- レーベル面に文字を書き込む際には、油性のフェルトペンなどをご使用ください。ボールペン、鉛筆など、先の尖ったものや硬いものを使用するとディスクの損傷の原因となり、追加録音などができなくなることがあります。
- セロハンテープやラベルなどの糊が付着したディスクはご使用にならないでください。ディスクが取り出せない、本機が故障するなどの障害が発生する原因となります。
- 8cmのディスクをご使用の場合、上に12cmのディスクを重ねてディスクトレイに置かないようご注意ください。
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使用しないでください。

重要
本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

著作権について
放送やレコード、ディスク、テープ、その他の録音物の音楽作品は、著作権法により保護されています。
したがって、それらから録音したディスクやテープを
・売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合
・営利（店のBGMなど）のために使用する場合
は、権利者の許諾が必要です。
詳しい内容や申請、その他の手続きについては、下記までお尋ねください。

お問い合わせ先：
（社）日本音楽著作権協会（JASRAC）
　TEL（03）3481-2121

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先：
（社）私的録音補償金協会　　TEL（03）5353-0336

デジタル録音のルールとシステムについて

▶ デジタル録音のルール

■ SCMS-シリアルコピーマネージメントシステムについて

本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。
シリアルコピーマネージメントシステムは、各種デジタルオーディオ機器間において、「デジタル信号の複製を１世代に限定」するものです。
つまりデジタル方式で録音した音源の再複製を制限するもので、以下の２点を原則とします。

原則１
CDなど市販のデジタル音源に関しては、本機を使用して他のデジタル録音媒体へデジタル複製（第一世代の複製）することが認められています。ただし、それを用いて、さらにデジタル複製することはできません。

原則２
本機のアナログ入力を経由して録音した音源は、他のデジタル録音媒体へデジタル複製（第一世代の複製）することが認められています。ただし、それを用いて、さらにデジタル複製することはできません。

本機は、CDをHDDにデジタル録音する際、その複製が制限されるものではないかどうか自動的に検知します。（初期設定ではデジタル録音が選択されています。）HDDからの音源の複製には、アナログ方式またはデジタルムーブ方式のいずれかを選択することができますが、デジタル複製でHDDに録音された音源には、デジタルムーブ方式が適用されます。

■ Digital Move（デジタルムーブ）について

本機には、長時間の録音が可能な大容量のHDDが内蔵されています。HDDに録音したさまざまな音源を編集し、CD-RやCD-RWを用いて、独自の音楽CDを作成することができます。
HDD上のデータをCD-RやCD-RWにデジタル複製する場合には、「デジタルムーブ」方式が採用されます。この方式は、SCMS規格によって２世代の複製が制限されている音源データに関しても、HDDからCD-RやCD-RWに移すことができます。
ただし、この方式はデータをHDDからCD-RまたはCD-RWに「移動する」という概念であるため、HDD上の元データは移動後に消去されます。

▶ 本機のシステム

■ 録音曲数・録音時間について

・１つのCD-RまたはCD-RWに録音できる曲数は最大９９曲です。
・１つのアルバムに保存できる曲数は最大９９９曲です。
・CD-R、CD-RW、アルバムに最大曲数が録音・保存されている場合、たとえ録音時間が余っていても、それ以上録音することはできません。
・HDDに保存できる１つの曲の録音時間は最長９９分５９秒です。
・本機に保存できるアルバム数は最大10,048個、曲数は最大65,000曲です。ただしHDDの空き容量により減少する場合があります。
・CD-R、CD-RWに録音する際、１曲目の冒頭に２秒間の無音スペースが自動的に付加されます。したがって、録音可能時間は各ディスクに記載されている時間よりも2秒短くなります。

■ サンプリング周波数の変換について

・本機のデジタル入力は、32kHz、44.1kHz、48kHz、96kHzのサンプリング周波数に対応しています。これらの入力は本機内部ですべてサンプリング周波数44.1kHz、16bitのデジタル信号に変換されて、HDDまたはCD-R、CD-RWに記録されます。
・アナログ入力も同様のデジタル信号に変換されて記録されます。
・本機のデジタル出力は、サンプリング周波数44.1kHz、16bitのデジタル信号を出力します。

■ 音声信号以外の記録について

・本機は音声信号専用の録音機です。入力されたデジタル信号が音声信号の場合に限り、記録することができます。
・外部接続したCDプレーヤーからCD TEXTを含む音楽CDを録音した場合、コピープロテクトの有無に関わらず、CD TEXTを記録することはできません。CD TEXTを記録するには、CDの内容を本機のHDDに保存する際、オプションでCD TEXTを選択してください。
・CDグラフィックなどデジタル信号に画像データが記録されている場合、音声信号以外のデータを記録することはできません。
・CD-ROM、DVDなどの音声信号以外のデータを記録することはできません。
・音楽CDの録音には、Gracenote CDDB Music Recognition Serviceを情報元としてご利用されることをおすすめします。

用語解説

本書で使用されている用語を説明します。

▶ 再生編

アルバム

ある特定のアーティスト名がついた曲の集まりのことです。通常、1枚のCDを録音すると、そのCDはひとつのアルバムとしてサーバー機に保存されます。

アーティスト

アルバムの演奏者のことです。曲名、アルバム名、ジャンル名などの情報といっしょに サーバー機に保存されます。

ジャンル

アルバムの音楽のタイプ（ジャズ、ロック、クラシックなど）のことです。曲名、アルバム名、アーティスト名などの情報といっしょにサーバー機に保存されます。

曲

CDやカセットなどの1トラックに相当するひと続きの音声のことです。1曲の最短時間は4秒です。

グループ

サーバー機やクライアント機が再生している範囲のことです。例えば、曲を選択せずにアルバムを再生している場合は、「アルバム」というグループを再生していることになります。同様に、曲を選択せずにジャンルを再生している場合は、「ジャンル」というグループを再生していることになります。

ブックマーク

お好みの曲などに任意で付けるチェックマークのことです。サーバー機やクライアント機でブックマークを付けた曲だけを再生できます。

プレイリスト

曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名からお好みで選択し作成した演奏順リストのことです。
ブックマークをプレイリストに登録すると、他のクライアント機やサーバー機からも再生できます。

リンク

プレイリストを構成する要素です。
曲やグループそのものではなく、それらを特定するための情報です。

▶ 録音編

録音

CDに録音されている曲を サーバー機内のハードディスクにコピーすることです。

CDDB

音楽CDの曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル名などの情報を検索するデータベースです。MusicCASTシステムでは、サーバー機に内蔵されたCDDBとインターネット上CDDBのサイトがご利用になれます。

CD TEXT

音楽CDに付加された曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などのテキスト情報のことです。

エンコード

CDから録音されたPCMフォーマットのデータをMP3フォーマットのデータに変換することです。

MP3フォーマット

「MPEG Layer 3」の略で、高圧縮率かつ高品質な音楽データです。サーバー機内のハードディスクに音楽データを保存するときに使用するデータフォーマットのひとつです。PCMフォーマットにくらべデータ容量が少ないので大量の音楽データを保存できます。
MPEG Layer 3 音声圧縮技術は Fraunhofer IIS および Thomson によってライセンス供与されています。

PCM フォーマット

Pulse Code Modulationの略です。音の品質は高いですが、容量が大きくなるためハードディスクの領域を多く使用します。サーバー機内のハードディスクにデータを保存するときに使用するデータフォーマットのひとつです。

▶ ソフトウェア編

メニュー

選択できる設定項目などが、リスト形式で表示されたものです。メニューは クライアント機および サーバー機のディスプレイに表示されます。

ファームウェア

サーバー機／クライアント機に組み込まれたソフトウェアです。ご購入後も必要に応じてファームウェアをアップデートし新機能を追加できるように設計されています。

▶ ネットワーク編

LAN ケーブル

LAN (Local Area Network)上の2つの機器を接続するためのケーブルです。

ネットワーク

お互いにデータを共有できる機器の集まりのことです。

無線ネットワーク

微弱なFM電波を利用して、サーバー機とクライアント機の間のデータ通信をするネットワークのことです。

有線ネットワーク

LANケーブルを利用して、サーバー機とクライアント機の間のデータ通信をするネットワークのことです。

DHCP

Dynamic Host Configuration Protocolの略で、LAN上の機器に自動的にIPアドレスを割りあてる方法です。通常MusicCASTシステムでは、クライアント機がネットワークにログインすると、サーバー機が、あらかじめ用意されたIPアドレスの1つをそのクライアント機に割りあてます。

WEP

傍受が容易な無線通信におけるセキュリティのための暗号化技術のことです。40ビットと128ビットの規格があります。

サブネットマスク

巨大なネットワークを複数の小さなネットワーク(サブネット)で分割して管理する場合に、IPアドレスの何ビットをネットワーク識別のアドレスに使用するかを定義する数値のことです。

ESS ID

無線ネットワークで混信を避けるために付けられる識別番号です。ESS IDが一致する端末としか通信しないようにすることができます。

IPアドレス

インターネットやLANなどのネットワークに接続された個々のコンピュータに割りあてられる識別番号のことです。

プライベートIPアドレス

プライベートIPアドレスにはローカルエリアネットワーク内でのみ使用されます。
プライベートIPアドレスにはいくつかの種類がありますが、代表的な例は、192.168.aaa.bbbで、"aaa"は0から255までの番号、"bbb"は1から254までの番号です（ただし、サブネットマスクが255.255.255.0の場合)。

グローバルIPアドレス

グローバルIPアドレスとは、インターネットに接続している機器に割りあてられるIPアドレスです。MisicCAST機器に設定できるIPアドレスとは異なります。グローバルIPアドレスをサーバー機のIPアドレスとして設定しないでください。

記号の読み

きごう	、
てん	、
きごう	。
まる	。
きごう	．
こんま	，
てん	，
きごう	．
したてん	．
てん	．
まる	．
きごう	・
ちゅうてん	・
てん	・
なかくろ	・
なかぐろ	・
なかてん	・
なかまる	・
ぽち	・
ぽつ	・
まる	・
きごう	：
ころん	：
てんてん	：
きごう	：
ころん	：
せみころん	：
きごう	？
はてな	？
きごう	！
びっくり	！
きごう	；
だくてん	；
きごう	；
はんだくてん	；
まる	；
きごう	，
きごう	，
きごう	，
きごう	，
きごう	，
きごう	，
きごう	―
きごう	―
おなじ	―
きごう	―
きごう	―
どう	―
おなじ	〃
きごう	〃
どう	〃
きごう	〃
おなじ	仝
おなじく	々
きごう	々
くりかえし	々
どう	々
どうのじ	々
のま	々
れぺあ	々
きごう	〆
しめ	〆
きごう	〇
しろまる	〇
ぜろ	〇
まる	〇
れい	〇
おんびき	―
きごう	―
ちょうおん	―
きごう	―
せん	―
はいふん	―
きごう	‐
はいふん	‐
きごう	／
すうがくきごう	／
すら	／
すらっしゅ	／
きごう	＼
から	～
きごう	～
すうがくきごう	～
ないし	～
なみ	～
なみせん	～
にょろ	～

きごう	‖
すうがくきごう	‖
にほんせん	‖
きごう	｜
すうがくきごう	｜
たてせん	｜
たてぼう	｜
きごう	…
さんてん	…
すうがくきごう	…
てん	…
てんてん	…
きごう	‥
すうがくきごう	‥
てんてん	‥
かっこ	‘
きごう	‘
きごう	’
かっこ	’
きごう	’
かっこ	“
きごう	“
きごう	”
かっこ	”
きごう	”
かっこ	（
きごう	（
ひだり	（
かっこ	（）
きごう	（）
かっこ	）
きごう	）
みぎ	）
かっこ	〔
きごう	〔
かっこ	〔〕
きごう	〔〕
かっこ	〕
きごう	〕
かっこ	［
きごう	［
かっこ	［］
きごう	［］
かっこ	］
きごう	］
かっこ	［
きごう	［
かっこ	｛
きごう	｛
かっこ	｝
きごう	｝
かっこ	｜
きごう	｜
かっこ	〈
きごう	〈
かっこ	〈〉
きごう	〈〉
かっこ	〉
かっことじ	〉
きごう	〉
かっこ	《
きごう	《
かっこ	《》
きごう	《》
かっこ	》
かっことじ	》
きごう	》
かぎ	「
かぎかっこ	「
かっこ	「
きごう	「
ひだり	「
かっこ	「」
きごう	「」
かぎ	」
かぎかっこ	」
かっこ	」
きごう	」
みぎ	」
かぎ	『
かぎかっこ	『
かっこ	『
きごう	『
しろかっこ	『
ひだり	『
ひだりかっこ	『
かっこ	『』
きごう	『』
かぎ	』

かぎかっこ	』
かっこ	』
きごう	』
しろかっこ	』
みぎ	』
みぎかっこ	』
かぎかっこ	【
かっこ	【
きごう	【
ひだり	【
かっこ	【】
きごう	【】
かぎかっこ	】
かっこ	】
かっことじ	】
きごう	】
みぎ	】
みぎかっこ	】
きごう	＋
すうがくきごう	＋
たす	＋
ぷらす	＋
きごう	－
すうがくきごう	－
ひく	－
まいなす	－
きごう	±
すうがくきごう	±
ぷらすまいなす	±
ぷらまい	±
かけ	×
かける	×
きごう	×
すうがくきごう	×
せき	×
ばつ	×
ぺけ	×
きごう	÷
すうがくきごう	÷
わる	÷
いこーる	＝
きごう	＝
すうがくきごう	＝
とうごう	＝
きごう	≠
すうがくきごう	≠
ふとうごう	≠
きごう	＜
しょうなり	＜
すうがくきごう	＜
ひだり	＜
ふとうごう	＜
きごう	＞
すうがくきごう	＞
だいなり	＞
ふとうごう	＞
みぎ	＞
いか	≦
きごう	≦
しょうなりいこーる	≦
すうがくきごう	≦
ふとうごう	≦
いじょう	≧
きごう	≧
すうがくきごう	≧
だいなりいこーる	≧
ふとうごう	≧
きごう	≡
すうがくきごう	≡
むげん	∞
むげんだい	∞
きごう	∴
すうがくきごう	∴
ゆえに	∴
よって	∴
おす	♂
おとこ	♂
きごう	♂
おんな	♀
きごう	♀
めす	♀
きごう	°
ど	′
きごう	′
ふん	″
きごう	″
びょう	″

きごう	℃
せっし	℃
ど	℃
えん	￥
きごう	￥
きごう	$
どる	$
きごう	¢
きごう	£
ぽうん	£
ぽんど	£
きごう	%
ぱーせんと	%
きごう	#
しゃーぷ	#
きごう	&
あんど	&
かける	*
きごう	*
ほし	*
あっとまーく	@
きごう	@
きごう	§
せくしょん	§
せちおん	§
せつ	§
きごう	☆
ほし	☆
きごう	★
ほし	★
きごう	○
しろまる	○
まる	○
きごう	●
くろまる	●
まる	●
きごう	◎
にじゅうまる	◎
まる	◎
きごう	◇
しかく	◇
だいや	◇
ひしがた	◇
みだし	◇
きごう	◆
しかく	◆
ずけい	◆
だいや	◆
きごう	□
しかく	□
はこ	□
きごう	■
くろしかく	■
しかく	■
とうふ	■
みだし	■
きごう	△
さんかく	△
きごう	▲
さんかく	▲
きごう	▽
さんかく	▽
なぶら	▽
きごう	▼
さんかく	▼
きごう	※
こめ	※
こめじるし	※
ちゅう	※
ほし	※
みだし	※
きごう	〒
ゆうびんばんごう	〒
から	→
きごう	→
ならば	→
みぎ	→
みぎやじるし	→
や	→
やじるし	→
きごう	←
ひだり	←
ひだりやじるし	←
や	←
やじるし	←
うえ	↑
きごう	↑

や	↑
うえやじるし	↑
きごう	↑
した	↓
したや	↓
したやじるし	↓
や	↓
やじるし	↓
きごう	=
げた	=
すうがくきごう	∈
すうがくきごう	∋
すうがくきごう	⊆
すうがくきごう	⊇
すうがくきごう	⊂
かげん	⊃
がに	⊃
すうがくきごう	⊃
ならば	⊃
きごう	∪
すうがくきごう	∪
わしゅうごう	∪
すうがくきごう	∩
まじわり	∩
かつ	∧
きごう	∧
すうがくきごう	∧
れんげん	∧
きごう	∨
すうがくきごう	∨
せんげん	∨
きごう	¬
すうがくきごう	¬
ひてい	¬
すうがくきごう	⇒
みぎや	⇒
みぎやじるし	⇒
や	⇒
やじるし	⇒
すうがくきごう	⇔
どうち	⇔
やじるし	⇔
りょうや	⇔
すうがくきごう	∀
ぜんしょう	∀
すうがくきごう	∃
そんざい	∃
とくしょう	∃
かく	∠
きごう	∠
すうがくきごう	∠
すうがくきごう	⊥
むじゅん	⊥
きごう	(
すうがくきごう	∂
なぶら	∇
きごう	≡
さんぽん	≡
すうがくきごう	≡
どうち	≡
すうがくきごう	≒
やく	≒
きごう	≪
きごう	≫
すうがくきごう	√
る―と	√
きごう	∝
すうがくきごう	∝
ひれい	∝
きごう	∵
すうがくきごう	∵
なぜなら	∵
なんとなれば	∵
きごう	∫
すうがくきごう	∫
せきぶん	∫
すうがくきごう	∫∫
きごう	A
きごう	‰
ぱーみる	‰
きごう	♭
ふらっと	♭
むし	♭
おんぷ	♪
きごう	♪
はちぶおんぷ	♪
むし	♪

るん	♪
きごう	†
たんけんふ	†
きごう	‡
たんけんふ	‡
だぶるだが―	‡
きごう	¶
ぱらら	¶
まる	○
いち	1
に	2
さん	3
よん	4
ご	5
ろく	6
なな	7
はち	8
きゅう	9
く	9
あるふぁ	A
ぎりしゃ	A
ぎりしゃ	B
べーた	B
がんま	Γ
ぎりしゃ	Γ
ぎりしゃ	Δ
でるた	Δ
いぷしろん	E
えぷしろん	E
ぎりしゃ	E
ぎりしゃ	Z
じーた	Z
ぜーた	Z
ぜえた	Z
い―た	H
ええた	H
ぎりしゃ	H
ぎりしゃ	Θ
しーた	Θ
しいた	Θ
いおた	I
ぎりしゃ	I
かっぱ	K
ぎりしゃ	K
ぎりしゃ	Λ
らむだ	Λ
ぎりしゃ	M
みゅー	M
ぎりしゃ	N
にゅー	N
ぎりしゃ	Ξ
ぐざい	Ξ
おみくろん	O
ぎりしゃ	O
ぎりしゃ	Π
ぱい	Π
ぎりしゃ	P
ろー	P
ぎりしゃ	Σ
しぐま	Σ
しま	Σ
すうがくきごう	Σ
ぎりしゃ	T
たう	T
うぷしろん	Y
ぎりしゃ	Y
ゆぷしろん	Y
ぎりしゃ	Φ
ふぁい	Φ
かい	X
ぎりしゃ	X
ぎりしゃ	Ψ
ぷさい	Ψ
おーむ	Ω
おめが	Ω
ぎりしゃ	Ω
あるふぁ	α
ぎりしゃ	α
ぎりしゃ	β
べーた	β
べえた	β
べた	β
がっま	γ
がんま	γ
ぎりしゃ	γ
ぎりしゃ	δ
でるた	δ

いぷしろん	ε
えしぉん	ε
えぷしろん	ε
ぎりしゃ	ε
ぎりしゃ	ζ
じーた	ζ
ぜーた	ζ
ぜた	ζ
い―た	η
え―た	η
ええた	η
えた	η
ぎりしゃ	η
ぎりしゃ	θ
しーた	θ
しいた	θ
てえた	θ
いおた	ι
ぎりしゃ	ι
かっぱ	κ
ぎりしゃ	κ
ぎりしゃ	λ
らむだ	λ
ぎりしゃ	μ
まいくろ	μ
みゅー	μ
みゅう	μ
ぎりしゃ	ν
にゅ	ν
にゅー	ν
にゅう	ν
ぎりしゃ	ξ
ぐざい	ξ
ぷざい	ξ
おみくろん	ο
おみろん	ο
ぎりしゃ	ο
ぎりしゃ	π
ぱい	π
ぎりしゃ	ρ
ろー	ρ
ぎりしゃ	σ
しぐま	σ
しま	σ
ぎりしゃ	ι
たう	τ
うしぉん	υ
うぷしろん	υ
ぎりしゃ	υ
ゆぷしろん	υ
ぎりしゃ	φ
くう	φ
ふぁい	φ
かい	χ
ぎりしゃ	χ
ぎりしゃ	ψ
ぷさい	ψ
おめが	ω
ぎりしゃ	ω
ろしあ	А
ろしあ	Б
ろしあ	В
ろしあ	Г
ろしあ	Д
ろしあ	Е
ろしあ	Ё
ろしあ	Ж
ろしあ	З
ろしあ	И
ろしあ	Й
ろしあ	К
ろしあ	Л
ろしあ	М
ろしあ	Н
ろしあ	О
ろしあ	П
ろしあ	Р
ろしあ	С
ろしあ	Т
ろしあ	У
ろしあ	Ф
ろしあ	Х
ろしあ	Ц
ろしあ	Ч
ろしあ	Ш
ろしあ	Щ
ろしあ	Ъ

ろしあ	Ы
ろしあ	Ь
ろしあ	Э
ろしあ	Ю
ろしあ	Я
ろしあ	а
ろしあ	б
ろしあ	в
ろしあ	г
ろしあ	д
ろしあ	е
ろしあ	ё
ろしあ	ж
ろしあ	з
ろしあ	и
ろしあ	й
ろしあ	к
ろしあ	л
ろしあ	м
ろしあ	н
ろしあ	о
ろしあ	п
ろしあ	р
ろしあ	с
ろしあ	т
ろしあ	у
ろしあ	ф
ろしあ	х
ろしあ	ц
ろしあ	ч
ろしあ	ш
ろしあ	щ
ろしあ	ъ
ろしあ	ы
ろしあ	ь
ろしあ	э
ろしあ	ю
ろしあ	я
けいせん	─
よこ	─
よこせん	─
けいせん	│
たて	│
たてせん	│
かど	┌
けいせん	┌
かど	┐
けいせん	┐
かど	┘
けいせん	┘
かど	└
けいせん	└
けいせん	├
けいせん	┬
けいせん	┤
けいせん	┴
けいせん	┼
よこ	━
けいせん	━
たて	┃
けいせん	┃
けいせん	┏
けいせん	┓
けいせん	┛
けいせん	┗
けいせん	┣
けいせん	┳
けいせん	┫
けいせん	┻
けいせん	╋
けいせん	┠
けいせん	┯
けいせん	┨
けいせん	┷
けいせん	┼
けいせん	┝
けいせん	┰
けいせん	┥
けいせん	┸
けいせん	┿

区点コード

区点コードは、左側の4桁に文字上の1桁の数字を加えたものとなります。
例えば、「■」の区点コードは、文字左側の0200+文字上の3＝0203となります。

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0100			，	。	，	．	・	：	；	？
0110	！	゛	゜	´	ｍ	ｄ	―	／	＼	～
0120	‖	｜	ｘ	‥	…	‘	’	“	”	（
0130	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《
0140	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±
0150	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴
0160	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄	￠	￡
0170	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●
0180	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽	▼	※
0190	〒	→	←	↑	↓	＝				
0200								∈	∋	⊆
0210	⊇	⊂	⊃	∪	∩					
0220			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
0230										
0240	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
0250	∽	∝	∵	∫	∬					
0260			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
0270					◯					
0280										
0290										
0300							0	1	2	3
0310	4	5	6	7	8	9				
0320				A	B	C	D	E	F	G
0330	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
0340	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
0350						a	b	c	d	e
0360	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
0380	z									
0390		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
0400	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
0410	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
0420	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
0430	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
0440	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
0450	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
0460	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
0470	ゐ	ゑ	を	ん						
0480										
0490										
0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
0510	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
0520	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
0530	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
0540	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
0550	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
0560	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
0570	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
0590										
0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
0610	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
0620	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
0630				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
0640	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
0650	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
0660										
0670										
0680										
0690										
0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
0710	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
0720	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
0730	Ь	Э	Ю	Я						
0740										а
0750	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
0760	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
0770	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
0780	ю	я								
0790										
0800	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴
0810	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫
0820	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥
0830	┸	╂								
0840										
0850										
0860										
0870										
0880										

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0890										
0900										
0910										
0920										
0930										
0940										
0950										
0960										
0970										
0980										
0990										
1000										
1010										
1020										
1030										
1040										
1050										
1060										
1070										
1080										
1090										
1100										
1110										
1120										
1130										
1140										
1150										
1160										
1170										
1180										
1190										
1200										
1210										
1220										
1230										
1240										
1250										
1260										
1270										
1280										
1290										
1300										
1310										
1320										
1330										
1340										
1350										
1360										
1370										
1380										
1390										
1400										
1410										
1420										
1430										
1440										
1450										
1460										
1470										
1480										
1490										
1500										
1510										
1520										
1530										
1540										
1550										
1560										
1570										
1580										
1590										
	あ									
1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
1610	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
1620	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
1630	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
1640	鞍	杏								
	い									
1640			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1650	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
1660	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
1670	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
1690	引	飲	淫	胤	蔭					
1700		院	陰	隠	韻	吋				
	う									
1700						右	宇	烏	羽	
1710	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
1720	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
1730	云	運	雲							
	え									
1730				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
1740	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
1750	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
1760	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
1770	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
	お									
1780							於	汚	甥	
1790	凹	央	奥	往	応					
1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
1810	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
1820	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
	か									
1820								下	化	
1830	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
1840	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
1850	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
1860	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
1870	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
1890	恢	懐	戒	拐	改					
1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
1910	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
1920	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
1930	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
1940	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
1950	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
1960	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
1970	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
1990	噛	鴨	栢	茅	萱					
2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
2010	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
2020	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
2030	款	歓	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看
2040	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
2050	諫	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
2060	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
2070	贋	雁	頑	顔	願					
	き									
2070					企	伎	危	喜	器	
2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
2090	旗	既	期	棋	棄					
2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
2110	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
2120	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
2130	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
2140	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
2150	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
2160	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
2170	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
2190	禦	魚	亨	享	京					
2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
2210	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
2220	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
2230	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
2240	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
2250	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
2260	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
	く									
2260										九
2270	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	駆	駆	駈
2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
2290	串	櫛	釧	屑	屈					
2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
2310	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2320	郡									
	け									
2320		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
2330	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
2340	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
2350	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頸
2360	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
2370	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
2390	建	憲	懸	拳	捲					
2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
2410	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
2420	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
2430	絃	舷	言	諺	限	乎				
	こ									
2430						個	古	呼	固	
2440	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
2450	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
2460	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
2470	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
2490	効	勾	厚	口	向					
2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
2510	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
2520	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
2530	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
2540	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
2550	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
2560	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
2570	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
2590	忽	惚	骨	狛	込					
2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
2610	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
	さ									
2610										些
2620	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
2630	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
2640	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
2650	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
2660	戴	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
2670	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
2690	鮭	笹	匙	冊	刷					
2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
2710	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
2720	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
2730	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
	し									
2730							仕	仔	伺	
2740	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
2750	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
2760	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
2770	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
2790	字	寺	慈	持	時					
2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
2810	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
2820	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
2830	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
2840	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
2850	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
2860	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
2870	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
2890	綬	需	囚	収	周					
2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
2910	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
2920	輔	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
2930	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
2940	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
2950	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
2960	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
2970	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
2990	恕	鋤	除	傷	償					
3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
3010	妾	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	
3020	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3030	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
3040	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
3050	紹	肖	菖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔
3060	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
3070	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
3090	醸	錠	嘱	埴	飾					
3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
3110	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
3120	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
3130	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
3140	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
3150	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
	す									
3150									笥	諏
3160	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
3170	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
3190	椙	菅	頗	雀	裾					
3200		澄	摺	寸						
	せ									
3200					世	瀬	畝	是	凄	制
3210	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
3220	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
3230	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
3240	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
3250	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
3260	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
3270	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
3290	煽	旋	穿	箭	線					
3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践
3310	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
3320	全	禪	繕	膳	糎					
	そ									
3320						噌	塑	岨	措	曾
3330	曾	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
3340	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
3350	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
3360	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
3370	漕	慢	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
3390	霜	騒	像	増	憎					
3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
3410	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
3420	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
	た									
3430	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
3440	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
3450	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
3460	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
3470	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
3480	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
3490	諾	茸	凧	蛸	只					
3500		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
3510	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
3520	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
3530	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
3540	暖	檀	段	男	談					
	ち									
3540						値	知	地	弛	恥
3550	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
3560	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
3570	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
3580	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
3590	丁	兆	凋	喋	寵					
3600		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
3610	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
3620	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
3630	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
	つ									
3630							津	墜	椎	
3640	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
3650	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺
3660	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
	て									
3660						亭	低	停	偵	
3670	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
3680	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
3690	艇	訂	諦	蹄	逓					
3700		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
3710	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
3720	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
3730	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
	と									
3730								兎	吐	
3740	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
3750	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
3760	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
3770	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
3780	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
3790	答	筒	糖	統	到					
3800		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
3810	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
3820	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
3830	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
3840	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
3850	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
3860	頓	呑	曇	鈍						
	な									
3860					奈	那	内	乍	凪	薙
3870	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
3880	軟	難	汝							
	に									
3880				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
3890	虹	廿	日	乳	入					
3900		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
	ぬ									
3900									濡	
	ね									
3900										禰
3910	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
3920	粘									
	の									
3920		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
3930	脳	膿	農	覗	蚤					
	は									
3930					巴	把	播	覇	杷	
3940	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
3950	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
3960	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
3970	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
3980	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
3990	爆	縛	莫	駁	麦					
4000		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
4010	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髮	伐	罰
4020	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
4030	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
4040	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
4050	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
	ひ									
4050										匪
4060	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
4070	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
4090	枇	毘	琵	眉	美					
4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
4110	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
4120	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
4130	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
4140	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
4150	敏	瓶								
	ふ									
4150			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
4160	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
4170	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
4190	伏	副	復	幅	服					
4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
4210	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
4220	粉	糞	紛	雰	文	聞				
	へ									
4220					丙	併	兵	塀		
4230	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
4240	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
4250	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
4260	鞭									
	ほ									

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4260		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
4270	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
4290	抱	捧	放	方	朋					
4300		法	泡	烹	砲		縫	胞	芳	萌	蓬
4310	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
4320	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
4330	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
4340	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
4350	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
4360	本	翻	凡	盆						
					末					
4360				摩	磨	魔	麻	埋	妹	
4370	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
4390	繭	麿	万	慢	満					
4400		漫	蔓							
					み					
4400				味	未	魅	巳	箕	岬	密
4410	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
4410										務
4420	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
4420										冥
4430	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
4440	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
4440						模	模	茂	妄	
4450	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
4460	目	杢	勿	餅	尤	戾	籾	貰	問	悶
4470	紋	門	匁							
					や					
4470				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
4490	鑓									
					ゆ					
4490		愉	愈	油	癒					
4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
4510	悠	憂	揺	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
4520	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
4520										予
4530	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
4540	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
4550	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
4560	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
4560										羅
4570	螺	裸	来	莱	頼		雷	洛	絡	落	酪
4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
4580									利	吏
4590	履	李	梨	理	璃					
4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
4610	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
4620	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
4630	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
4640	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
4650	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る					
4660	瑠	塁	涙	累	類					
					れ					
4660						令	伶	例	冷	励
4670	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
4690	漣	煉	簾	練	聯					
4700		蓮	連	錬						
					ろ					
4700					呂	魯	櫓	炉	賂	路
4710	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
4720	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
4730	肋	録	論	倭						
					わ					
4730					和	話	歪	賄	脇	惑
4740	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
4750	碗	腕								
4760										
4770										

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4780										
4790										
4800		弋	丐	丕	个	丼	丶	丼	丿	乂
4810	乖	乘	亂	亅	豫	亭	亶	舒	弐	于	亞
4820	亟	亡	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
4830	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
4840	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
4850	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
4860	俑	俊	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
4870	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
4890	傀	傚	傳	偏	傲					
4900		僉	僊	傳	僖	傷	僞	僥	僭	僧
4910	僮	價	僵	儉	儁	儘	儖	儕	儒	儚
4920	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
4930	兢	竟	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
4940	冏	冑	冓	冕	冖	冤	寇	冢	冩	冪
4950	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
4960	几	處	凩	凭	凰	凵	函	刄	刊	刎
4970	刎	刈	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
4980	剤	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
4990	劒	剱	劈	劑	辨					
5000		辧	勍	勐	勘	劵	勁	勍	勗	勞
5010	勤	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
5020	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
5030	匸	區	卒	卉	卅	卉	卍	凖	卞	卩
5040	厄	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
5050	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
5060	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
5070	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
5080	咒	呻	咀	呪	咄	咐	咆	哇	咢	咸
5090	咥	咬	哄	哈	咨					
5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	訝	哦	唏
5110	唔	哽	哮	哭	喃	唇	哨	唆	唄	唱
5120	唸	啻	啣	唾	啖	啗	啻	啜	喋	啼
5130	喀	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
5140	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
5150	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噬	嚙
5160	嚥	嚮	嚏	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮
5170	嚙	嚥	嚥	嚥	嚥	嚥	嚥	嚥	嚥	嚥
5180	嚥	嚥	嚥	嚥	嚥	嚥	嚥	嚥	囗	囘
5190	囮	囹	圀	囿	圄					
5200		圉	國	圍	圓	團	圖	嗇	團	圦
5210	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
5220	坤	坤	坏	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
5230	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
5240	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堤	塹	墅	墹
5250	墟	墫	墺	壞	墻	墸	壁	壘	壓	壑
5260	壟	壙	壘	壞	壞	壞	壞	壯	壺	壹
5270	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
5290	奢	奠	奥	奬	奩					
5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
5310	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娟
5320	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
5330	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
5340	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
5350	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	執	孳	孵
5360	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寇
5370	寐	寤	寢	寞	寥	寫	寫	寫	寶	寶
5380	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尤	尨	尸
5390	尹	屁	屆	屎	屓					
5400		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
5410	岑	岱	妛	岫	岷	峇	岼	岷	峅	岾
5420	峇	峙	峩	峽	峺	峙	嶌	峪	崋	崕
5430	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
5440	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嶇	嶄	嶇	嶄
5450	嶸	嶺	嶼	嶺	嶽	巖	嶷	巉	巉	巍
5460	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
5470	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5480	幟	幢	幣	幫	干	并	幺	麼	广	庠
5490	廁	廂	廣	廚	廏					
5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廢	廩
5510	廬	廳	廳	廴	廴	廸	廾	弃	弉	彝
5520	彜	弋	弑	弖	弩	弭	彌	彌	彈	彌
5530	彎	彎	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
5540	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
5550	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
5560	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
5570	怕	怫	怦	怏	怵	恚	恁	恪	恣	恂
5580	協	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
5590	悄	悸	悛	悖	悗					
5600		悄	悛	悖	悗	悅	悩	悠	惡	悼
5610	惠	惓	悴	怪	慢	惆	悵	惆	惱	惶
5620	愆	惶	惷	愀	惴	惶	愃	惚	惻	惱
5630	愍	愎	慈	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
5640	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
5650	慟	慟	慥	慱	慟	慮	慢	慇	慕	慙
5660	慧	慥	憁	憚	憊	憑	憐	憤	憐	憫
5670	憮	懷	懈	慰	憾	懟	憊	懼	懷	懷
5680	憑	懶	懺	懺	懿	懼	懾	戀	戈	
5690	戊	戊	戊	戔	戛					
5700		戛	戰	戴	戮	戰	戲	戰	扁	扎
5710	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
5720	抓	抖	拔	抹	抔	拗	拑	抻	拏	拿
5730	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
5740	挧	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
5750	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
5760	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
5770	揉	插	揷	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
5790	撓	撥	撩	撈	撼					
5800		據	擒	擋	擇	擂	擘	擂	攤	擧
5810	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	攜	攬	攀
5820	攝	攀	攄	攘	攜	攢	攤	攀	攫	攴
5830	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敎
5840	敏	敏	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
5850	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旋	旗	旛	无
5860	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
5870	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
5890	曁	暹	曉	暾	暼					
5900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
5910	曳	曷	朏	朗	望	朦	朧	霸	朮	朿
5920	朶	杁	朽	朽	杙	杞	杠	杙	杣	杤
5930	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
5940	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
5950	柘	柮	柏	柢	柱	柎	某	柔	框	栩
5960	桀	栲	栳	栩	栖	梓	梓	栫	桙	桿
5970	梟	梧	梭	梔	條	梛	梃	檮	桾	桴
5980	梵	梠	梺	椏	椶	椹	椽	椽	椿	棘
5990	棡	棧	棡	椏	棍					
6000		棔	棧	棕	椶	椄	棗	棣	椥	
6010	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
6020	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
6030	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
6040	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
6050	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	椰	樂
6060	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	樣	樓	樞
6070	樵	樽	樊	樒	樢	樣	樓	橄	樹	橘
6080	橙	橘	橢	橙	橙	橈	樸	樢	檎	檀
6090	檪	檠	檄	檢	檜					
6100		櫟	櫟	檻	櫧	檻	檸	檳	檬	櫞
6110	檑	檬	檸	櫚	櫟	櫻	櫻	檸	櫟	欅
6120	欒	鬱	權	欵	款	盜	欽	歇	歇	歃
6130	歡	歐	歙	歟	歟	歟	歟	歸	歹	歿
6140	殀	殄	殃	殘	殆	殖	殤	殯	殯	殯
6150	殯	殲	殲	殳	殷	殺	殷	毋	毓	毫
6160	毬	毫	毫	毬	毫	氈	氓	气	氛	氣
6170	氣	汞	汕	汪	汪	沂	沍	沚	沁	沛
6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
6190	泅	泝	沮	沱	沾					
6200		泄	泛	泯	泙	泪	洩	衍	洶	洲
6210	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
6220	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
6230	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
6240	淅	淺	淙	淤	淶	淪	淮	淵	淫	淆
6250	淚	淺	淫	渾	渣	渺	渠	渙	淵	淳
6260	淳	渝	渤	滿	渝	游	渝	溪	渠	渟
6270	渢	渥	渾	溥	溯	滷	溲	溶	滌	溝
6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	灌	滯	漑	滌
6290	滲	漱	滯	漲	滌					
6300		漾	漓	滷	漑	潺	潸	澁	澀	濤
6310	濬	潛	澄	激	澹	潛	澎	濱	濂	潦
6320	瀛	瀞	瀑	瀑	瀧	瀆	澤	濟	濕	濱
6330	濺	濯	濱	濮	濃	濱	濃	濱	濃	濃
6340	濃	濾	瀛	瀚	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	
6350	瀛	灑	灣	炙	炒	炯	炯	炬	炸	炳

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6360	炮	爛	爲	燕	焙	爲	煒	焜	焙	煥
6370	熙	熙	照	熒	煌	煤	煬	熏	燻	熄
6380	煩	熨	熬	爛	熹	燼	燒	燉	爐	燎
6390	燠	燈	燧	燵	燈					
6400		爨	爟	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
6410	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
6420	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
6430	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
6440	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
6450	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獣	獵	獻
6460	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
6470	琅	瑯	琥	珮	琲	琺	瑕	瑾	瑗	璢
6480	瑁	瑜	瑩	瑯	璢	瑪	瑙	瑾	璋	璞
6490	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
6500		甄	甍	甦	瓩	瓮	瓩	瓶	瓶	甌
6510	甃	甄	甃	甕	甌	甄	甕	甕	甕	甞
6520	甦	甬	甲	畄	畝	畊	畉	畛	畝	畜
6530	畝	畤	畧	畫	畭	畸	當	畺	畷	疇
6540	疊	疊	疊	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
6550	痙	疽	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
6560	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	瘋	瘧
6570	瘉	瘍	瘡	瘧	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘡
6580	瘻	瘻	癇	癈	癆	癈	癆	癆	癈	癘
6590	癩	癩	癲	癬	癩					
6600		癲	癶	癸	發	皂	皃	皈	皋	皎
6610	皖	皓	皙	皚	皰	皺	皺	皺	皺	盂
6620	盍	盖	盒	盞	盡	盧	盥	盧	盪	盼
6630	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	着
6640	睜	睛	睚	睨	睡	睛	睥	睿	瞎	瞎
6650	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	矍	瞿	瞼
6660	瞽	瞻	瞼	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
6670	砌	砒	礦	砠	礦	砧	碎	砧	碪	礎
6680	碪	碌	碣	碩	碪	碪	碪	碪	碪	磔
6690	碾	碼	磅	磊	磬					
6700		磧	磚	磧	磧	磧	磧	磧		磐
6710	磔	祀	祠	祇	祟	祚	祕	祓	祺	禄
6720	禊	禊	禍	禍	禪	禮	禮	禹	禹	禿
6730	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稙
6740	稟	稟	稱	稻	稾	稷	穡	穡	穉	穡
6750	穢	穰	穡	穡	穹	穿	窈	窗	窕	窘
6760	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
6770	竊	竝	竏	竚	竚	竝	竚	竝	竪	竭
6780	竰	竭	端	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
6790	笞	笵	笨	笶	筐					
6800		筐	筝	筍	筝	筌	筅	筵	筍	筧
6810	箪	箘	殺	箭	箸	箱	箱	箱	箱	箱
6820	箱	箋	箱	箏	箏	篏	篋	篁	篌	篏
6830	篏	篝	篝	篩	篝	篝	篥	篠	篭	篝
6840	篠	篝	篭	篷	篠	篝	篝	篝	篝	篝
6850	篝	篝	篝	篠	篝	篠	篝	篝	篝	篝
6860	篠	篝	篝	篝	篝	篝	粁	粃	粃	粤
6870	粭	粱	粕	粡	粕	粹	粲	粱	粮	粹
6880	粹	粹	糀	糀	糀	糀	糜	糞	糞	糞
6890	糞	糟	糟	糺	紆					
6900		紂	紜	紐	紊	紐	紘	紫	紐	紿
6910	紂	紳	紳	紐	紂	紳	紘	紫	紐	紳
6920	經	絡	條	絞	絡	絡	紐	紫	絡	絲
6930	絡	絡	絡	絡	綱	綱	絲	綸	綠	綰
6940	緘	緝	緝	緩	緻	緲	緡	緘	緩	緜
6950	緯	緩	緩	緩	緡	緡	緡	緲	緩	緩
6960	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩
6970	緩	緩	緯	緯	緯	緩	緩	緩	緩	緩
6980	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩	緩
6990	緩	緩	緩	缸	缺					
7000		罅	罌	罍	罐	罐	网	罕	罔	罘
7010	罕	罠	罷	罕	罹	羂	羈	羈	羈	羈
7020	羈	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
7030	羹	羶	羸	羸	翅	翌	羽	翕	翔	翡
7040	翩	翩	翳	翹	饑	者	耄	耋	耒	耘
7050	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
7060	聚	聲	聽	聯	聾	聾	聰	聶	聯	聽
7070	聿	肄	肆	肇	肛	肓	肚	肭	冑	肬
7080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	脛
7090	脛	脩	脣	脯	腋					
7100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
7110	腦	腹	膈	膩	膀	膀	膂	膠	膕	膝
7120	膣	膣	膺	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
7130	臂	膿	臉	膜	臈	脈	臨	臥	臘	臘
7140	膤	膜	臺	臻	與	舁	春	舞	與	舊

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7150	舍	舐	舗	舩	舫	舸	舶	艀	艦	艘
7160	艙	艤	艢	艨	艘	艤	獵	船	艱	
7170	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
7180	苣	苟	苴	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
7190	苞	茆	苜	茉	苙					
7200		茵	茴	茱	茲	茱	荀	茹	荐	荅
7210	茯	茫	茗	茘	莅	莊	莪	莟	莢	莖
7220	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
7230	莨	菴	萓	菱	莧	菽	萃	菘	萋	菁
7240	菷	萇	菠	菲	萍	蒐	崩	莽	萸	蔆
7250	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	蔮
7260	蒂	蔕	蔓	蔓	蔕	蔦	高	蔚	蓋	蒙
7270	蒍	蒟	蓙	蓍	蒙	蔭	蔣	蔗	蔗	蓆
7280	蒼	蔡	蒿	蓴	蕁	蓼	蕨	蔑	蔡	蔔
7290	蓼	蕃	蕈	蕣	蕈					
7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
7310	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薬	蕾	薔	薇
7320	薔	薺	蕨	蕈	藐	藕	藝	藥	藜	藹
7330	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘇	蘇	蘿
7340	虎	虍	虜	虢	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
7350	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蛔
7360	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
7370	蜀	蜘	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蝋	蝓	蜿
7380	蜷	蜻	蜥	蝿	蝨	蝙	蝟	蝸	蝌	蝎
7390	蝴	蝗	蠢	蝮	蝙					
7400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
7410	螽	蟐	螂	螯	螯	螯	螯	螯	螟	螟
7420	螟	螽	蟯	蟲	蟲	蟲	蟲	蟲	蟲	蟲
7430	蟲	蟲	蟲	蟲	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶
7440	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶	蠶
7450	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7460	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7470	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7480	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7490	衽	衽	衽	衽	衽					
7500		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7510	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7520	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7530	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7540	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7550	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7560	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7570	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7580	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7590	衽	衽	衽	衽	衽					
7600		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7610	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7620	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7630	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7640	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7650	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7660	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7670	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7680	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7690	衽	衽	衽	衽	衽					
7700		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7710	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7720	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7730	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7740	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7750	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7760	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7770	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7780	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7790	衽	衽	衽	衽	衽					
7800		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7810	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7820	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7830	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7840	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7850	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7860	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7870	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7880	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7890	衽	衽	衽	衽	衽					
7900		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7910	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7920	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7930	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽

区点	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7940	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7950	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7960	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7970	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7980	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
7990	衽	衽	衽	衽	衽					
8000		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8010	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8020	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8030	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8040	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8050	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8060	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8070	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8080	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8090	衽	衽	衽	衽	衽					
8100		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8110	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8120	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8130	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8140	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8150	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8160	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8170	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8180	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8190	衽	衽	衽	衽	衽					
8200		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8210	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8220	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8230	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8240	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8250	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8260	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8270	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8280	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8290	衽	衽	衽	衽	衽					
8300		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8310	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8320	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8330	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8340	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8350	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8360	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8370	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8380	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8390	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽
8400		衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽	衽

索引

C
CD TEXT 26, 212
CD/CD-R/CD-RW 208
CDDB 25, 62, 212
CD をコピー 129
CD を作成 123

D
DHCP 161, 169, 213

E
ESS ID 170, 213

G
Gracenote CDDB® 接続の設定 185

I
IP アドレス 166, 175, 213

L
LAN ケーブル 213

M
MP3 フォーマット 26, 187, 212

P
PCM フォーマット 26, 187, 212
PS/2 キーボード 121, 194

W
WEP 173, 213

あ
アーティスト 212
　削除 67
　新規作成 67
　変更 66, 68
アルバム 212
　削除 73
　新規作成 74
　変更 72, 75
アルバムの情報 62

い
イニシャライズ 133

え
エンコード 212

お
オンスクリーンディスプレイ 184, 192

か
外部機器 53
画面のキーボード 118

き
記号 214
曲 212
　消去 197
　ライブラリーへの登録 116
曲情報 37
曲名 83

く
区点コード 216
クライアント ID 177
クライアント機
　再生 140
　状態 138
　設定 193
グループ 212
グローバル IP アドレス 213

こ
工場出荷状態 198
故障かな？と思ったら 205

さ
サーバー ID 163, 175
サーバー機を DHCP クライアントにする 168
サーバー機を DHCP サーバーにする 169
再生
　CD 51
　MP3 CD 52
　アーティスト 42
　アルバム 44
　外部機器 53, 54
　曲統計 48
　ジャンル 45
　すべての曲 46
　選曲 36
　ブックマーク 49
　プレイリスト 46
再生情報画面 39
再生タイマー（クライアント機） 154
再生タイマー（サーバー機） 147
サブネットマスク 166, 175, 213
サブメニュー
　アーティスト 60, 64
　アルバム 60, 70
　曲名 60, 83
　クライアント再生 141
　再生情報画面 41

ジャンル 60, 77

し
システムバージョンの確認 203
システム設定 179
自動音量調整 191
自動再生 186
ジャンル 212
　変更 79
　削除 80
　新規作成 81
ショートカットキー 18
初期設定 180

す
スタンバイ状態の設定 195

た
タイマー ON（クライアント機）..... 156
タイマー ON（サーバー機）..... 153

ち
チャンネル 172
直接入力 (アルファベット入力）..... 120

て
電源モード 20

に
日本語入力 118

ね
ネットワーク 213
　自動設定 161
　手動設定 165
　ネットワーク状態の表示 175

は
ハードディスクの容量 201

ひ
日付と時刻を設定 182

ふ
ファームウェア 199, 212
ファンクションキー 122
付属品 11
ブックマーク 212
　解除（曲単位）..... 110
　解除 (すべて削除）..... 111
　ブックマークをつける 109, 110
プライベート IP アドレス 213
プレイリスト 88, 212
フロントパネル 15
フロントパネルディスプレイの設定 196

へ
変換状況の確認 202
編集
　アーティスト 64
　アルバム 70
　外部機器から録音した曲 114
　曲 83
　ジャンル 77
　ブックマーク 109
　プレイリスト 88

む
無線 LAN 176
無線ネットワーク 159, 170, 213

め
メニュー 212

や
ヤマハ AV アンプの確認 203
ヤマハ AV アンプの接続 135
ヤマハ AV アンプの設定 188

ゆ
有線ネットワーク 160, 213

ら
ライブラリーキー 18
ライブラリー情報 202
ランダム再生 39, 56

り
リアパネル 17
リピート再生 39, 55
リモコン 18
リモコン操作 38
リンク 212

ろ
録音 212
　CD 全曲 25
　外部機器 32
　録音時の保存フォーマット 187
録音タイマー（サーバー機）..... 150
録音の設定 132

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。
サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

● **保証期間**
お買い上げ日より1年間です。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **修理料金の仕組み**
◆ **技術料**　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
◆ **部品代**　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
◆ **出張料**　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

● **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。

● **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

● **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお薦めします。
摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例
ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター
TEL（0570）01−1808（ナビダイヤル）
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。
TEL（053）460−3409

FAX　（053）460−3489
住所　〒430-8650
静岡県浜松市中沢町10-1

ご相談受付時間　10:00〜12:00，13:00〜18:00
（日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。）

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

（ヤマハ電気音響製品サービス拠点）

北海道 〒064-8543　札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙　台 〒984-0015　仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006　東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜　松 〒435-0016　浜松市和田町200 ヤマハ（株）和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058　名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ（株）名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大　阪 〒565-0803　吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ（株）千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

四　国 〒760-0029　高松市丸亀町8-7
（株）ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九　州 〒812-8508　福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検

★永年ご使用のAV製品の点検を！

こんな症状はありませんか？
- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。

すぐに使用を中止してください。
事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハオーディオ＆ビジュアルホームページ
http://www.yamaha.co.jp/audio/

ヤマハ株式会社
〒430-8650 浜松市中沢町10-1

YAMAHA

この取扱説明書はエコパルプ（ECF: 無塩素系漂白パルプ）を使用しています。

この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。

©2003 YAMAHA CORPORATION All Rights Reserved.

ヤマハ株式会社
Printed in Japan WB18690